

第4 県内の特定事故の発生状況

1 死亡事故

(1) 概 況

平成23年の死亡事故は、前年に比べ、

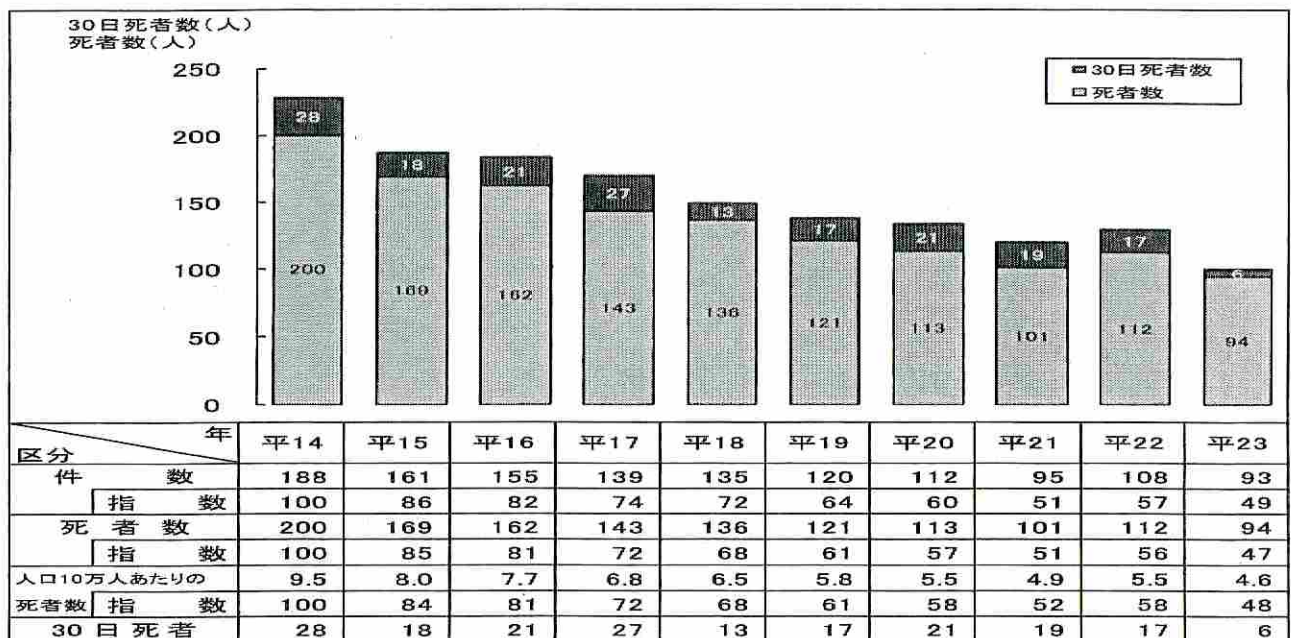
発生件数 93件（前年比 -15件 13.9%減）

死者数 94人（前年比 -18人 16.1%減）

で、発生件数、死者数とも減少した。

過去10年間の推移をみると、平成22年に一時増加に転じたものの、発生件数・死者数とも半数以下に減少した。

（単位：件・人）



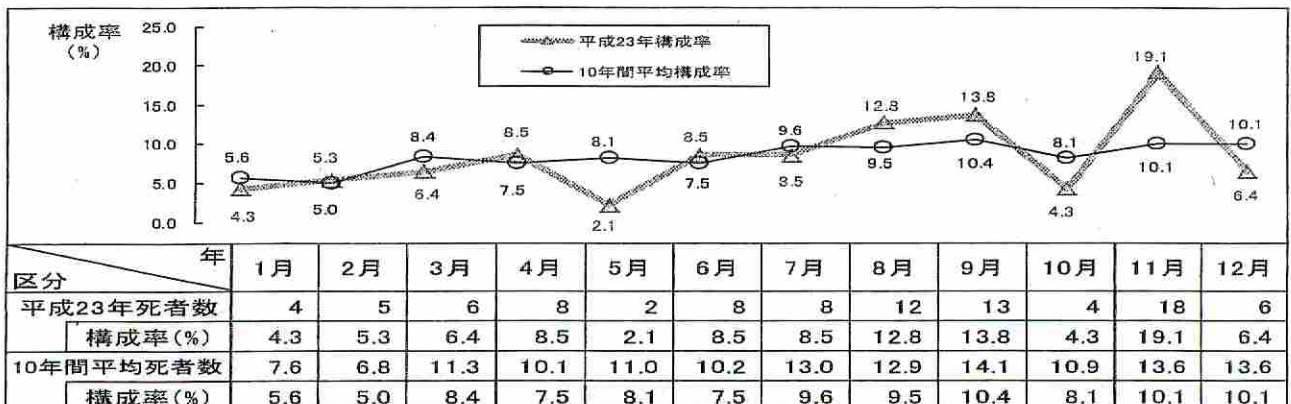
(2) 死亡事故の特徴

ア 月 別

死者が多かった月は11月の18人、9月の13人、8月の12人、少なかったのは5月の2人、1月・10月の4人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を上回ったのは、2月、4月、6月、8月、9月、11月で、それ以外の月は下回った。

（単位：人・%）



イ 時間別・曜日別

時間別では、16時～17時、19時～20時の9人が最も多く、次いで17時～18時、18時～19時の8人となっている。

曜日別では木曜日と金曜日が17人で最も多く、次いで水曜日が14人となっている。(単位:人)

時間 曜日	0 1	1 2	2 3	3 4	4 5	5 6	6 7	7 8	8 9	9 10	10 11	11 12	12 13	13 14	14 15	15 16	16 17	17 18	18 19	19 20	20 21	21 22	22 23	23 24	合 計
日	1		1				1			1		1	1				2	1	3	2			1		13
月	1					1		1			1		1			2	1	1	1						11
火	1		1	1	1		1		1	3						1				2				1	13
水	1								1	1	2			1	1	1		2	2		1		1		14
木								1				2	1	3	1	1	4	2	1	1					17
金			1				1					3	1	1	1		2	1	2	3				1	17
土					1	1	1			1	2						2		1						9
合 計	4	0	3	1	2	2	3	3	2	6	5	6	3	5	3	5	9	8	8	9	3	0	2	2	94

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村は郡山市の15人で、次いで福島市の8人、いわき市の7人、会津若松市、須賀川市の5人となっており、5市を合わせると40人で全死者の42.6%を占めている。

また、その他の市を含める市部全体の死者数は58人となり、全死者の61.7%を占めている。

エ 道路別、道路線形別、形状別

(ア) 道路別

国道での死者が35人と多く、全死者の37.2パーセントを占めている。

さらに、国道のうち幹線国道での死者は14人で国道での死者の40.0パーセントを占めている。

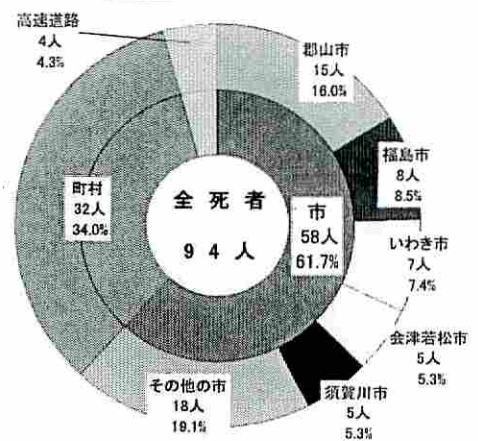
(イ) 道路線形別

直線道路での死者は72人で全死者の76.6パーセントを占め、カーブでの死者は20人で、右カーブ7人、左カーブ13人となっている。

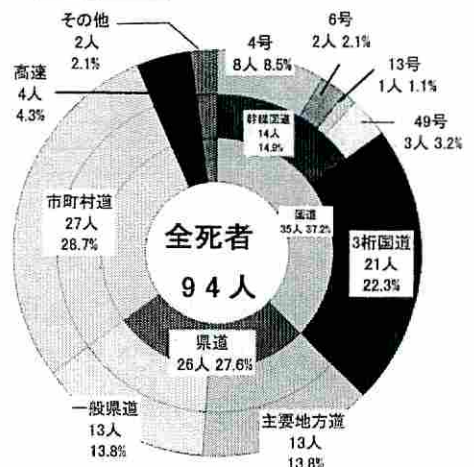
(ウ) 道路形状別

単路での死者は54人で全死者の57.4パーセントを占め、交差点での死者は38人で40.4パーセントを占めている。

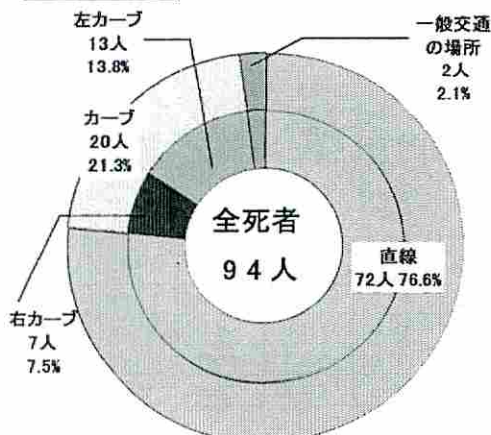
市町村別



道路別

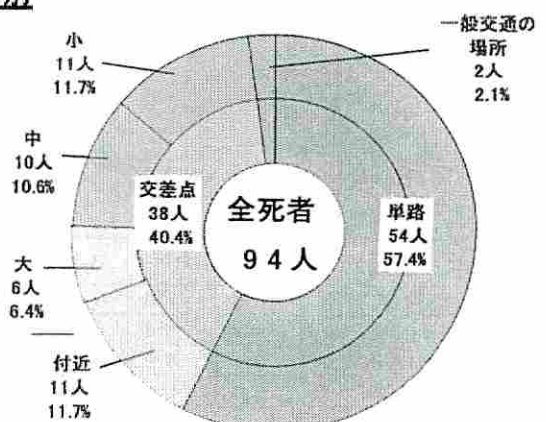


道路線形別



道路形状別

(注)
大交差点
道路幅員13m以上
中交差点
道路幅員
5.5m以上13m未満
小交差点
道路幅員5.5m未満



オ 第1当事者別 (93 件)

(ア) 車種別

普通乗用車の事故が 36 件で全死亡事故の 38.7 パーセントを占め最も多く、次いで軽乗用車 20 件、軽貨物車 10 件の順となっている。

(イ) 年齢別

40 歳代による事故が 18 件で最も多く、次いで 50 歳代が 17 件と多くなっている。

また、高齢者による事故が 14 件で昨年比 10 件減少している。

(単位：件)

年齢	当事者	乗 用 車				貨 物 車				特 殊 車	二輪車		自 転 車	歩 行 者	そ の 他	合 計
		大 型	中 型	普 通	軽	大 型	中 型	普 通	軽		自動 二輪	原 付				
16 歳 未 満																0
16 ~ 19 歳					5							1				6
20 歳代	20~24歳			3	2						1					6
	25~29歳			5	2			1								8
30 歳代	30~34歳			4	3	1	2									10
	35~39歳			3			1				2					6
40 歳代	40~44歳		1	6				2				1				10
	45~49歳			3	1	1			1		2					8
50 歳代	50~54歳			2	2		2		1							7
	55~59歳			3	1	1	4		1							10
60 歳代	60~64歳			3	2	2			1							8
	65~69歳			1	1				1							3
70 歳代	70~74歳			1					1							2
	75~79歳								2							2
80 歳 以 上				2	1				2			2				7
その他(当事者不明)																0
合 計		0	1	36	20	5	9	3	10	0	5	4	0	0	0	93
内 数	子 幼 児															0
	ど 小 学 生															0
	も 中 学 生															0
	高 校 生				1							1				2
	高 齢 者			4	2				6			2				14
	男 性		1	26	14	5	8	3	7		5	4				73
	女 性			10	6		1		3							20
県 外 居 住 者				2		2	2		1		1					8

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口 1 万人に対する死亡事故率は、全体の 0.7 に対して 10 歳代が 3.4 と高い。

(単位：件・人)

区分	年齢	男 性			女 性			合 計		
		免 許 人 口	件 数	免 許 人 口 1 万人当たり 事 故 率	免 許 人 口	件 数	免 許 人 口 1 万人当たり 事 故 率	免 許 人 口	件 数	免 許 人 口 1 万人当たり 事 故 率
青 年	10 歳 代	10,020	5	5.0	7,773	1	1.3	17,793	6	3.4
	20 ~ 24 歳	44,934	5	1.1	41,344	1	0.2	86,278	6	0.7
	計	54,954	10	1.8	49,117	2	0.4	104,071	12	1.2
	25 ~ 29 歳	52,468	7	1.3	48,248	1	0.2	100,716	8	0.8
	30 歳 代	122,997	11	0.9	114,778	5	0.4	237,775	16	0.7
	40 歳 代	119,749	14	1.2	114,864	4	0.3	234,613	18	0.8
	50 歳 代	138,367	15	1.1	124,178	2	0.2	262,545	17	0.6
	60 ~ 64 歳	81,902	6	0.7	62,535	2	0.3	144,437	8	0.6
	高 齢 者	157,407	10	0.6	68,846	4	0.6	226,253	14	0.6
	合 計	727,844	73	1.0	582,566	20	0.3	1,310,410	93	0.7

(注 1) 自転車・歩行者の第 1 当事者は含まない。(注 2) 免許人口は平成 23 年 12 月末現在

(イ) 車種別、免許経過年数別

自転車が第1当事者となる死亡事故の発生はなく、死亡事故93件について車種に該当する免許を取得してからの経過年数をみると、10年以上経過した者による事故が73件と全体の78.5パーセントを占めている。

(単位：件)

車 種 経過年数		乗 用 車				貨 物 車				特 殊 車	二 輪 車				合 計
		大 型	中 型	普 通	軽	大 型	中 型	普 通	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	
有 資 格	1 年 未 満				5									1	6
	1 ～ 2 年				1										1
	2 ～ 3 年			1											1
	3 ～ 4 年			2											2
	4 ～ 5 年										1				1
	10 年 未 満			5	3			1							9
	10 年 以 上		1	28	11	5	9	2	10		2	2		3	73
免許外・無免許														0	
合 計		0	1	36	20	5	9	3	10	0	3	2	0	4	93

(ロ) 違反別

悪質違反による事故が15件となっており、全死亡事故件数の16.1パーセントを占めている。違反別でみると前方不注意が46件、次いで安全速度が8件となっている。

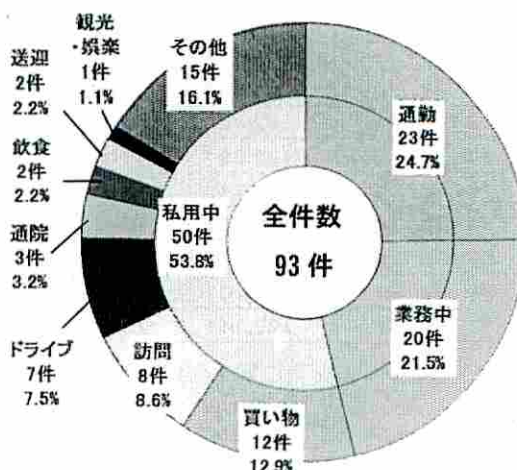
(単位：件)

違反別	件数	違反別	件数	違反別	件数
悪質違反	15	徐行違反		信号無視	2
横断等禁止		過労等運転		横断歩道外横断	4
車間距離不保持		安全運転義務違反	6	駐停車車両直前	1
進路変更禁止		ハンドル操作不適	1	走行車両直前直	5
右折違反		ブレーキ操作不適	46	横断禁止場所	
左折違反		前方不注意	5	計	10
優先通行妨害等	2	動静不注意	3	飛び出し	1
交差点安全進行義務	6	安全不確認	8	その他	16
		安全速度	1	計	29
		予測不適		違反無し	9
		その他	70	計	38
		計	93	内数（飲酒運転）	2

(カ) 通行目的別

私用中に発生した事故が50件と全事故の53.8パーセントを占めており、その中でも買い物目的が12件と最も多く、次いで訪問が8件の順となっている。

昨年と比較すると、通勤中の事故の割合が8.0ポイント高くなり、逆に観光・娯楽の割合が5.4ポイントが低くなっている。



カ 事故類型別死者数

人対車両	38人（全死者の	40.4パーセント）
車両相互	34人（全死者の	36.2パーセント）
車両単独	22人（全死者の	23.4パーセント）
列車	0人（全死者の	0パーセント）

となっており、これを昼夜別でみると、昼間には車両相互の死亡事故が多発し、夜間には人対車両の死亡事故が多発している。

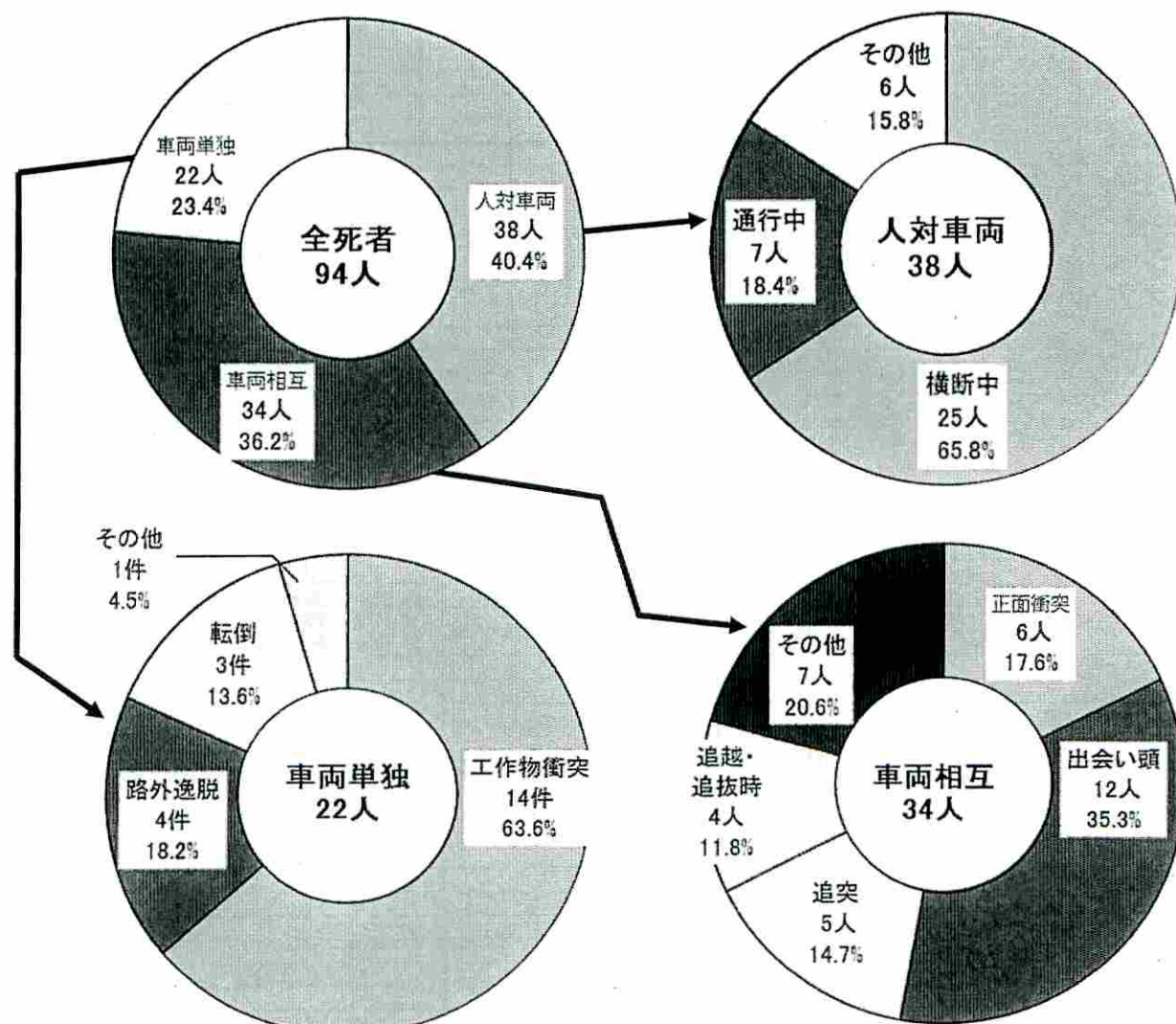


各事故類型でみると

人対車両…横断中が 25 人と最も多く 65.8 パーセントを占めている。

車両相互…出会い頭衝突が 12 人と最も多く 35.3 パーセントを占めている。

車両単独…工作物衝突が 14 人と最も多く 63.6 パーセントを占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

自動車運転中の死者は 18 人で全死者の 19.1 パーセントとなっており、さらに同乗者を含めた場合は 28 人となり、29.8 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分	状態	自 動 車			自動二輪			原 付 乗車中		自転車 乗車中			歩行中			その 他	合 計	
		運転中			同 乗	運転中		同 乗	1当	2当	1当	2当	3当	1当	2当			3当
		1当	2当	3当		1当	2当											
	死 者	17	1		10	5	2		4	2		13			40		94	
	構成率(%)	18.1	1.1	0.0	10.6	5.3	2.1	0.0	4.3	2.1	0.0	13.8	0.0	0.0	42.6	0.0	100.0	

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は 50 人（全死者の 53.2%）で、うち歩行者の死者は 27 人と多く高齢死者の 54.0 パーセントを占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は 40 人中 27 人（67.5%）と構成率が高くなっている。

(単位：人)

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗車付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
16歳未満										2		2
16～19歳								1		1		2
20歳代	20～24	1			1	1			1	1		5
	25～29	1								1		2
30歳代	30～34	1	1			2				1		5
	35～39					2				1		3
40歳代	40～44	2	1					1		1		5
	45～49		1			2				1		4
50歳代	50～54	3						1		2		6
	55～59	1	1							1		3
60歳代	60～64	2			1				3	1		7
	65～69				3				2	1		6
70歳代	70～74		1		1				3	8		13
	75～79		2		2				4	2		10
80歳以上					2			3		16		21
合計		11	7	0	10	7	0	6	13	40	0	94
内数	子ども									1		1
	幼児											0
	小学生											1
	中学生									1		1
	高校生							1				1
	高齢者		3		8			3	9	27		50
	男性	9	6		4	6		6	9	17		57
	女性	2	1		6	1			4	23		37

ウ 職業別

無職が 52 人と最も多く全死者の 55.3 パーセントを占め、次いでサービス業の 12 人、農・林・漁業の 7 人の順となっている。

(単位：人)

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗車付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
職業運転者			1					1				2
公務員		2										2
農・林・漁業		1	1					2	2	1		7
建設業			1		2					1		4
製造業			1			3				2		6
卸・小売業						1			1			2
飲食店業												0
金融・保険業												0
サービス業		2	1		1	3		1	1	3		12
子ども										2		2
高校生								1				1
学生		1										1
主婦			2		1							3
無職		5			6			1	9	31		52
その他												0
合計		11	7	0	10	7	0	6	13	40	0	94

エ 状態別の違反

(7) 歩行者

歩行者の死者 40 人のうち、30 人(歩行者死者の 75.0%)には何らかの違反があり、横断中の違反が 12 人と最も多く、違反のある歩行者死者の 40.0 パーセントを占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号 無視	通行 区分	横断						計	幼児 歩	ひとり 歩	めいい てか いい	は 上 作 業	飛 び 出 し	そ の 他	違 反 な し	合 計
			横断 歩道 外	斜め 横断	駐停車 両後	直前直 車両後	走行直 車両後	横断禁 止場所									
1 当									0								0
2 当以下	2	7	4	2	1	5			21	1	3	1	1	3	10		40

(i) 自転車

自転車乗用中の死者 13 人のうち 10 人(76.9%)に何らかの違反があり、交差点安全進行が 3 人、安全不確認が 3 人で、違反のある自転車死者の 60.0 パーセントを占めている。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	右側 通行	横断 等禁 止	右折 違反 等	優先 通行 妨害	交差 点安 全進 行	一時 不停 止	灯火 違反	酒酔 い運 転	徐行 場所 違反	ハンド ル操 作不 適	前方 不注 意	安全 不確 認	そ の 他	違 反 な し	合 計
1 当																0
2 当以下	1	1	1		1	3							3		3	13

(u) 原付

原付乗車中の死者 6 人のうち、5 人(83.3%)に何らかの違反があった。

前方不注視による死者は 2 人で、違反のある死者の 40.0 パーセントを占めている。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最高 速度	通行 区 分	横断 等禁 止	右折 違反	一時 不停 止	優先 通行	交差 点安 全	徐 行	酒酔 い運 転	ハンド ル操 作不 適	ブレ ーキ 操 作不 適	前方 不注 意	安全 不確 認	違 反 な し	合 計
1 当						1		1					2			4
2 当以下														1	1	2

(I) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者 7 人のうち、6 人(85.7%)に何らかの違反があった。

安全速度違反による死者は 2 人で、違反のある死者の 33.3%を占めている。(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最高 速度	通行 区 分	右折 違反	一時 不停 止	優先 通行	交差 点安 全	酒酔 い運 転	徐 行	ハンド ル操 作不 適	前方 不注 意	安全 不確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	合 計
1 当		1	1								1		2			5
2 当以下											1				1	2
同 乗																0

(オ) 自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者 18 人、同乗中死者 10 人の合計 28 人である。

うち同乗中死者数を除く運転中死者 18 人の違反別では、ハンドル・ブレーキ操作と前方不注意が各 5 人で最も多く、55.6%を占めている。

事故類型別では、単独事故による死者が、運転中死者 11 人、同乗中死者 5 人の合計 16 人で最も多く、自動車乗車中の死者全体の 57.1 パーセントを占めている。

うち同乗中死者数を除く、運転中死者 11 人の違反別では、ハンドル・ブレーキ操作不適が 5 人、前方不注意が 3 人で、72.7 パーセントを占めている。

(単位：人)

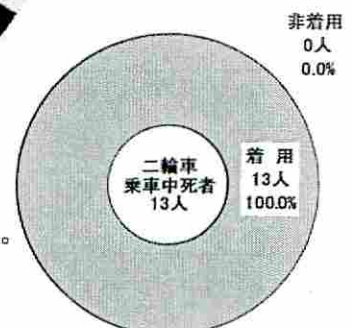
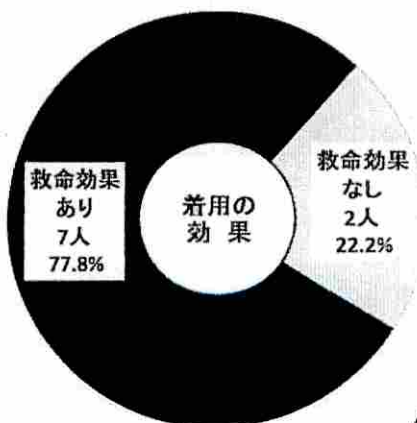
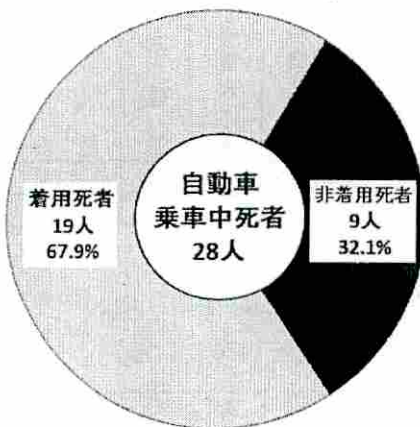
違反 区分		運 転 中															同 乗 中 計	合 計
		信 号 無 視	最 高 速 度	通 区 ・ 追 越	一 時 不 停 止	酒 酔 い 運 転	優 先 通 行 妨 害 等	交 差 点 安 全 進 行	横 断 等 禁 止	過 労 等 運 転	安 全 運 転 義 務	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	計		
当事者	1 当		1	3	1		1				5	5		1		17		17
	2 当														1	1		1
	3 当以下															0	10	10
事故 類型	正面衝突			3								1				4	1	5
	追突											1				1		1
	出会い頭						1									1	1	2
	追越・追抜															0	1	1
	転回時															0		0
	右折時															0	1	1
	その他														1	1	1	2
計		0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	7	5	12
型 列	車両単独		1		1						5	3		1		11	5	16
	車両相対															0		0
合 計		0	1	3	1	0	1	0	0	0	5	5	0	1	0	18	10	28

オ シートベルト・チャイルドシート着用状況

(ア) シートベルト

自動車乗車中の死者 28 人中、シートベルトを着用していたのは 19 人で、着用率は 67.9 パーセントと低調である。

また、非着用死者 9 人中、7 人（非着用で死亡した者の 77.8%）はシートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は 13 人で、すべてヘルメットを着用していた。

2 歩行者の事故

(1) 概 況

交通事故で死傷した歩行者は、

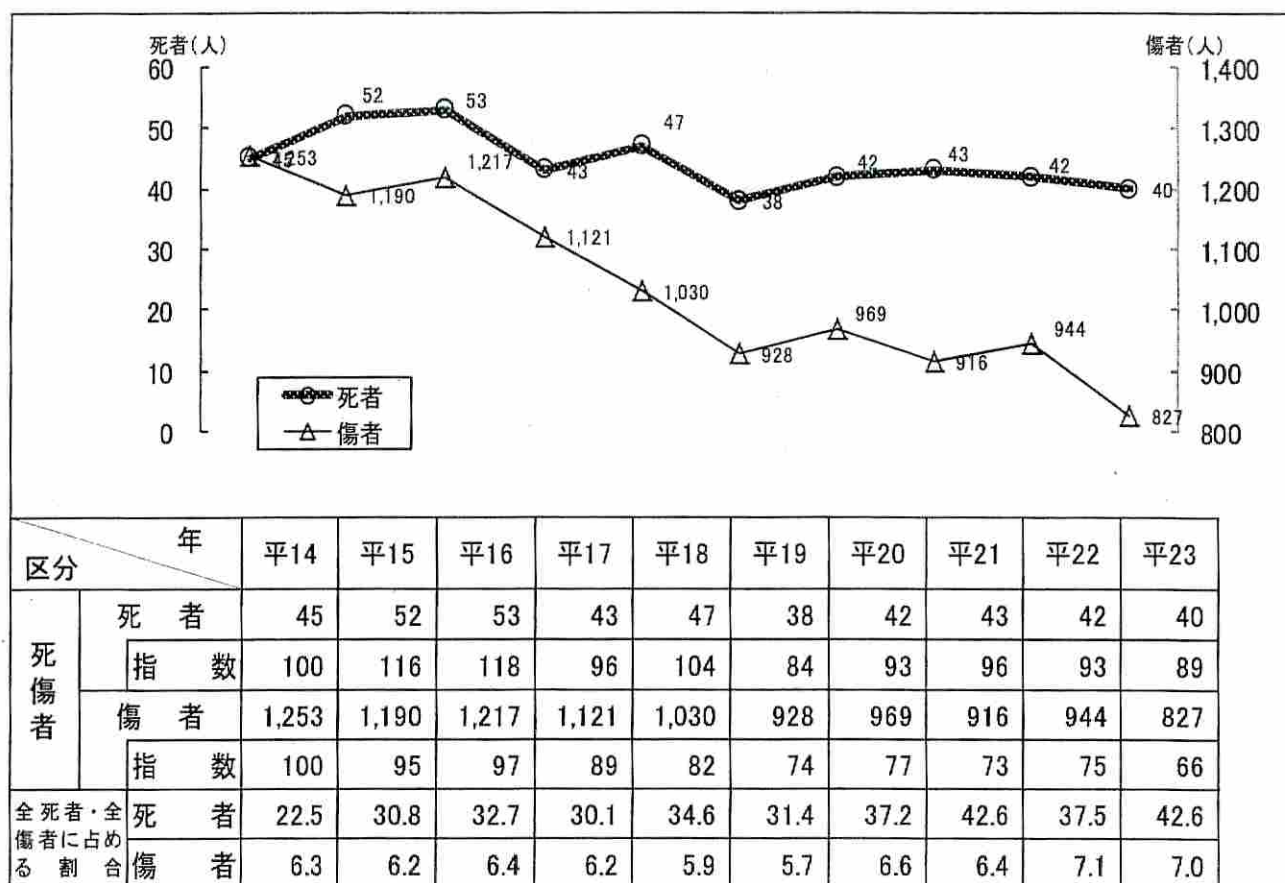
死者数 40 人 (前年比 -2 人 4.8%減)

傷者数 827 人 (前年比 -117 人 12.4%減)

で、死者数、傷者数とも減少した。

全死傷者に占める割合は、死者数は 42.6 パーセントで 5.1 ポイント増加し、傷者数は 7.0 パーセントで 0.1 ポイント減少した。

(単位: 人・%)



(2) 月 別

死者は 11 月が 9 人で最も多く、次いで 2、7 月の 5 人の順となっており、特に下半期の死者は 27 人 (67.5%) と多くなっている。

傷者数は 12 月が 121 人で最も多く、次いで 11 月の 89 人、1 月の 87 人の順となっている。

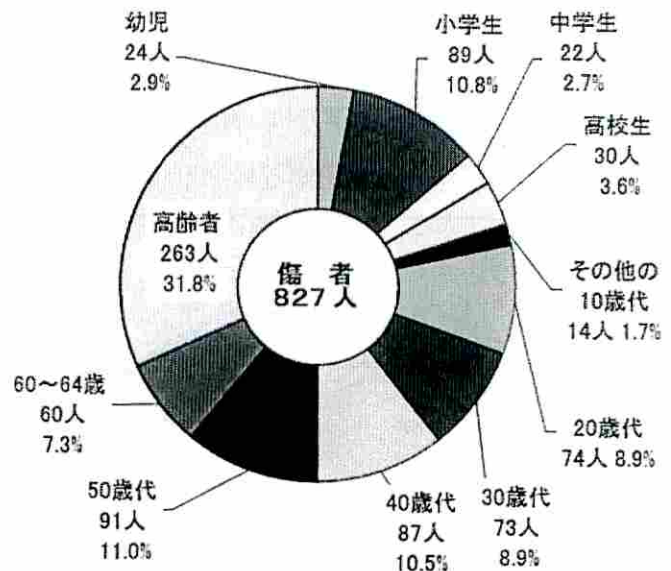
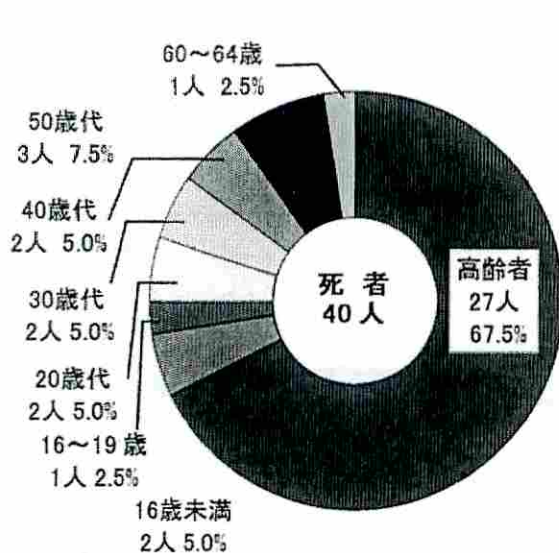
(単位: 人・%)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
区分	死者	2	5	1	1		4	5	4	3	2	9	4	40
	傷者	87	86	66	47	50	52	52	59	49	69	89	121	827
全死者・全傷者に占める割合	死者	50.0	100.0	16.7	12.5	0.0	50.0	62.5	33.3	23.1	50.0	50.0	66.7	42.6
	傷者	8.5	8.6	8.4	6.2	5.6	5.9	5.2	5.2	5.1	6.4	8.2	9.7	7.0

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が27人で最も多く、歩行者死者の67.5パーセントを占めている。

傷者も高齢者が263人と最も多く、次いで50歳代が91人となっている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢死者は27人であり、その他の高齢死者23人の1.2倍となっている。

傷者は高齢者の占める割合31.8パーセントであり、次に50歳代が11.0パーセントと高い。

(単位：人・%)

(単位：人・%)

年齢		死 者		傷 者	
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)
歩行者の死傷者	16歳未満	2	5.0	142	17.2
	16～19歳	1	2.5	37	4.5
	20歳代	2	5.0	74	8.9
	30歳代	2	5.0	73	8.8
	40歳代	2	5.0	87	10.5
	50歳代	3	7.5	91	11.0
	60歳代				
	60～64	1	2.5	60	7.3
	65～69	1	2.5	52	6.3
	70歳代				
	70～74	8	20.0	48	5.8
	75～79	2	5.0	66	8.0
	80歳以上	16	40.0	97	11.7
	合 計	40	100.0	827	100.0
内訳	幼 児	1	2.5	24	2.9
	小 学 生	0	0.0	89	10.8
	中 学 生	1	2.5	22	2.7
	高 校 生	0	0.0	30	3.6
	高 齢 者	27	67.5	263	31.8

年齢		死 者		傷 者	
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)
その他の死傷者	16歳未満	0	0.0	615	5.6
	16～19歳	1	1.9	678	6.1
	20歳代	5	9.3	1,979	17.9
	30歳代	6	11.1	2,126	19.3
	40歳代	7	13.0	1,898	17.2
	50歳代	6	11.1	1,639	14.9
	60歳代				
	60～64	6	11.1	793	7.2
	65～69	5	9.3	422	3.8
	70歳代				
	70～74	5	9.3	377	3.4
	75～79	8	14.8	280	2.5
	80歳以上	5	9.3	221	2.0
	合 計	54	100.0	11,028	100.0
内訳	幼 児	0	0.0	115	1.0
	小 学 生	0	0.0	324	2.9
	中 学 生	0	0.0	180	1.6
	高 校 生	1	1.9	437	4.0
	高 齢 者	23	42.6	1,300	11.8

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は18～20時の12人が歩行者死者の30.0パーセントを占め最も多く、次いで16～18時の11人となっている。

傷者は16～18時の141人が歩行者傷者の17.0パーセントを占め最も多く、次いで18～20時の140人、14～16時の132人となっている。

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死 者		3	2			1	3	3	1	11	12	2	2	40
	構成率(%)	7.5	5.0	0.0	0.0	2.5	7.5	7.5	2.5	27.5	30.0	5.0	5.0	100.0
傷 者		14	7	9	49	80	90	81	132	141	140	57	27	827
	構成率(%)	1.7	0.8	1.1	5.9	9.7	10.9	9.8	16.0	17.0	16.9	6.9	3.3	100.0

イ 昼夜別

死者は夜間が28人と多く、歩行者死者の70.0パーセントを占めている。

傷者は昼間が510人と多く、歩行者傷者の61.7パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼 間			計	夜 間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死 者			10	2	12	6	22		28	40
	構成率(%)	0.0	25.0	5.0	30.0	15.0	55.0	0.0	70.0	100.0
傷 者		4	484	22	510	33	277	7	317	827
	構成率(%)	0.5	58.5	2.7	61.7	4.0	33.5	0.8	38.3	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が19人と多く、歩行者死者の47.5パーセントを占めている。

傷者は昼間における子ども、高齢者以外の者が214人と多くなっている。

(単位：人・%)

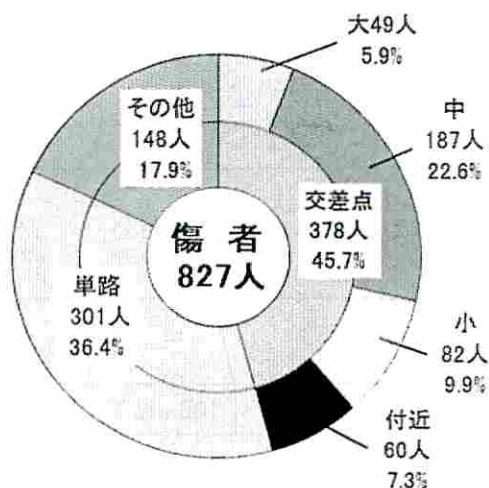
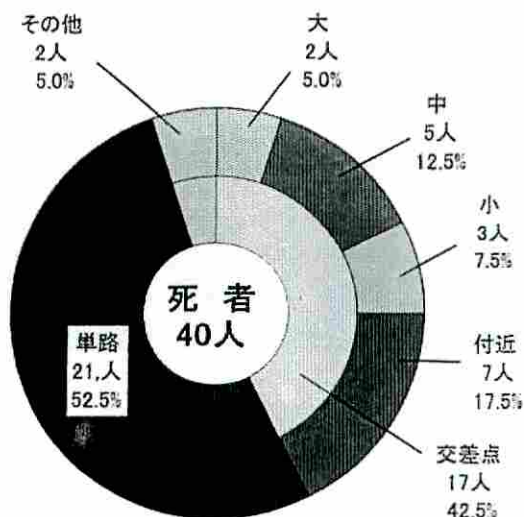
区分	昼夜	昼 間			計	夜 間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死 者		1	8	3	12	1	19	8	28	40
	構成率(%)	2.5	20.0	7.5	30.0	2.5	47.5	20.0	70.0	100.0
傷 者		119	177	214	510	19	86	212	317	827
	構成率(%)	14.4	21.4	25.9	61.7	2.3	10.4	25.6	38.3	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路が21人で最も多く、52.5パーセントを占めている。

傷者は交差点が378人と最も多く、45.7パーセントを占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は21人で、歩行者死者の52.5パーセントを占めている。

歩車道の区分別では、区分有りでの死者が多く32人と歩行者死者の80.0%を占め、傷者についても530人で歩行者傷者の64.1パーセントを占めている。

(単位：人)

道路形状 信号機、歩車道区別の有無			交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者	2	2	1	2	7			7
		傷者	47	121	22	23	213	2		215
	信号機なし	死者		3	2	5	10	21	2	33
		傷者	2	66	60	37	165	299	148	612
合 計		死者	2	5	3	7	17	21	2	40
		傷者	49	187	82	60	378	301	148	827

歩 車 道	区 分 あ り	防護柵等	死者								0
			傷者	1	2	1	2	6	8		14
		縁石等	死者	3	4	2	5	14	13		27
			傷者	43	149	46	37	275	125	9	409
		路側帯	死者		1		1	2	3		5
			傷者	4	21	10	8	43	64		107
	区分なし	死者		3	2	1	6		2	8	
		傷者	1	15	25	13	54	104	139	297	
合 計		死者	3	8	4	7	22	16	2	40	
		傷者	49	187	82	60	378	301	148	827	

ウ 自宅からの距離

自宅から500メートル以内の死傷者が310人と多く、歩行者死傷者の35.8パーセントを占めている。

また、死者は23人で歩行者死者の57.5パーセントを占めている。

全歩行者の死傷者 867人(40人)	93人 (8人) 10.7%	66人 (5人) 7.6%	151人 (10人) 17.4%	141人 (3人) 16.3%	97人 (3人) 11.2%	316人 (11人) 36.4%	3人 (0人) 0.3%
子どもで歩行者の 死傷者 137(2人)	21人 (0人) 15.3%	15人 (0人) 10.9%	28人 (0人) 20.4%	26人 (1) 19.0%	18人 (0人) 13.1%	29人 (1人) 21.2%	
高齢者で歩行者の 死傷者 290人(27人)	45人 (6人) 15.5%	36人 (5人) 12.4%	68人 (7人) 23.4%	54人 (1人) 18.6%	23人 (2人) 7.9%	64人 (6人) 22.1%	
区 分	50m以下	100m以下	500m以下	1km以下	2km以下	2km超過	調査不能

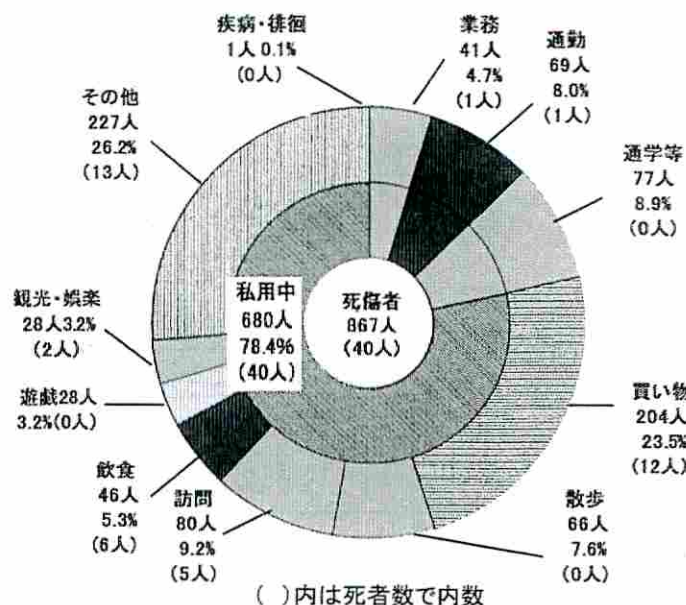
()内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が680人で78.4パーセントを占めている。

うち買い物目的が最も多く204人、23.5パーセントとなっている。

通学等については、前年に比べ、死者が1人、傷者が29人減少している。



(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は25人で歩行者死者の62.5パーセント、傷者は454人で歩行者傷者の54.9パーセントを占めている。

(単位：人・%)

状態 区分	人 対 車 両													人 対 車 両 以 外	合 計	
	対 面 通 行 中	背 面 通 行 中	横 断 中					計	路 上 遊 戯 中	路 上 作 業 中	路 上 停 止 中	歩 道 通 行 中	路 側 帯 通 行 中			そ の 他
			横 断 歩 道	横 断 歩 道 付 近	横 断 歩 道 橋 付 近	そ の 他										
死 者	0	7	5	4	0	16	25	0	0	1	0	0	5	2	40	
構成率(%)	0.0	17.5	12.5	10.0	0.0	40.0	62.5	0	0.0	2.5	0	0	13	5	100	
傷 者	41	83	217	25	1	211	454	7	15	34	26	7	148	12	827	
構成率(%)	5.0	10.0	26.2	3.0	0.1	25.5	54.9	0.8	1.8	4.1	3.1	0.8	17.9	1.5	100	

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者25人のうち、交差点での死者は15人で横断中死者の60.0パーセントを占めている。

また、交差点内の傷者283人のうち、198人(70.0%)が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

(単位：人・%)

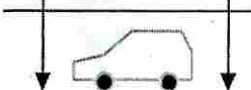
道路形状 横断場所		交 差 点						計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近		構 成 率(%)									
		死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者		
横断中	横 断 歩 道	5	198		9	5	207		10	5	217	20.0	47.8		
	横断歩道付近		11	4	9	4	20		5	4	25	16.0	5.5		
	横断歩道橋付近		1			0	1			0	1	0.0	0.2		
	そ の 他	4	73	2	18	6	91	10	120	16	211	64.0	46.5		
合 計		9	283	6	36	15	319	10	135	25	454	100	100		

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は 19 人(76.0%)、傷者は 356 人(78.4%)となっている。

「車両の陰から」の傷者は 54 人で、うち 26 人(48.1%)は子どもの傷者となっている。

(単位：人・%)

横断場所 区分		車両の陰から			建 物	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
								
子 ども	死 者				1			
	傷 者	10	14	2	11	2	8	56
高 齢 者	死 者	1	1	1	1		1	16
	傷 者	2	6	5	1	0	7	132
そ の 他	死 者							3
	傷 者	3	10	2	3	1	11	168
合 計	死 者	1	1	1	2	0	1	19
	構成率(%)	4.0	4.0	4.0	8.0	0.0	4.0	76.0
	傷 者	15	30	9	15	3	26	356
	構成率(%)	3.3	6.6	2.0	3.3	0.7	5.7	78.4

(8) 違反別

(単位：人・%)

ア 違反状況をみると、何らかの違反があった死者は 30 人で 75.0%を占め、傷者は 280 人で 33.9%となっている。

イ 死者の違反は、横断中が 12 人と多く違反あり死者の 40.0%、次いで通行区分が 7 人で違反あり死者の 23.3%を占めている。

横断中では、走行車両の直前・直後の横断が 5 人で最も多く、横断中の違反あり死者の 41.7 パーセントを占めている。

傷者の違反も横断中が 109 人と多く、違反あり傷者の 38.9 パーセントを占めている。

違反		死 者		傷 者	
		死 者	構成率(%)	傷 者	構成率(%)
信 号 無 視		2	5.0	23	2.8
通 行 区 分		7	17.5	38	4.6
横 断 中	横 断 歩 道 外	4	10.0	60	7.3
	斜 め 横 断	2	5.0	3	0.4
	駐停車車両直前・直後	1	2.5	24	2.9
	走行車両直前・直後	5	12.5	21	2.5
	横断禁止場所		0.0	1	0.1
計		12	30.0	109	13.2
酩 酊 ・ 徘 徊		3	7.5	11	1.3
路 上 遊 戯			0.0	3	0.4
路 上 作 業		1	2.5	5	0.6
飛 び 出 し		1	2.5	69	8.3
そ の 他		4	10.0	22	2.7
違 反 な し		10	25.0	547	66.1
合 計		40	100.0	827	100.0

3 自転車の事故

(1) 概 況

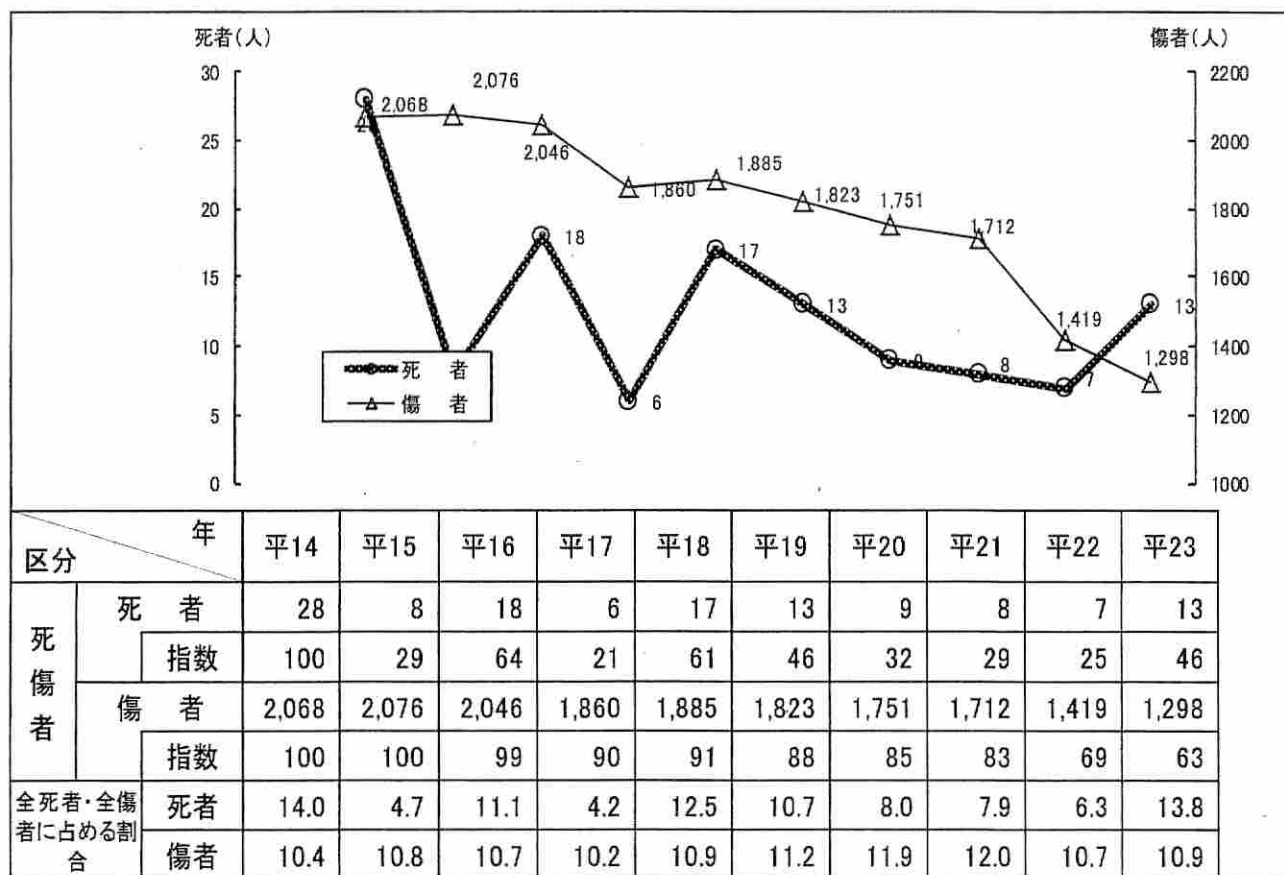
交通事故で死傷した人は

死者数 13 人 (前年比 +6 人 85.7%増)

傷者数 1,298 人 (前年比 -121 人 8.5%減)

で、死者数は6人増と大幅に増加したが、傷者数は減少した。

全死者数に占める割合は 13.8 パーセントで 7.5 ポイントの増加、全傷者数に占める割合は 10.9 パーセントで 0.2 ポイント増加した。 (単位：人・%)



(2) 月 別

死者数は11月の3人、次いで8月、9月の各2人となっている。傷者は、6月が139人と最も多く、次いで10月の136人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死者数、傷者数とも下半期が多く占め、死者は 69.2 パーセント、傷者は 56.0 パーセントとなっている。 (単位：人・%)

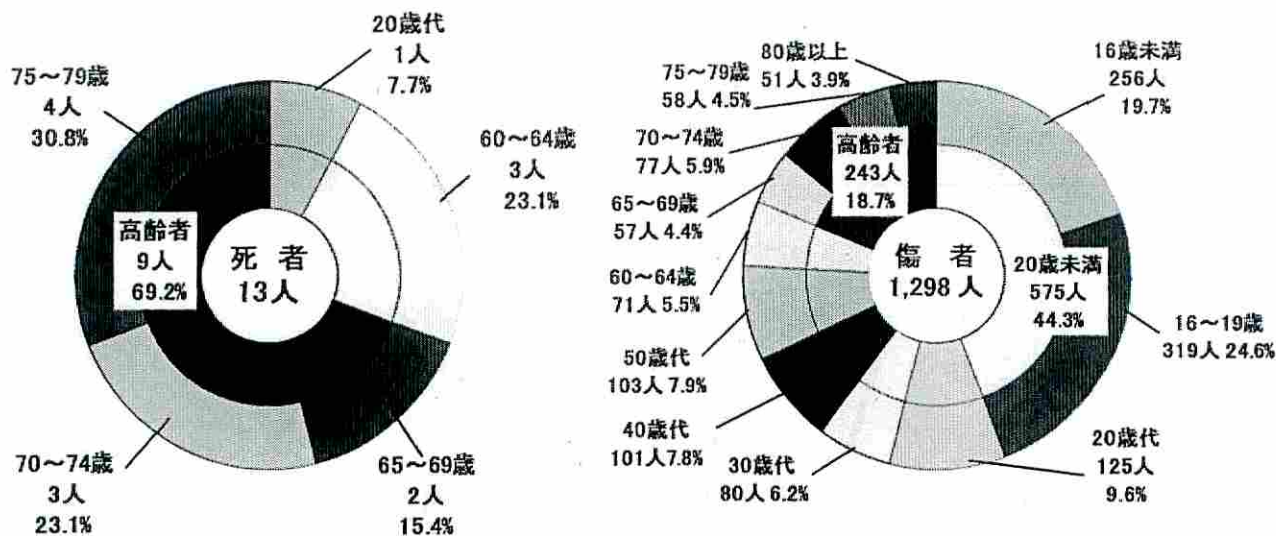
区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被 害	死者		1		1	1	1		1	2	2	1	3		13
	傷者		65	88	75	84	120	139	127	114	127	136	113	110	1,298
全死傷者に占める割合	死者		25.0	0.0	16.7	12.5	50.0	0.0	12.5	16.7	15.4	25.0	16.7	0.0	13.8
	傷者		6.4	8.8	9.5	11.0	13.4	15.8	12.8	10.0	13.1	12.6	10.4	8.8	10.9

(3) 年齢別

ア 年齢別

死者は高齢者が9人と多く、自転車事故の69.2パーセントを占めている。

傷者は20歳未満が575人と多く、自転車傷者の44.3%を占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、自転車の死傷者では、死者は60歳以上、傷者は20歳未満の占める割合が高い。

(単位：人・%)

(単位：人・%)

区分 年齢		死		傷		
			構成率(%)		構成率(%)	
自 転 車 の 死 傷 者	16歳未満			0.0	256	19.7
	16～19歳			0.0	319	24.6
	20歳代		1	7.7	125	9.6
	30歳代			0.0	80	6.2
	40歳代			0.0	101	7.8
	50歳代			0.0	103	7.9
	60歳代	60～64	3	23.1	71	5.5
		65～69	2	15.4	57	4.4
	70歳代	70～74	3	23.1	77	5.9
		75～79	4	30.8	58	4.5
	80歳以上			0.0	51	3.9
	合 計		13	100.0	1,298	100.0
内 訳	幼 児		0.0	6	0.5	
	小 学 生		0.0	66	5.1	
	中 学 生		0.0	107	8.2	
	高 校 生		0.0	339	26.1	
	高 齢 者	9	69.2	243	18.7	

年齢		死		傷		
			構成率(%)		構成率(%)	
その他の死者	16歳未満		2	2.5	501	4.7
	16～19歳		2	2.5	396	3.8
	20歳代		6	7.4	1,928	18.3
	30歳代		8	9.9	2,119	20.1
	40歳代		9	11.1	1,884	17.8
	50歳代		9	11.1	1,627	15.4
	60歳代	60～64	4	4.9	782	7.4
		65～69	4	4.9	417	3.9
	70歳代	70～74	10	12.3	348	3.3
		75～79	6	7.4	288	2.7
	80歳以上		21	25.9	267	2.5
	合 計		81	100.0	10,557	100.0
傷者の内訳	内	幼 児	1	1.2	133	1.3
		小 学 生	0	0.0	254	2.4
		中 学 生	1	1.2	95	0.9
		高 校 生	1	1.2	128	1.2
		高 齢 者	41	50.6	1,320	12.5

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は10～12時が3人、次いで8～10時、14～16時、16～18時が各2人となっており、これらの時間帯で自転車死者の69.2パーセントを占めている。

傷者は16～18時が227人で自転車傷者の17.5パーセントを占め最も多く、次いで8～10時の213人、10～12時の172人、6～8時の169人の順となっている。(単位：人・%)

区分\時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死 者				1	2	3	1	2	2	1		1	13
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	23.1	7.7	15.4	15.4	7.7	0.0	7.7	100.0
傷 者	3	1	5	169	213	172	128	157	227	160	50	13	1298
構成率(%)	0.2	0.1	0.4	13.0	16.4	13.3	9.9	12.1	17.5	12.3	3.9	1.0	100.0

(単位：人・%)

イ 昼夜別

死者、傷者とも昼間が多い。

区分\昼夜	薄明	昼	薄暮	計	薄暮	夜	薄明	計	合計
死 者		10		10	1	2		3	13
構成率(%)	0.0	76.9	0.0	76.9	7.7	15.4	0.0	23.1	100.0
傷 者	4	977	44	1,025	62	210	1	273	1,298
構成率(%)	0.3	75.3	3.4	79.0	4.8	16.2	0.1	21.0	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は昼間の高齢者が7人と多く、自転車の死者の53.8パーセントを占めている。

傷者は、昼間のその他が652人と多く、自転車傷者の50.2パーセントを占めている。

区分\昼夜	子ども	高齢者	その他	計	子ども	高齢者	その他	計	合計
死 者		7	3	10		2	1	3	13
構成率(%)	0.0	53.8	23.1	76.9	0.0	15.4	7.7	23.1	100.0
傷 者	155	218	652	1,025	24	25	224	273	1,298
構成率(%)	11.9	16.8	50.2	79.0	1.8	1.9	17.3	21.0	100.0

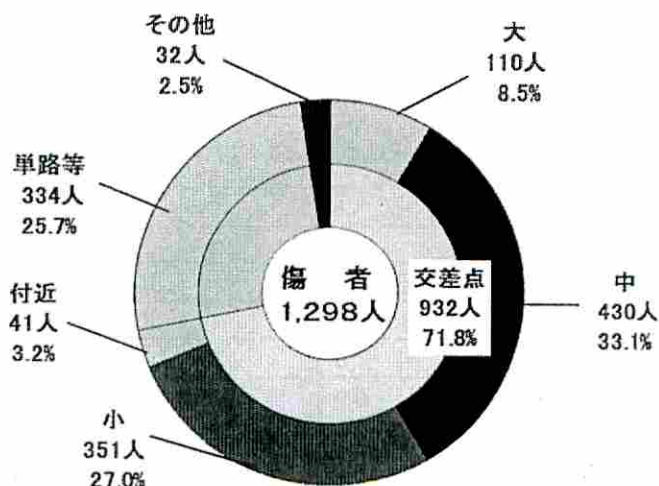
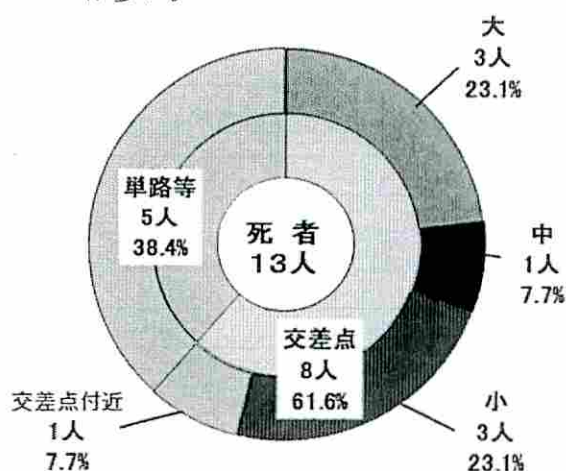
(単位：人・%)

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は、交差点8人、単路等5人となっており、傷者は交差点が932人で自転車傷者の71.8パーセントを占めている。

交差点の大きさで見ると、死者は「小」・「大」交差点で、傷者は「小」・「中」交差点での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

交差点での自転車死者は、信号機のない交差点が6人となっている。

(単位：人)

道路形状 信号機の有無			交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者	2				2			2
		傷者	88	154	27	16	285			285
	信号機なし	死者	1	1	3	1	6	5		11
		傷者	22	276	324	25	647	334	32	1,013
合 計		死者	3	1	3	1	8	5	0	13
		傷者	110	430	351	41	932	334	32	1,298

(6) 道路形状別・事故類型別

自転車乗用中の死傷者は交差点に集中しており、死者8人(61.5%)、傷者932人(71.8%)となっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭の事故が多く、死者は7人(53.8%)、傷者は770人(59.3%)となっている。

(単位：人・%)

道路形状 事故類型		交 差 点				計		その他		合		計	
		交差点内		交差点付近								構成率(%)	
		死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
人 対 車 両						0	0			0	0	0.0	0.0
車 両 相 互	正 面 衝 突				5	0	5	1	19	1	24	7.7	1.8
	追 突		1		1	0	2	2	15	2	17	15.4	1.3
	出 会 い 頭	6	585	1	14	7	599		171	7	770	53.8	59.3
	追 越・追 抜		4		5	0	9	1	27	1	36	7.7	2.8
	転 回・後 退 時		2		2	0	4		30	0	34	0.0	2.6
	進 路 変 更 時					0	0		3	0	3	0.0	0.2
	す れ 違 い 時		1		1	0	2		13	0	15	0.0	1.2
	左 折 時	1	131		3	1	134		37	1	171	7.7	13.2
	右 折 時		157		5	0	162	1	17	1	179	7.7	13.8
そ の 他		7		4	0	11		29	0	40	0.0	3.1	
計		7	888	1	40	8	928	5	361	13	1,289	100.0	99.3
車 両 単 独			3		1	0	4		5	0	9	0.0	0.7
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0
合 計		7	891	1	41	8	932	5	366	13	1,298	100.0	100.0

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、子ども、高齢者とも1Km以内(501~1,000m)の死傷者が多い。

子ども、高齢者を除いた死傷者は2km超過が多い。

(単位：人・%)

区分	距離	50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過	調査不能	合 計
子 ども		6	14	29	59	37	34		179
	構成率(%)	3.4	7.8	16.2	33.0	20.7	19.0	0.0	100.0
高 齢 者		7	① 18	③ 60	③ 63	57	② 47		⑨ 252
	構成率(%)	2.8	7.1	23.8	25.0	22.6	18.7	0.0	100.0
そ の 他		8	21	112	① 165	② 178	① 392	4	④ 880
	構成率(%)	0.9	2.4	12.7	18.8	20.2	44.5	0.5	100.0
合 計		21	① 53	③ 201	④ 287	② 272	③ 473	4	⑬ 1,311
	構成率(%)	1.6	4.0	15.3	21.9	20.7	36.1	0.3	100.0

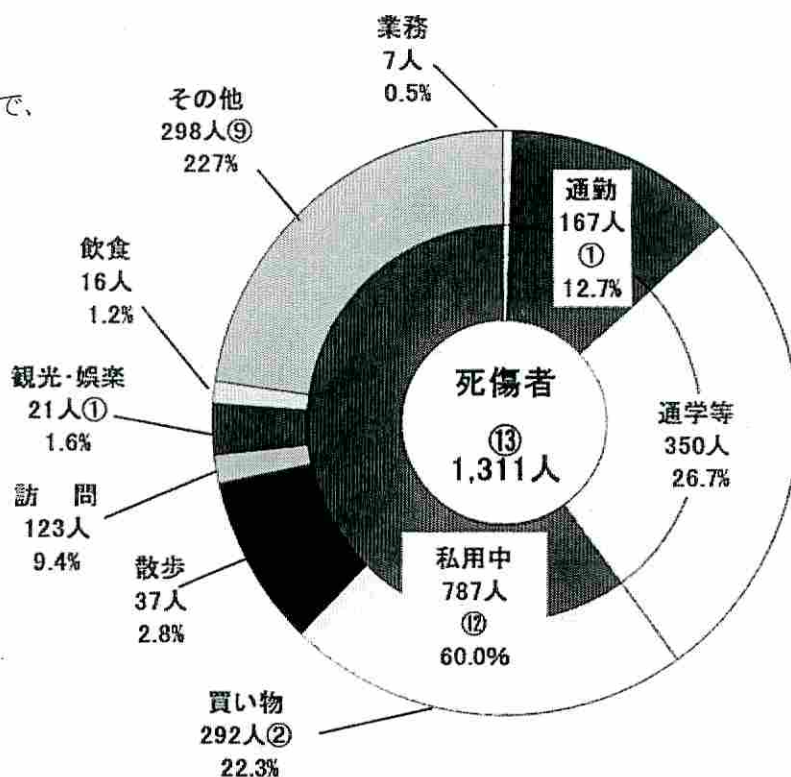
○は死者数で内数

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が 787 人で、60.0 パーセントを占めている。

なかでも買い物が 292 人で、22.3 パーセントを占めている。

通学等、通勤における事故の発生も多く、それぞれ、350 人 (26.7%)、167 人 (12.7%) となっている。



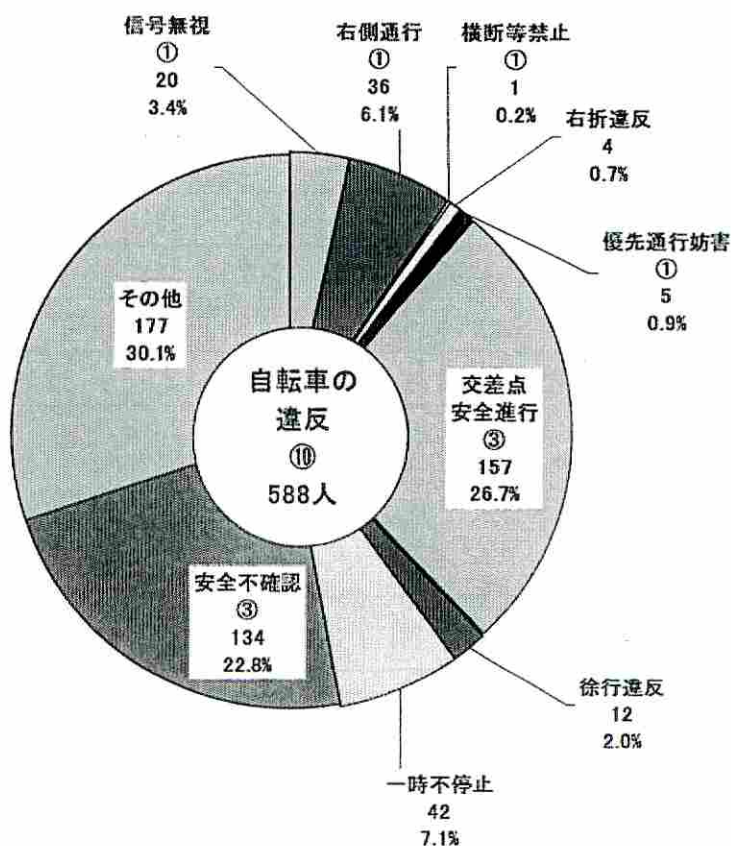
○ は死者数で内数

(9) 違反別

死者のうち何らかの違反があったのは 10 人 (76.9%)、同じく傷者では 578 人 (44.5%) となっている。

(単位: 人・%)

違反	死 者		傷 者	
	人数	構成率	人数	構成率
信号無視	1	7.7%	19	1.5%
右側通行	1	7.7%	35	2.7%
横断等禁止	1	7.7%		0.0%
右折違反		0.0%	4	0.3%
優先通行妨害	1	7.7%	4	0.3%
交差点安全進行	3	23.1%	154	11.9%
徐行違反		0.0%	12	0.9%
一時不停止		0.0%	42	3.2%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認	3	23.1%	131	10.1%
その他		0.0%	177	13.6%
違反なし	3	23.1%	713	54.9%
同乗者		0.0%	7	0.5%
合 計	13	100.0%	1,298	100.0%



○ は死者数で内数

内 訳	夜間事故	3	23.1%	273	21.0%
	うち無灯火	0	0.0%	4	1.5%
	無灯火率	死者 0.0%	傷 者 0.3%		

4 子どもの事故

(1) 概 況

交通事故により死傷した子どもは、

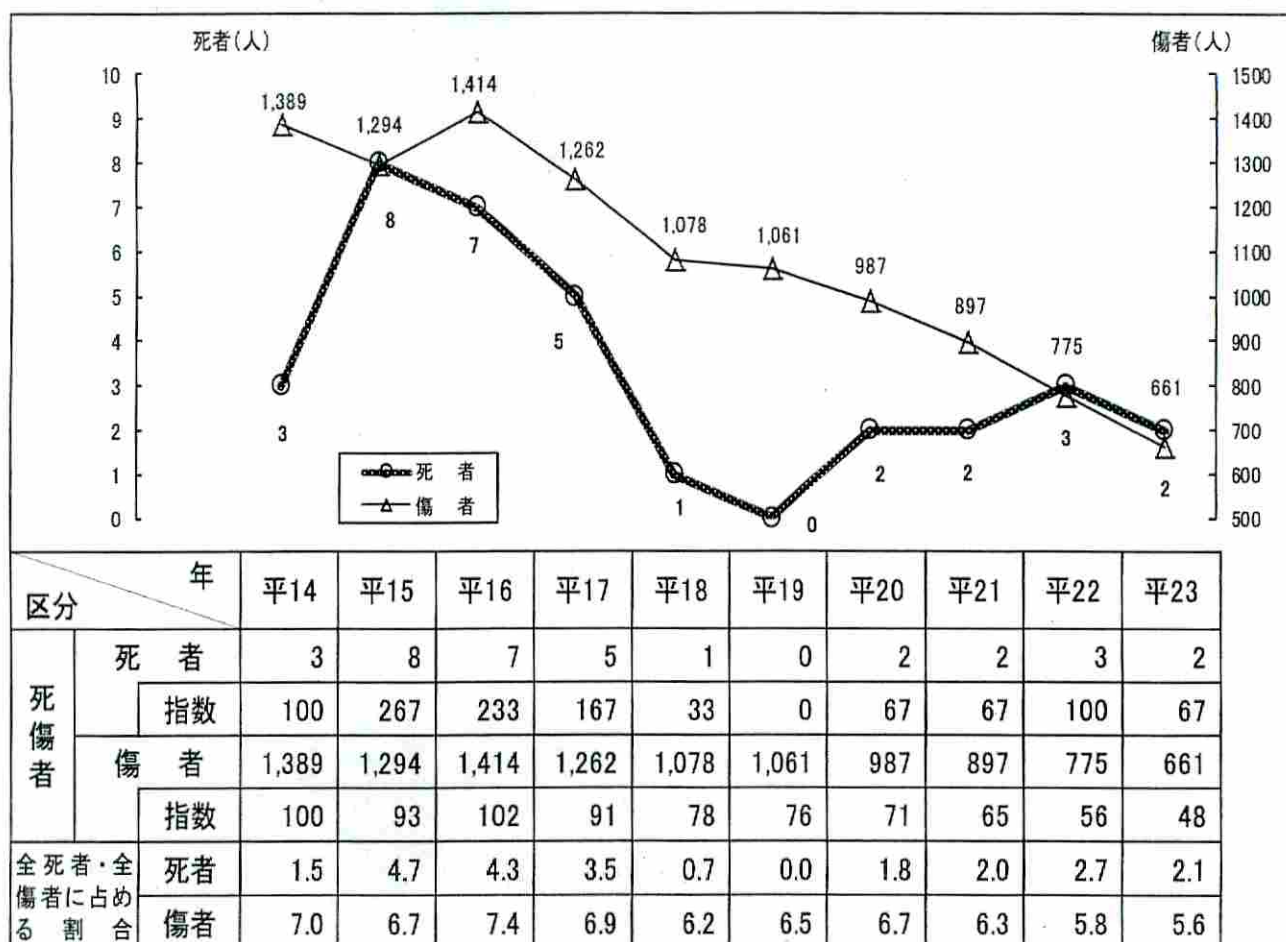
死者数 2 人（前年比 -1 人 33.3%減）

傷者数 661 人（前年比 -114 人 14.7%減）

で、死者数、傷者数とも減少した。

全死者に占める割合は 2.1 パーセントで、0.6 ポイント減少し、全傷者に占める割合は 5.6 パーセントで 0.2 ポイント減少した。

（単位：人・％）



(2) 月 別

死者数は8月、11月に1人、傷者数は8月が79人で最も多く、次いで7月の76人の順となっている。

（単位：人・％）

区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者									1			1		2
	傷者		52	58	33	47	49	51	76	79	56	50	59	51	661
全死者・全傷者に占める割合	死者		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	5.6	0.0	2.1
	傷者		5.1	5.8	4.2	6.2	5.5	5.8	7.6	7.0	5.8	4.6	5.4	4.1	5.6

(3) 状態別

傷者は自動車同乗中の 344 人(52.0%)が最も多く、次いで自転車乗用中が運転者 174 人と同乗者 5 人の合計 179 人 (27.1%)、歩行者 135 人(20.4%)の順となっている。

死者は、幼児、中学生の歩行者各 1 人の合計 2 人となっている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車 同乗中	自動二輪 乗車中	原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
				運 転	同 乗	運 転	同 乗			
死 者								2		2
構成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
傷 者		344				174	5	135	3	661
構成率(%)		52.0	0.0	0.0	0.0	26.3	0.8	20.4	0.5	100.0

(4) 状態別・学齢別

(単位：人)

歩行者の死傷者は、小学 1 年生が最も多く 19 人、次いで小学 2 年生、小学 3 年生の 18 人の順となっている。

自転車は、死者がなく、傷者は、中学生 1 年生の 50 人が最も多く、次いで中学 2 年生、中学 3 年生の順となっている。

学 齢	状態	歩行者		自転車		その他		合 計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼 児	未 就 学 児	1	13		2		64	1	79
	幼 稚 園 児		11		4		45		60
	計	1	24	0	6	0	109	1	139
小 学 生	1 年		19		7		21		47
	2 年		18		8		25		51
	3 年		18		12		30		60
	4 年		13		9		33		55
	5 年		10		12		28		50
	6 年		11		18		28		57
	計	0	89	0	66	0	165	0	320
中 学 生	1 年		10		50		18		78
	2 年	1	6		31		26	1	63
	3 年		6		26		29		61
	計	1	22	0	107	0	73	1	202
合 計		2	135	0	179	0	347	2	661

(5) 時間別・昼夜別

(単位：人)

昼間の死傷者が多く、死者は 50.0 パーセント、傷者は 78.7 パーセントを占めている。

時間別では下校時間帯及び放課後となる 16～18 時の死傷者が 178 人と最も多く、次いで 14～16 時、12～14 時の順となっている。

区分	昼夜	昼 間		夜 間		合 計	
		薄 暮	薄 暮	薄 暮	薄 暮	薄 暮	薄 暮
死 者		1		1		2	0
構成率(%)		50.0		50.0		100.0	0.0
傷 者		520	34	141	29	661	63
構成率(%)		78.7	5.1	21.3	4.4	100.0	9.5

* 薄暮時は内数

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合 計
死 者										1		1		2
構成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100
傷 者			5	3	65	55	65	71	122	177	65	25	8	661
構成率(%)		0.0	0.8	0.5	9.8	8.3	9.8	10.7	18.5	26.8	9.8	3.8	1.2	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢でみると、幼児、小学生は買い物、中学生は登校が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が 7.8 パーセント、小学生 16.2 パーセント、中学生 36.9 パーセントとなっている。(単位：人・%)

学 齢		幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
通行目的		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
通 学 等	登 校	8	5.7	18	5.6	38	18.7	64	9.7
	学 業 中		0.0		0.0	2	1.0	2	0.3
	下 校	3	2.1	34	10.6	35	17.2	72	10.9
私 用	観 光 ・ 娯 楽	8	5.7	29	9.1	11	5.4	48	7.2
	ド ラ イ ブ	1	0.7	2	0.6	1	0.5	4	0.6
	散 歩	2	1.4	14	4.4	5	2.5	21	3.2
	飲 食	3	2.1	5	1.6	2	1.0	10	1.5
	買 物 ①	48	34.3	63	19.7	36	17.7	① 147	22.2
	訪 問	12	8.6	41	12.8	16	7.9	69	10.4
	帰 省	5	3.6	2	0.6	1	0.5	8	1.2
	遊 戯 (路 上)	5	3.6	15	4.7	2	1.0	22	3.3
	疾 病 排 徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	そ の 他	45	32.1	97	30.3	① 54	26.6	① 196	29.6
	調 査 不 能		0.0		0.0		0.0	0	0.0
合 計		① 140	100.0	320	100.0	① 203	100.0	② 663	100.0

○は死者で内数

* (注) 通行目的が道路外の人等は除く

(7) 場所別等

(単位：人・%)

ア 道路形状別等

子どもの死傷者のうち 54.6 パーセントが交差点で事故にあっている。

学齢と道路形状でみると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に、中学生による自転車乗用中の交差点事故が 76 人と多い。

区分	歩行者	自転車	その他	合 計
形状				
交 差 点	61	127	174	362
構成率(%)	16.9	35.1	48.1	
単 路 ①	62	50	159	① 271
構成率(%)	22.9	18.5	58.7	
駐 車 場 等 ①	14	2	14	① 30
構成率(%)	46.7	6.7	46.7	
合 計 ②	137	179	347	② 663
構成率(%)	20.7	27.0	52.3	

○は死者で内数

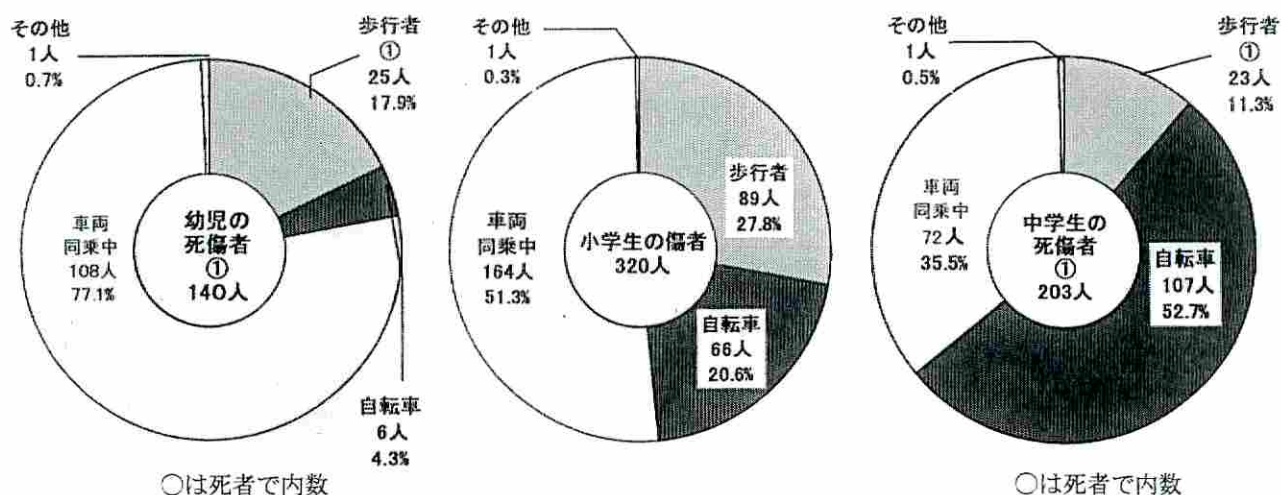
(単位：人)

区分	交 差 点				単 路				駐 車 場 等			
	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計
学 齢												
幼 児	5	4	58	67	15	2	45	62 ①	5		6 ①	11
小 学 生	46	47	85	178	35	19	72	126	8		8	16
中 学 生	10	76	31	117 ①	12	29	42 ①	83	1	2		3
合 計	61	127	174	362 ①	62	50	159 ①	271 ①	14	2	14 ①	30

○は死者で内数

イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況をみると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く 77.1 パーセントを占め、小学生、中学生についても 30 パーセントを超えるなど比率が高くなっている。



ウ 自宅からの距離

子どもの死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から 500 メートル以内での事故が 56.7 パーセントを占め、自転車乗車中では自宅から 1 キロメートル以内での事故が 60.4%を占めている。

(単位：人・%)

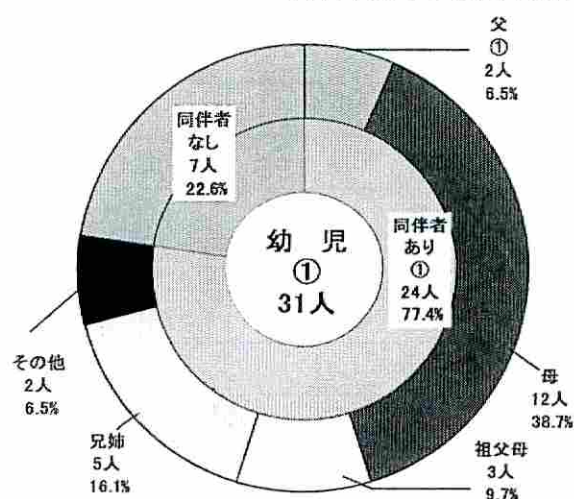
区分 距離	歩行者								自転車								合計	
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計			
	構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)	
50 m 以下	8	32.0	12	13.5	1	4.3	21	15.3		0.0	5	7.6	1	0.9	6	3.4	27	8.5
100 m 以下		0.0	14	15.7	1	4.3	15	10.9	2	33.3	11	16.7	1	0.9	14	7.8	29	9.2
500m 以下	2	8.0	24	27.0	2	8.7	28	20.4	2	33.3	13	19.7	14	13.1	29	16.2	57	18.0
1 km 以下	3	12.0	16	18.0	① 7	30.4	① 26	19.0	2	33.3	21	31.8	36	33.6	59	33.0	① 85	26.9
2 km 以下	4	16.0	9	10.1	5	21.7	18	13.1		0.0	9	13.6	28	26.2	37	20.7	55	17.4
2 km 超過	① 8	32.0	14	15.7	7	30.4	① 29	21.2		0.0	7	10.6	27	25.2	34	19.0	① 63	19.9
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0	0	0.0
合計	① 25	100.0	89	100.0	① 23	100.0	② 137	100.0	6	100.0	66	100.0	107	100.0	179	100.0	② 316	100.0

* 自転車同乗者 5 名は含まない

エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故にあった傷者 31 人のうち、77.4 パーセントの 24 人が「同伴者あり」となっている。

同伴者の中で一番多いのは母親、次いで兄姉の順となっている。



(8) 事故類型

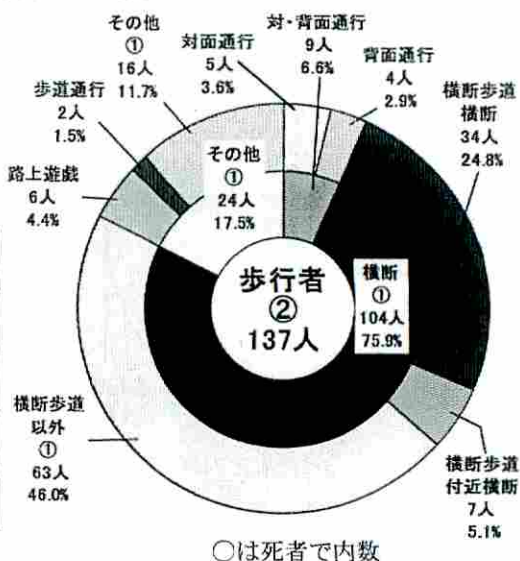
ア 歩行者

状態別では横断中が 104 人と多く歩行者被害の 75.9 パーセントを占め、特に横断歩道以外の場所が 63 人と多く横断中死傷者の 60.6 パーセントを占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、信号機のない横断歩道以外の場所での小学生の傷者が目立っている。

(単位：人)

学 齢	横断場所	横 断 歩 道		横断歩道以外	
		信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼 児		2			14
小 学 生		18	12		39
中 学 生		4	5		10



イ 自転車

死亡事故の発生はないが、事故類型別では、出会い頭事故の傷者が 132 人で、自転車乗用中の 73.7 パーセントを占め最も多く、次いで左折時 14 人、右折時 11 人の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での傷者が 127 人と多く、自転車乗用中傷者の 70.9 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

道路形状等 事故類型		交 差 点		計	その他	合 計		幼児		小学生		中学生	
		交差点内	交差点付近				構成率(%)	交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他
人 対 車 両				0		0	0.0						
車 両 相 互	正 面 衝 突		1	1	3	4	2.2			1	1		2
	追 突			0		0	0.0						
	出 会 い 頭	100	1	101	31	132	73.7	4	1	41	14	56	16
	追 越 ・ 追 抜		1	1	2	3	1.7			1	1		1
	転 回 ・ 後 退 時			0	2	2	1.1		1				1
	進路変更・すれ違い時	1		1	3	4	2.2				1	1	2
	右 折 時	9	1	10	1	11	6.1			2		8	1
	左 折 時	10		10	4	14	7.8			1		9	4
そ の 他	3		3	6	9	5.0			1	2	2	4	
計		123	4	127	52	179	100.0	4	2	47	19	76	31
車 両 単 独				0		0	0.0						
列 車				0		0	0.0						
合 計		123	4	127	52	179	100.0	4	2	47	19	76	31

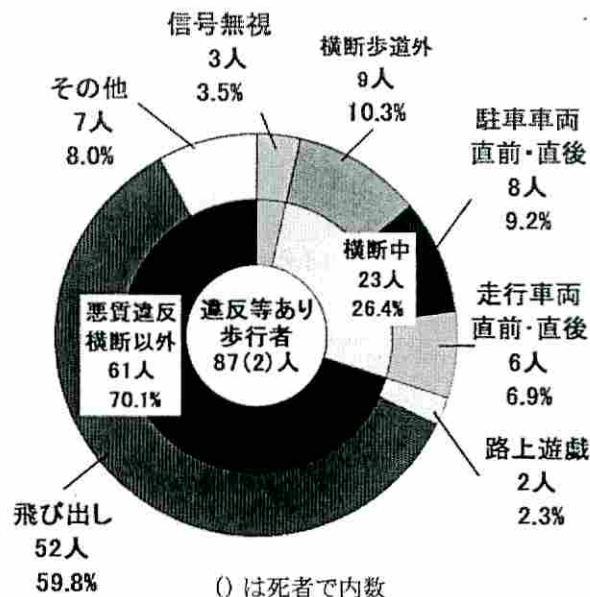
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の死傷者 137 人のうち、何らかの違反が認められた者は 87 人で、子どもの歩行中事故の 63.5 パーセントを占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが 52 人と最も多く、違反のあった歩行者の 59.8 パーセントを占めている。

歩 行 者	幼 児	□違反あり ■違反なし	18(1)人 72.0%	7人 28.0%
	小 学 生		55人 61.8%	34人 38.2%
	中 学 生		14(1)人 60.9%	9人 39.1%
	子 ども 以 外		229(28)人 31.4%	501(10)人 68.6%

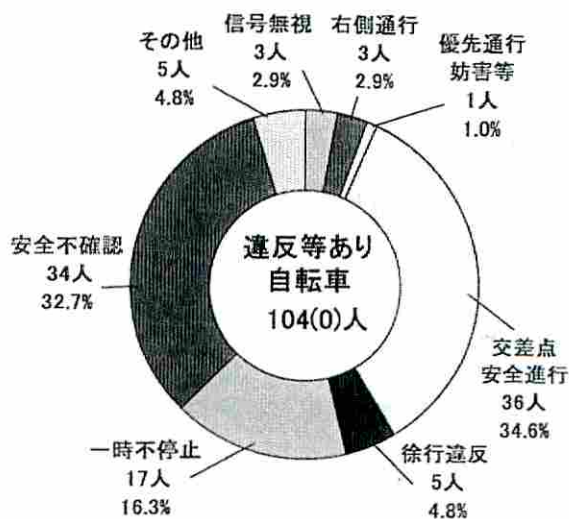


イ 自転車

同乗者を除く自転車の死傷者 174 人のうち、何らかの違反が認められたのは 104 人で自転車死傷者の 59.8 パーセントを占めている。

違反の内容をみると交差点安全進行義務違反が最も多く 36 人で 34.6 パーセントを占めており、次いで安全不確認が 34 人で 32.7%を占めている。

自 転 車	幼 児		3人 50.0%	3人 50.0%
	小 学 生	□違反あり ■違反なし	46人 69.7%	20人 30.3%
	中 学 生		55人 51.4%	52人 48.6%
	子 ども 以 外		484(10)人 42.8%	648(3)人 57.2%



※ 自転車同乗者 5 人（幼児 3 人、小学生 2 人）は含まない () 内は死者で内数

5 高校生の事故

(1) 高校生の事故

ア 概 況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 15件 (前年比 -11件 42.3%減)

死者数 2人 (前年比 +1人 100.0%増)

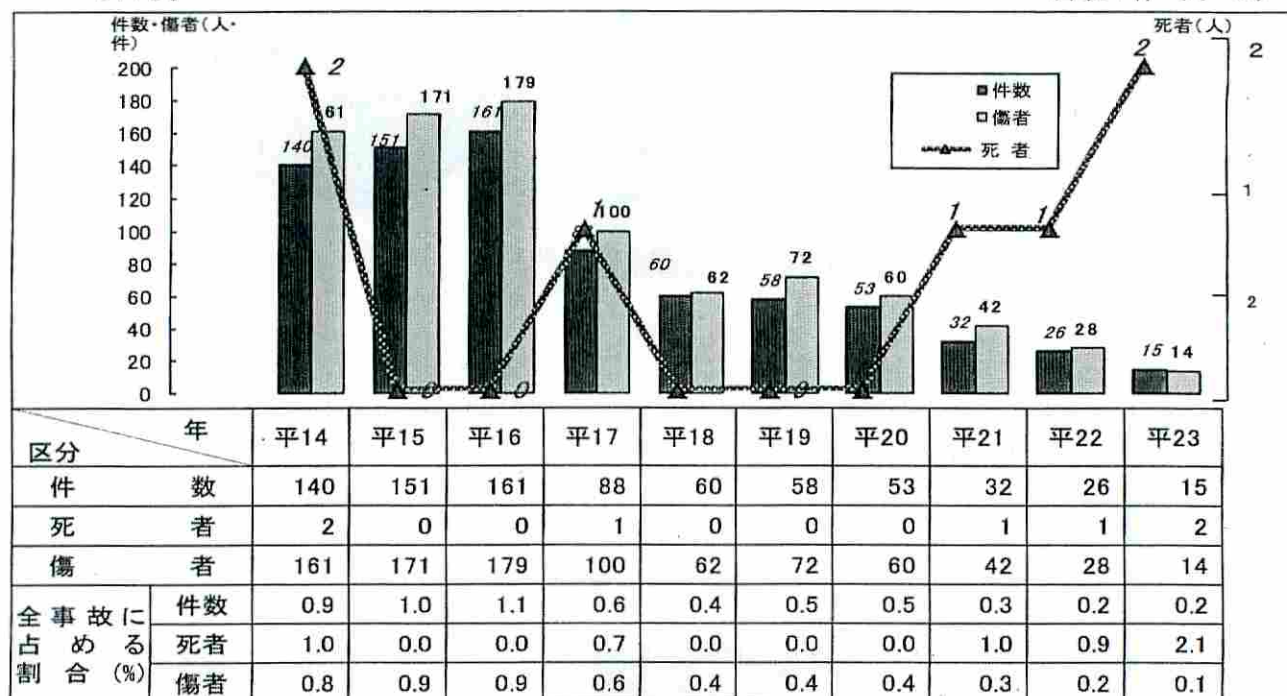
傷者数 14人 (前年比 -14人 50.0%減)

で、発生件数、傷者数とも減少したが、死者は増加した。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成16年の161件、最も少ないのが平成23年の15件と10分の1以下に減少している。

死者は平成14年、平成23年の2人が最も多く、平成17、21、22年の1人、他は0人となっている。

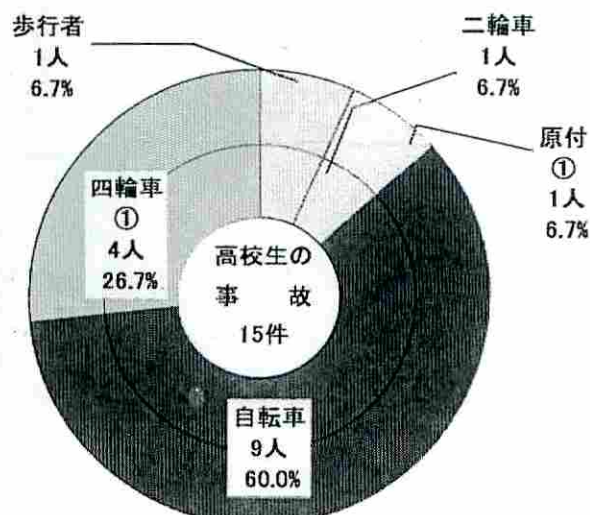
(単位：件・人・%)



イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、自転車が9件で60.0%を占め、次いで、四輪車の4件(26.7%)となっている。

二輪車の事故は、原付バイクでの事故1件であった。



(注)○は死者数で内数

ウ 違反別

安全運転義務違反による事故が9件で60.0%を占め、内容は、動静不注視による事故が5件、次いで前方不注意が4件となっている。

悪質違反による事故は4件で26.7%を占め、信号無視2件、次いで通行区分・追越し、一時不停止が各1件となっている。

(単位:件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
		構成率(%)		構成率(%)				構成率(%)		構成率(%)	
悪質違反	信号無視	2	13.3	404	4.2	安全運転義務違反	徐行違反		0.0	95	1.0
	最高速度		0.0	9	0.1		ハンドル・ブレーキ		0.0	791	8.2
	通区・追越	1	6.7	96	1.0		前方不注意	4	26.7	2,691	28.0
	歩行者妨害等		0.0	179	1.9		動静不注視	5	33.3	1,452	15.1
	一時不停止	1	6.7	465	4.8		安全不確認		0.0	1,765	18.4
	酒酔い運転		0.0	13	0.1		安全速度		0.0	186	1.9
計		4	26.7	1,166	12.1	その他			0	73	1
横断禁止等			0.0	17	0.2	計		9	60.0	6,958	72.3
右・左折違反			0.0	36	0.4	その他		1	6.7	243	2.5
優先通行妨害等			0.0	266	2.8	合計		15	100.0	9,618	100.0
交差点安全進行		1	6.7	837	8.7	無免許(内数)			0.0	33	0.3

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、安全運転義務違反は全事故より13.7ポイント低くなっているが、動静不注視は33.3パーセントと約2倍になっている。

違反	悪質違反	安全運転義務違反	その他
区分			
高校生による事故	4件 26.7%	9件 60.0%	2件 13.3%
全事故	1,166件 13.9%	6,167件 73.7%	1,034件 12.4%

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は、自転車による事故が9件と最も多く、次いで自動車の4件となっている。

場所的特徴では、交差点の事故が7件発生し、46.7パーセントを占めている。

(単位:件)

道路形状	当事者	交差点		その他	合計	カーブ(内数)	
		付近(内数)				右	左
自動車	自動車	2	1	2	4	0	0
	小型二輪				0		
	軽二輪				0		
	原付二種				0		
	原付	1			1		
計		1	0	0	1		
自転車		3	1	6	9	0	0
歩行者		1	1	0	1	0	0
合計		7	3	8	15	0	0

(2) 高校生の被害

ア 概 況

交通事故で被害にあった高校生は

死者数 1人(前年比 ±0人 ——)

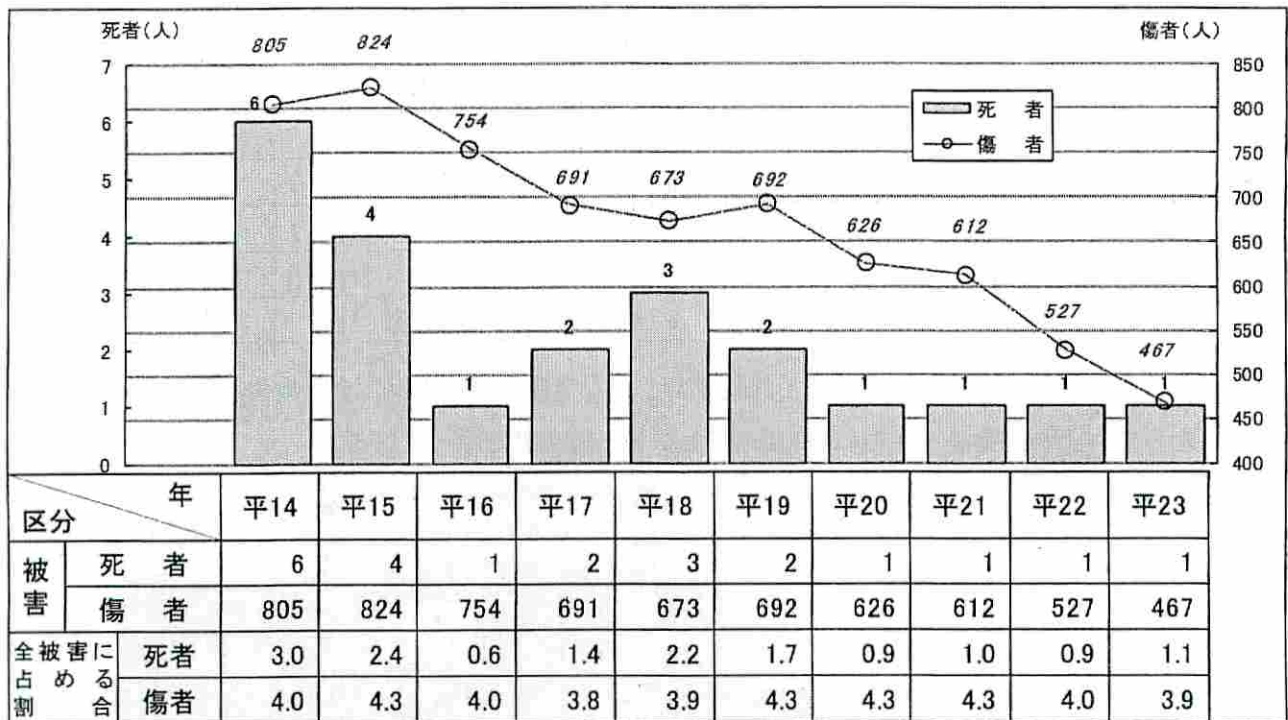
傷者数 467人(前年比 -60人 11.4%減)

で、傷者数は減少したが、死者は前年と同数であった。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成14年の6人、最も少ないのは平成16、20、21、22、23年の各1人となっている。

傷者が最も多いのは平成15年の824人で、最も少ないのは平成23年の467人となっている。

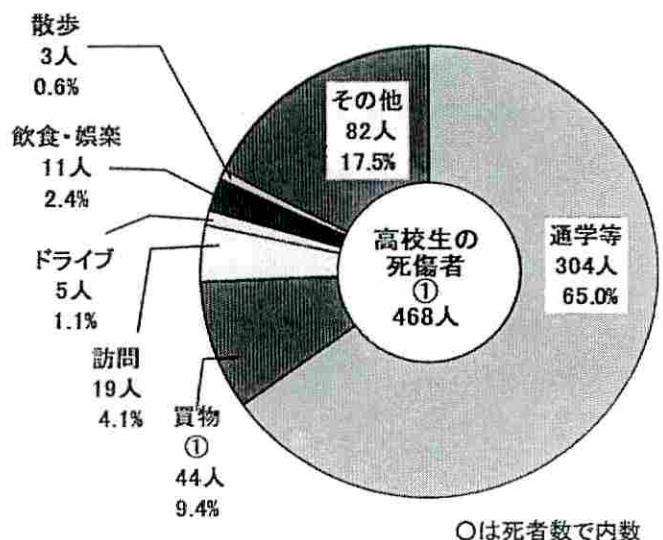
(単位：人・%)



イ 通行目的

通学時に死者はいないものの、傷者は304人で高校生死傷者の65.0パーセントを占め最も多く、次いで買い物の43人となっている。

死者は、買い物の1人となっている。

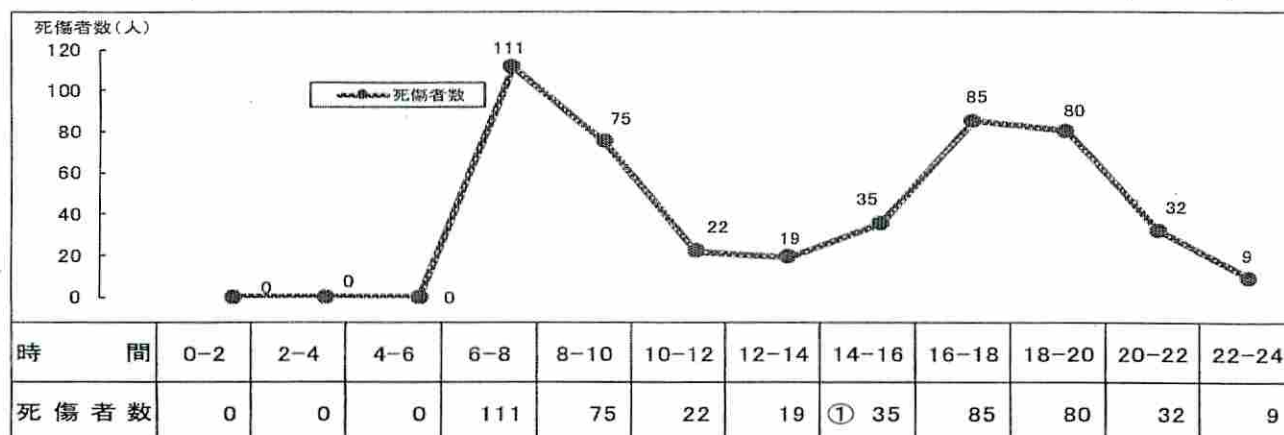


ウ 時間別

死傷者数は、登・下校時間帯、特に6～8時が111人、16～18時が85人、18～20時が80人と多く、この時間帯の死傷者は、高校生死傷者の59.0パーセントを占めている。

死者は1人で14～16時の発生となっている。

(単位：人)



(注) ○は死者数で内数

エ 状態別

高校生の死者は1人で、原付バイク運転中の事故である。

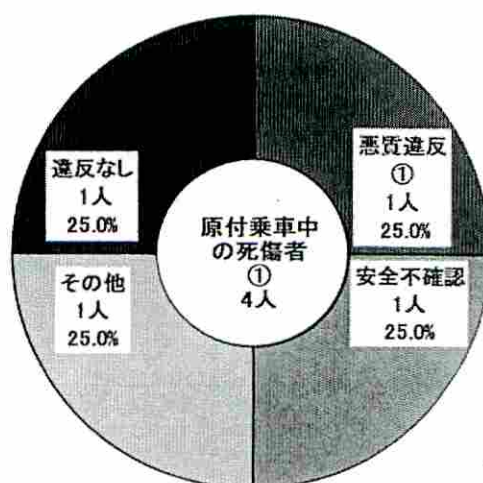
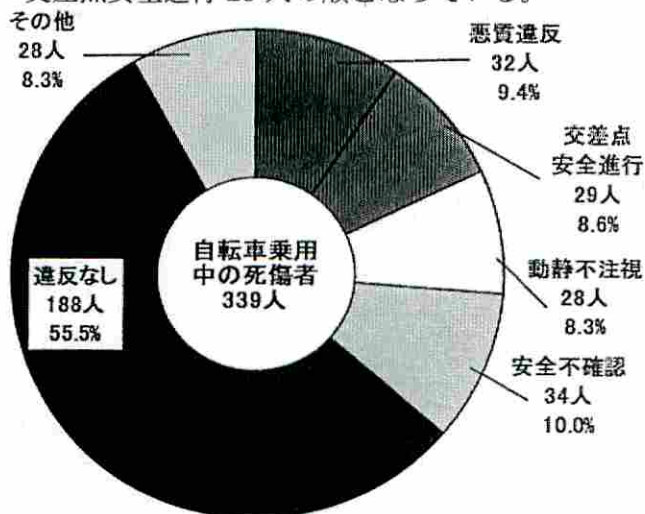
傷者は自転車乗用中が339人と最も多く高校生傷者の72.6パーセントを占め、次いで自動車同乗中の91人(19.5%)、歩行中の30人(6.4%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	状態	自 動 車		自動二輪車		原 付 車	自 転 車	歩 行 中	そ の 他	合 計
		運 転 中	同 乗 中	運 転 中	同 乗 中	乗 車 中	乗 用 中			
死 者						1				1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷 者		1	91	3		3	339	30		467
	構成率(%)	0.2	19.5	0.6	0.0	0.6	72.6	6.4	0.0	100.0

傷者の多い自転車、原付バイクの違反状況をみると、自転車の44.5%に、原付バイクの75.0%に何らかの違反が認められた。

原付バイクは、悪質違反1人、安全不確認1人、自転車は安全不確認34人、悪質違反32人、交差点安全進行29人の順となっている。



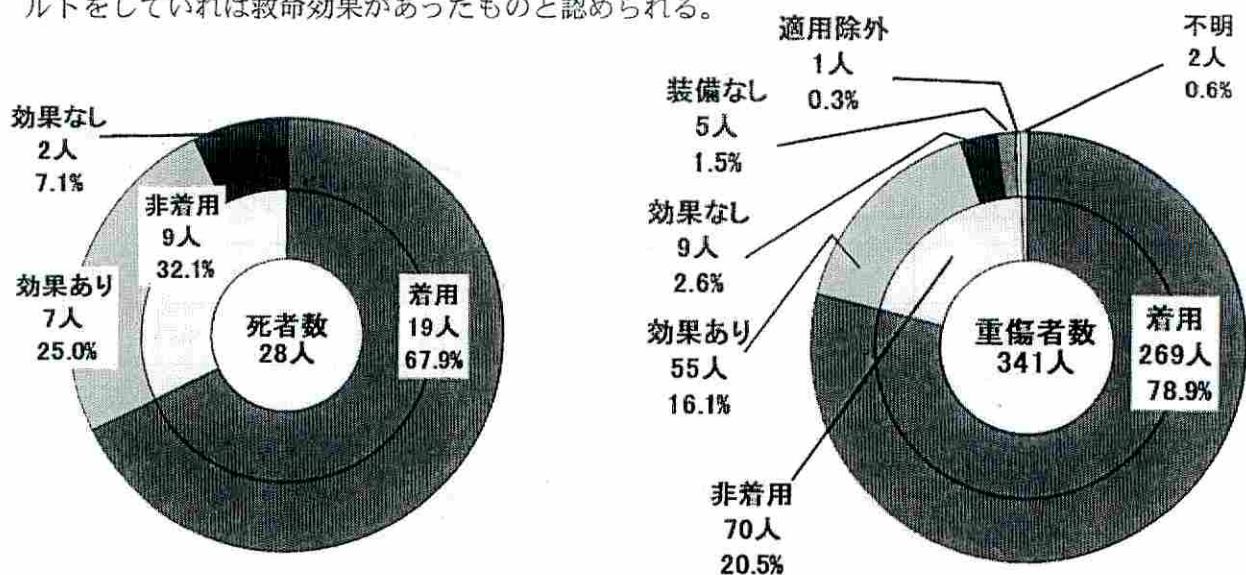
(注) ○は死者数で内数

6 自動車のシートベルト着用状況

(1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用率の効果の有無を死者でみると、非着用者9人中7人(77.8%)はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。

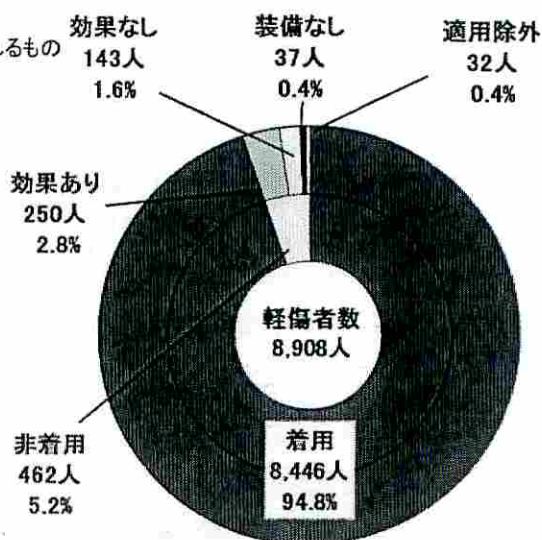


(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、
損傷部位等から怪我の程度が軽くなると予想されるもの
効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

(2) 座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が98.2パーセント、助手席が95.2パーセント、後部席が57.4パーセントである。

死者の着用率は、運転席が61.1パーセント、助手席が75.0パーセント、後部座席が100.0パーセントと運転席、助手席の着用率が低くなっている。



運転席	死者 18人	着用 11人 61.1%	非着用 7人 38.9%
	傷者 7,155人	着用 7,029人 98.2%	非着用 124人 1.7%
助手席	死者 8人	着用 6人 75.0%	非着用 2人 25.0%
	傷者 1,279人	着用 1,218人 95.2%	非着用 61人 4.8%
後部席	死者 2人	着用 2人 100.0%	非着用 0人 0.0%
	傷者 815人	着用 468人 57.4%	非着用 347人 42.6%

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、20～24 歳、30 歳代が 50.0 パーセントと最も低く、次いで 50 歳代が 60.0 パーセントと低くなっている。

傷者は 40 歳代、50 歳代が 96.6 パーセントと最も高く、20 歳未満が 78.1 パーセントと最も着用率が低い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者												0.0
	傷 者	133	129	97.0	226	204	90.3	300	182	60.7	659	515	78.1
20～24歳	死 者	1	1	100.0	1	0	0.0				2	1	50.0
	傷 者	606	591	97.5	128	118	92.2	52	25	48.1	786	734	93.4
25～29歳	死 者	1	1	100.0							1	1	100.0
	傷 者	796	780	98.0	127	123	96.9	57	33	57.9	980	936	95.5
30歳代	死 者	2	1	50.0							2	1	50.0
	傷 者	1,688	1,658	98.2	184	177	96.2	83	49	59.0	1,955	1,884	96.4
40歳代	死 者	4	3	75.0							4	3	75.0
	傷 者	1,508	1,492	98.9	151	146	96.7	68	31	45.6	1,727	1,669	96.6
50歳代	死 者	5	3	60.0							5	3	60.0
	傷 者	1,252	1,234	98.6	171	166	97.1	64	37	57.8	1,487	1,437	96.6
60～64歳	死 者	2	1	50.0	1	1	100.0				3	2	66.7
	傷 者	563	555	98.6	88	88	100.0	45	26	57.8	696	669	96.1
65～69歳	死 者				3	3	100.0				3	3	100.0
	傷 者	257	250	97.3	64	64	100.0	24	12	50.0	345	326	94.5
70歳以上	死 者	3	1	33.3	3	2	66.7	2	2	100.0	8	5	62.5
	傷 者	352	340	96.6	140	132	94.3	122	73	59.8	614	545	88.8
合 計	死 者	18	11	61.1	8	6	75.0	2	2	100.0	28	19	67.9
	傷 者	7,155	7,029	98.2	1,279	1,218	95.2	815	468	57.4	9,249	8,715	94.2

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、0～2 時、8～10 時、16～18 時、20～22 時、22～24 時が 100.0 パーセントと最も高く、12～14 時、18～20 時が 0.0 パーセントと最も低い。

傷者は 6～8 時が 96.3 パーセントと最も高く、2～4 時が 81.8 パーセントと最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者	1	1	100.0							1	1	100.0
	傷 者	61	58	95.1	20	16	80.0	7	2	28.6	88	76	86.4
2～4	死 者	2	1	50.0							2	1	50.0
	傷 者	33	32	97.0	13	10	76.9	9	3	33.3	55	45	81.8
4～6	死 者	2	2	100.0	1	0	0.0				3	2	66.7
	傷 者	81	79	97.5	18	15	83.3	16	6	37.5	115	100	87.0
6～8	死 者	1		0.0	2	2	100.0				3	2	66.7
	傷 者	883	876	99.2	98	93	94.9	62	35	56.5	1,043	1,004	96.3
8～10	死 者	1	1	100.0	1	1	100.0				2	2	100.0
	傷 者	1,058	1,039	98.2	131	124	94.7	90	54	60.0	1,279	1,217	95.2
10～12	死 者	2	1	50.0	2	2	100.0				4	3	75.0
	傷 者	943	929	98.5	180	175	97.2	115	73	63.5	1,238	1,177	95.1
12～14	死 者	1		0.0							1	0	0.0
	傷 者	818	798	97.6	195	186	95.4	116	62	53.4	1,129	1,046	92.6
14～16	死 者	3	2	66.7							3	2	66.7
	傷 者	830	818	98.6	173	169	97.7	111	57	51.4	1,114	1,044	93.7
16～18	死 者	1	1	100.0	1	1	100.0	2	2	100.0	4	4	100.0
	傷 者	1,084	1,065	98.2	201	192	95.5	143	102	71.3	1,428	1,359	95.2
18～20	死 者	2		0.0	1		0.0				3	0	0.0
	傷 者	853	841	98.6	141	133	94.3	66	44	66.7	1,060	1,018	96.0
20～22	死 者	1	1	100.0							1	1	100.0
	傷 者	320	310	96.9	62	59	95.2	47	22	46.8	429	391	91.1
22～24	死 者	1	1	100.0							1	1	100.0
	傷 者	191	184	96.3	47	46	97.9	33	8	24.2	271	238	87.8
合 計	死 者	18	11	61.1	8	6	75.0	2	2	100.0	28	19	67.9
	傷 者	7,155	7,029	98.2	1,279	1,218	95.2	815	468	57.4	9,249	8,715	94.2

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 0人（前年比 -1人 100.0%減）

傷者数 94人（前年比 -62人 39.7%減）

で、死者数、傷者数とも減少した。

乗車位置別死傷者数は、助手席が30人（うち死亡0人）、後部座席が64人（うち死亡0人）となっている。

【助手席】

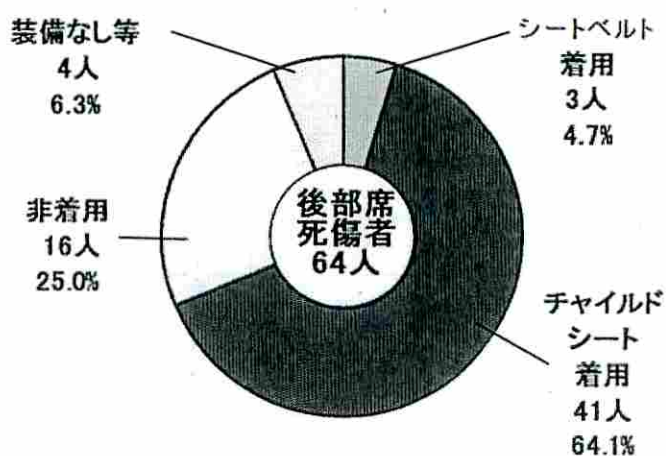
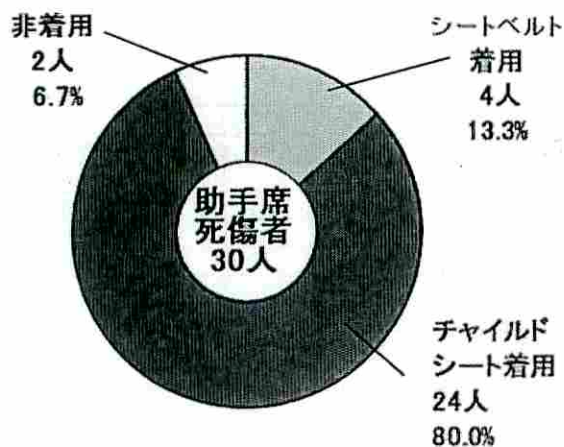
（単位：人）

助手席死傷者 着用の有無等		死傷者数	内死亡	内重傷
着用	シートベルト	4		
	チャイルドシート	24		
	計	28	0	0
非着用	効果あり	2		
	効果なし			
	計	2	0	0
装備なし等				
合計		30	0	0

【後部座席】

（単位：人）

後部座席死傷者 着用の有無等		死傷者数	内死亡	内重傷
着用	シートベルト	3		
	チャイルドシート	41		
	計	44	0	0
非着用	効果あり	8		1
	効果なし	8		1
	計	16	0	2
装備なし等		4		
合計		64	0	2



非着用のうち	
効果あり	2人
効果なし	0人

助手席乗車中のうち	
死亡	0人
重傷	0人

非着用のうち	
効果あり	8人
効果なし	8人

後部座席乗車中のうち	
死亡	0人
重傷	2人

7 青年運転者の事故

(1) 概 況

青年運転者（25歳未満の運転者）が第1当事者となった事故は、

発生件数 1,446 件（前年比 -271 件 15.8%減）

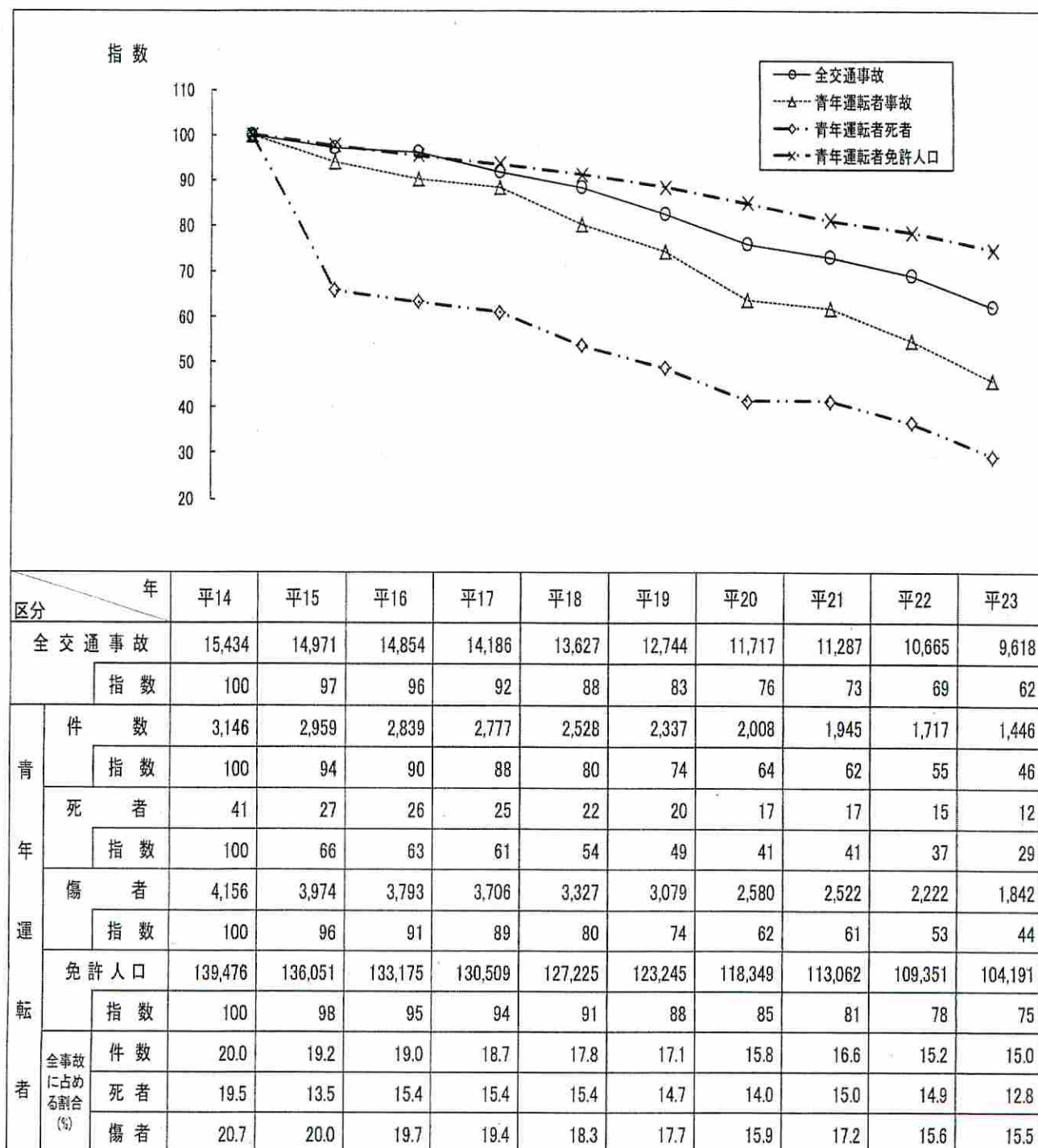
死者数 12 人（前年比 -3 人 20.0%減）

傷者数 1,842 人（前年比 -380 人 17.1%減）

で、発生件数、死者数、傷者数とも減少した。

全事故に占める割合は、件数が 15.0 パーセント、死者数 12.8 パーセント、傷者数 15.5 パーセントとなっている。

（単位：件・人・％）



(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が 667 件で最も多く、青年運転者の 46.1 パーセントを占めている。

違反別では、前方不注意が 489 件で最も多く 33.8 パーセントを占めている。

悪質違反による事故は 158 件で青年運転者の 10.9 パーセントを占め、うち信号無視が 63 件と最も多く、次いで一時不停止の 50 件、歩行者妨害等の 26 件の順となっている。(単位：件)

違反	車種	自動車								二輪車				合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	特貨	殊	小	二	軽	二	
悪質違反	信号無視		26	28	1	3	2			1			1	63
	最高速度		1	1							1			3
	通区・追越		8	6						1				15
	歩行者妨害等		11	13			2							26
	一時不停止		23	20	1	1	3			1			1	50
	酒酔い運転						1							1
計		0	69	68	2	4	8	0		3	1	1	2	158
横断禁止等														0
右折違反				2										2
左折違反			2	1										3
優先通行妨害等			14	24		2	2						1	43
交差点安全進行			49	35		2	2						5	93
徐行違反			4	4		2								10
過労運転														0
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		75	58		5	5			1	1			145
	前方不注意		206	246	4	10	21				1		1	489
	動静不注意	1	120	109	2	8	7			1				248
	安全不確認		104	82	2	8	3					1	3	203
	安全速度		16	13	1	1	2			1		1		35
	その他		5	2			2							9
計		1	526	510	9	32	40	0		3	2	2	4	1,129
その他			3	4	1									8
合計		1	667	648	12	42	52	0		6	3	3	12	1,446

(3) 時間別・道路別

時間別では、18～20 時が 234 件と最も多く、次いで 16～18 時の 218 件となっている。

道路別では、市町村道が 522 件と最も多く、次いで国道の 521 件となっており、市町村道と国道を合わせると、青年運転者事故の 72.1 パーセントを占めている。(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
国道	4号	2	1	8	24	17	12	11	18	26	25	21	8	173
	6号	2			16	14	8	3	7	11	17	6	3	87
	13号				3	2	3		1	3	12	2		26
	49号	1		1	11	11	5	9	13	15	14	7	3	90
	三桁	2		3	27	19	16	11	8	20	24	7	8	145
	計	7	1	12	81	63	44	34	47	75	92	43	22	521
県道		7	3	4	54	31	32	24	26	59	53	25	16	334
市町村道		4	3	6	76	70	51	36	63	68	81	44	20	522
高速道					1		2	2		4	1		2	12
その他		3	1			4	4	8	5	12	7	11	2	57
合計		21	8	22	212	168	133	104	141	218	234	123	62	1,446

(4) 事故類型別

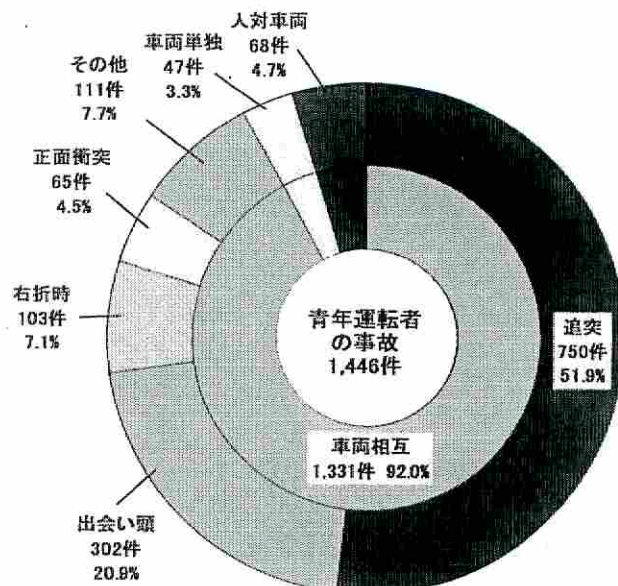
車両相互が1,331件で青年運転者事故の92.0パーセントを占めている。

特に、

追 突： 750件 (51.9%)

出会い頭： 302件 (20.9%)

が多く、両事故類型を合わせると1,052件で車両相互の72.8パーセントを占めている。

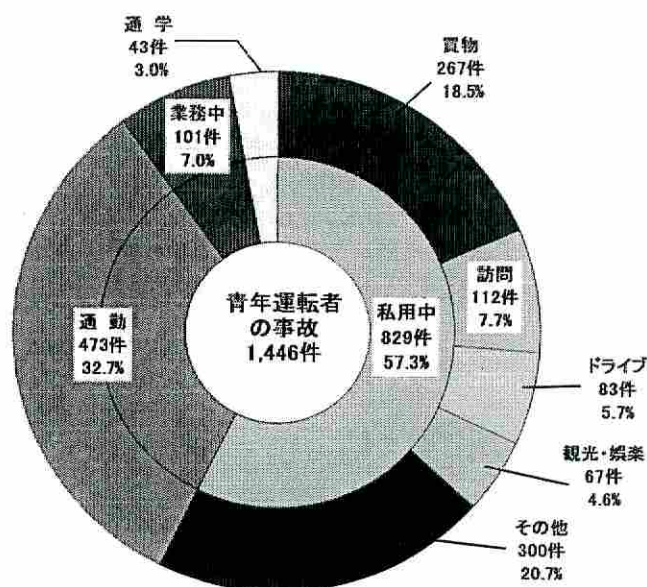


(5) 通行目的別

私用中が829件で青年運転者事故の57.3パーセントを占めている。

特に、買物、訪問、ドライブの事故が多くなっており、併せると462件で私用中事故の55.7パーセントを占めている。

また、通勤時の事故も473件発生しており、青年運転者事故の32.7パーセントを占めている。



(6) 車種別・速度別 (事故直前速度)

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が1,299件で最も多く、青年運転者事故の89.8パーセントを占めている。

車種別でみると、普通乗用車と軽乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。

(単位：件)

車種 速度	自 動 車									二 輪 車				合 計													
	大	乗	中	乗	普	乗	軽	乗	大	貨	中	貨	普		貨	軽	貨	特	殊	小	二	軽	二	原	二	原	付
停 止 中					2		1					1															4
50 k m /h 以下				1	594		590		1		7	36		50						3		2		3		12	1,299
60 k m /h 以下					41		47				2	4		2						1							97
70 k m /h 以下					19		7					2								1		1					30
80 k m /h 以下					6		1				1									1							9
90 k m /h 以下					1																						1
100 k m /h 以下					3		2																				5
101 k m /h 以上					1																						1
調 査 不 能																											0
合 計		0		1	667		648		1		11	42		52		0				6		3		3		12	1,446

(7) 人的原因別

発見の遅れが 962 件と多く、青年運転者による事故の 66.5 パーセントを占めている。

中でも外在的要因（脇見等）が 397 件で、発見の遅れ全体の 41.3 パーセントを占めている。

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
合 計	件数	死者	1,446
	傷者	12	
	1,842		
発見の遅れ 計	件数	962	
	傷者	8	
	1,225		
前方不注意 計	件数	572	
	傷者	6	
	753		
内在的(漫然等) 計	件数	175	
	傷者	5	
	238		
居眠り運転	件数	9	
	傷者	15	
ラジオ・ステレオを聴いていた	件数	1	
	傷者	1	
雑誌や携帯電話等で話していた	件数	6	
	傷者	11	
その他、考え事等の漫然運転	件数	159	
	傷者	5	
	211		
外在的(脇見等) 計	件数	397	
	傷者	1	
	515		
物を落とした、物を取ろうとした	件数	80	
	傷者	109	
同乗者、同乗の動物等に脇見	件数	20	
	傷者	23	
カセットテープ、携帯電話等を操作していた	件数	28	
	傷者	33	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	件数	12	
	傷者	18	
雑誌、地図帳等を見ていた	件数	7	
	傷者	9	
道、案内標識等を探して脇見	件数	15	
	傷者	17	
風景、地物等に脇見	件数	86	
	傷者	116	
他の車、歩行者に脇見	件数	61	
	傷者	78	
バックミラーやドアミラーを見ていた	件数	10	
	傷者	11	
その他脇見	件数	78	
	傷者	101	
安全不確認 計	件数	390	
	傷者	2	
	472		
安全確認をしなかった	件数	175	
	傷者	1	
	208		
安全確認が不十分だった	件数	215	
	傷者	1	
	264		

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
判断の誤り等 計	件数	331	
	死者	4	
	417		
動静不注意 計	件数	268	
	死者	3	
	333		
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	件数	10	
	死者	10	
他の危険を避けようとして注視を怠った	件数	3	
	死者	3	
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	件数	255	
	死者	3	
	320		
予測不適 計	件数	25	
	死者	1	
	31		
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	件数	13	
	死者	19	
相手がルールを守ると思った	件数	2	
	死者	2	
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	件数	4	
	死者	1	
	4		
他の事故(危険)を避けようと思った	件数		
	死者		
その他相手の行動予見等の判断を誤った	件数	6	
	死者	6	
交通環境 計	件数	38	
	死者	0	
	53		
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	件数	9	
	死者	15	
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	件数	20	
	死者	25	
交通規制に対する認識を誤った	件数	6	
	死者	8	
交通安全施設に対する認識を誤った	件数	1	
	死者	1	
障害物等に対する認識を誤った	件数		
	死者		
その他の交通環境に対する認識を誤った	件数	2	
	死者	4	
操作上の誤り(操作不適) 計	件数	153	
	死者	0	
	200		
ブレーキとアクセルの踏み違い	件数	17	
	死者	22	
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	件数	67	
	死者	78	
急ブレーキをかけた	件数	31	
	死者	46	
エンジン・ブレーキを使用しなかった	件数		
	死者		
ハンドルの操作不適	件数	21	
	死者	36	
ギヤの入れ違い	件数		
	死者		
ブレーキをかけながらハンドル操作	件数	6	
	死者	7	
オートスピードコントロール装置等の操作不適	件数		
	死者		
その他の操作不適	件数	11	
	死者	11	
調査不能	件数		
	死者		

8 高齢者の事故（65歳以上）

（１）高齢運転者による事故

ア 概 況

高齢運転者（65歳以上の運転者）が第1当事者となった事故は、

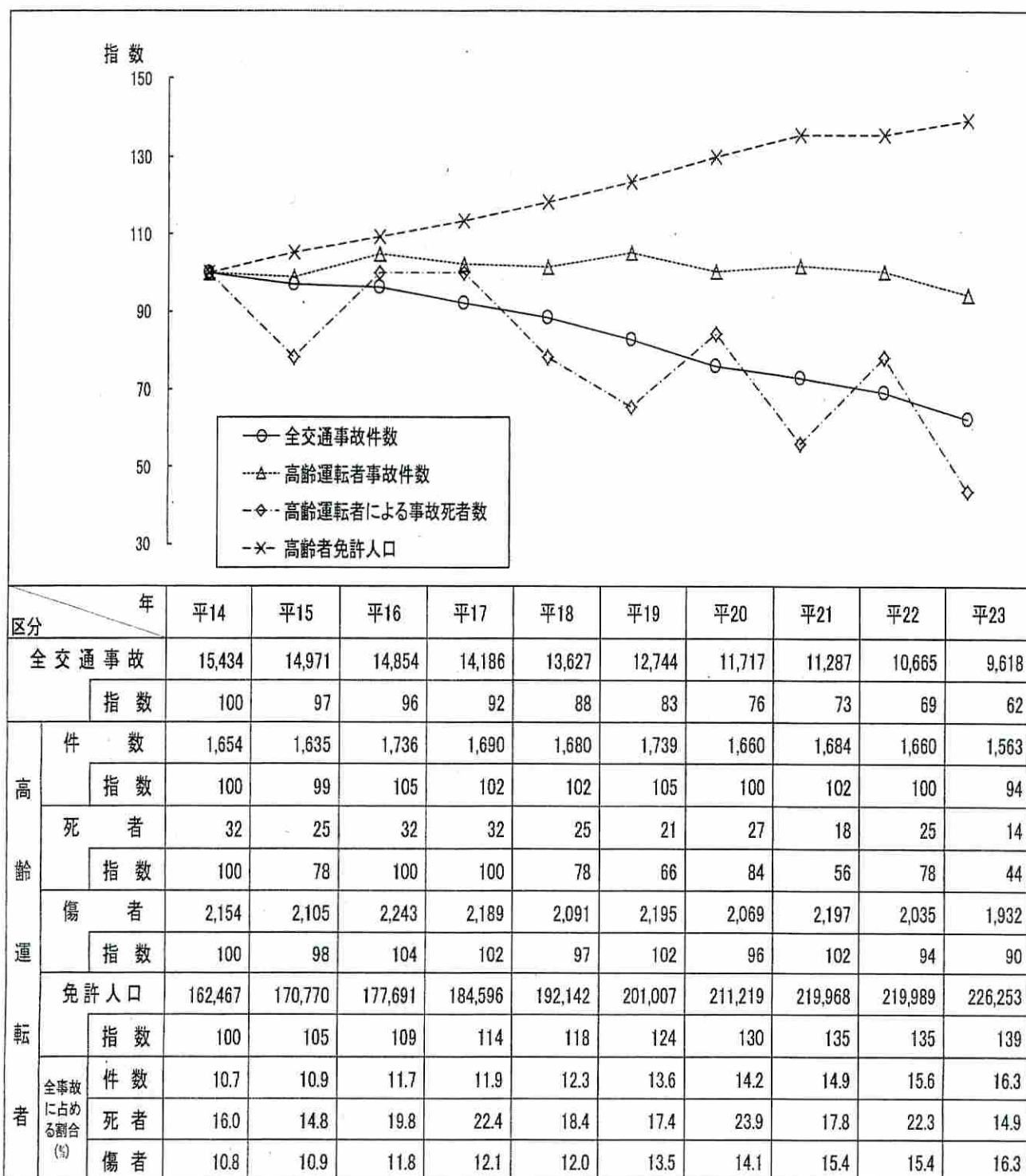
発生件数 1,563 件（前年比 -97 件 5.8%減）

死者数 14 人（前年比 -11 人 44.0%減）

傷者数 1,932 人（前年比 -103 人 5.1%減）

で、発生件数、死者数、傷者数とも減少した。

（単位：件・人・％）



イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が330件と最も多く、次いで8～10時の259件、14～16時の254件の順となっている。

8時～18時までの発生は1,321件と高齢運転者事故の84.5パーセントを占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、1,025件と高齢運転者事故の65.6パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計	昼間	夜間
国道	4号	2		1		12	14	12	9	10	11	2		73	53	20
	6号			1	4	8	24	8	15	16	4	1		81	65	16
	13号				2	6	2	2	2	3	3			20	17	3
	49号				2	13	10	5	12	12	3			57	53	4
	三桁	1			5	31	47	28	25	22	11	3	1	174	154	20
	計	3	0	2	13	70	97	55	63	63	32	6	1	405	342	63
県道	市町村道	2	2	3	45	117	126	98	103	106	38	10	4	654	577	77
	生活道路 計	3	3	5	71	175	204	149	163	161	69	18	4	1,025	888	137
高速道			1	1		3		4	2	3	1			15	11	4
その他		1			4	11	29	26	26	17	2	2		118	109	9
合計		7	4	8	88	259	330	234	254	244	104	26	5	1,563	1,350	213

ウ 車種別

車種別では普通乗用車が803件で、高齢運転者事故の51.4パーセントを占め、次いで軽乗用の336件、軽貨物の320件と続いている。

また、二輪車による事故は28件で高齢運転者事故の1.8パーセントを占め、全運転者事故における二輪車事故の占める割合である1.1パーセントを上回っている。

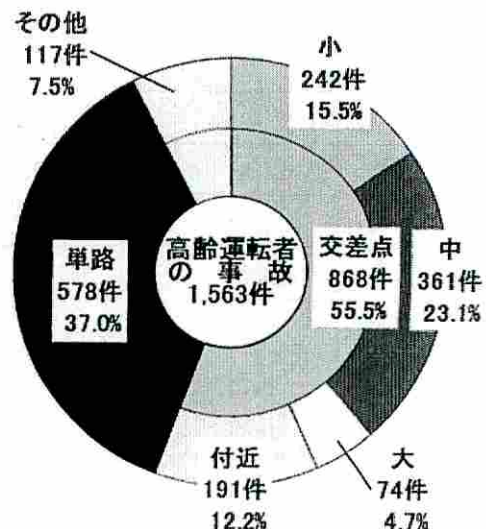
(単位：件)

年齢	車種	四輪車						特殊車	二輪車			合計
		普乗	普貨	軽乗	軽貨	中型	大型		自二	原二	原付	
65～69歳		274	31	126	74	6	7				7	525
70歳代		403	19	150	190	5		2		1	10	780
80歳以上		126	6	60	56						10	258
合計		803	56	336	320	11	7	2	0	1	27	1,563

エ 道路形状別

交差点での事故は868件で、高齢運転者事故の55.5パーセントを占めている。

特に「小」・「中」交差点での発生が多く、交差点事故全体の69.5パーセントを占めている。



オ 違反別

前方不注意による事故が 349 件と最も多く、高齢運転者事故の 22.3 パーセントを占め、次いで安全不確認 341 件の順となっている。

悪質違反は 262 件で高齢運転者事故の 16.8 パーセントを占め、うち一時不停止が 118 件と最も多く、次いで信号無視 80 件の順となっている。

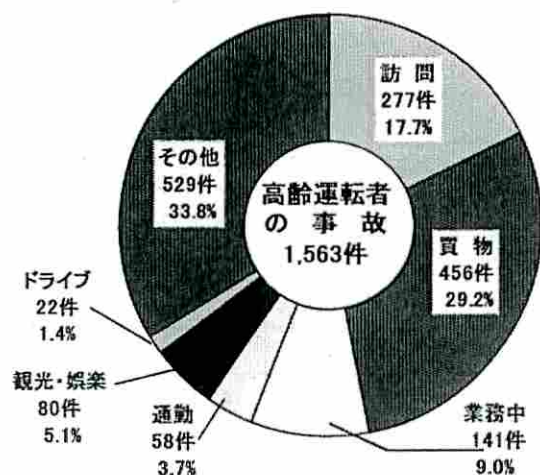
高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は 16.8 パーセントとなっており、全交通事故の占める悪質違反の割合 13.5 パーセントと比較すると 3.3 ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が非常に高い。

(単位：件・%)

違反 区分	悪 質 違 反						計	横断禁止等	右折	左折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安 全 運 転 義 務 違 反						計	その他	合 計
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転								ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度	その他			
件 数	80	0	14	49	118	1	262	5	3	4	63	160	16	152	349	168	341	13	20	1,043	7	1,563
構成率(%)	5.1	0.0	0.9	3.1	7.5	0.1	16.8	0.3	0.2	0.3	4.0	10.2	1.0	9.7	22.3	10.7	21.8	0.8	1.3	66.7	0.4	100.0

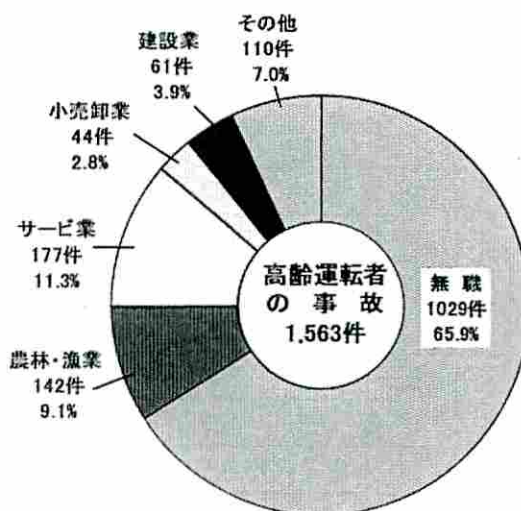
カ 通行目的別

買物が 456 件と多く、高齢運転者事故の 29.2 パーセントを占めている。



キ 職業別

無職が 1,029 件と最も多く、高齢運転者の 65.9 パーセントを占めている。



ク 免許人口に占める事故率 (年齢別交通事故発生状況)

(単位：人・件・%)

区分	年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合 計
免許人口		104,071	980,086	226,253	1,310,410
	構成率(%)	7.9	74.8	17.3	100
件 数		1,446	6,609	1,563	9,618
	構成率(%)	15.0	68.7	16.3	100
死 者		12	68	14	94
	構成率(%)	12.8	72.3	14.9	100
傷 者		1,842	8,081	1,932	11,855
	構成率(%)	15.5	68.2	16.3	100

(免許人口は平成 22 年 12 月末現在)

(2) 高齢者の死傷者

ア 概 況

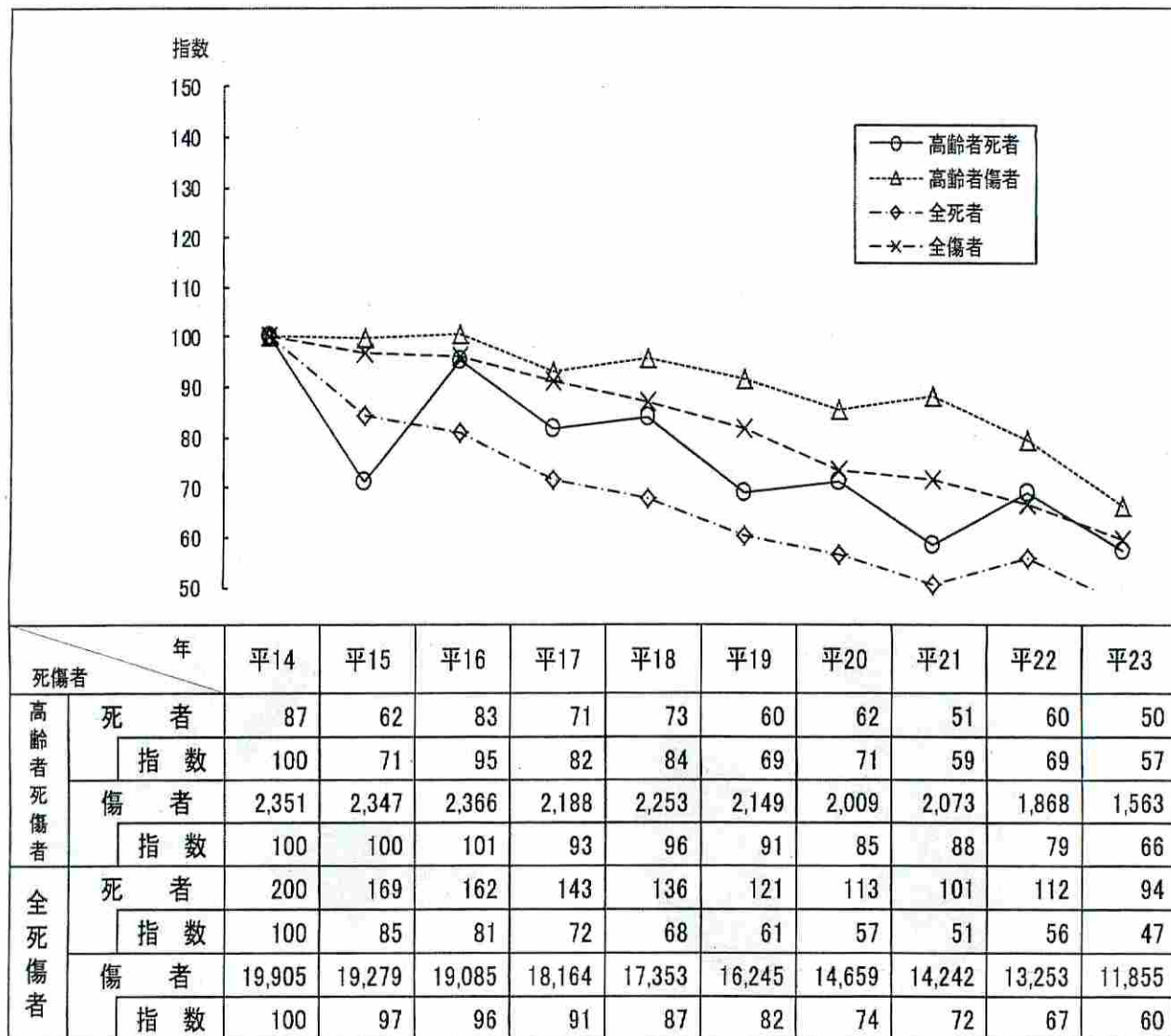
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 50 人（前年比 -10 人 16.7%減）

傷者数 1,563 人（前年比 -305 人 16.3%減）

で、死者数、傷者数とも減少した。

（単位：人）



イ 道路別

生活道路での死傷者が多く、死者は31名で高齢者死者の62.0パーセント、傷者は1,019人で高齢者傷者の65.2パーセントを占めている。

（単位：人・%）

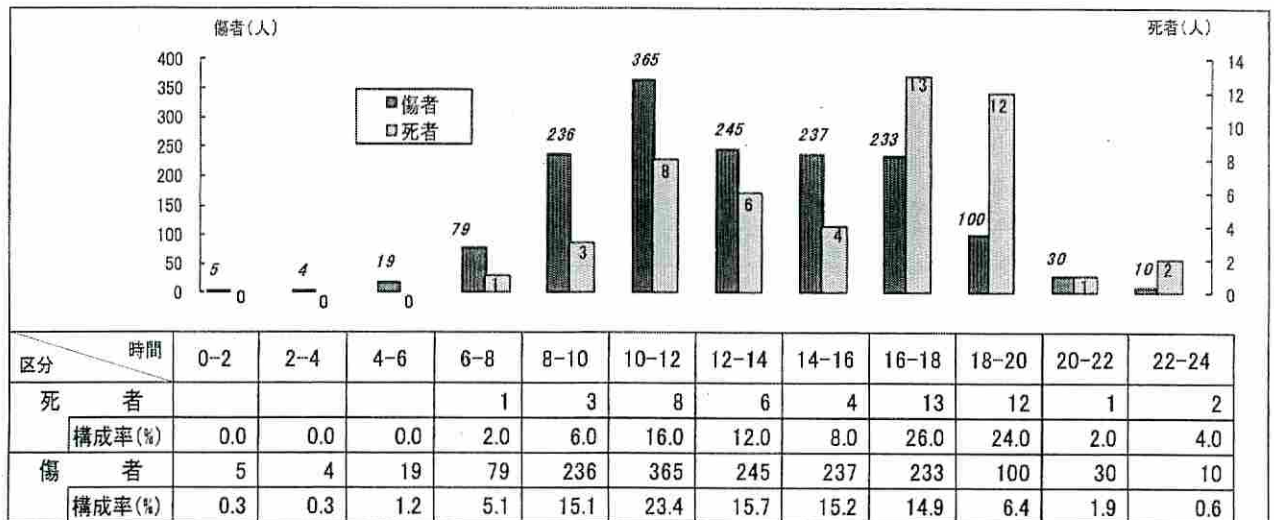
区分	道路	国 道					計	生 活 道 路			計	高 速	そ の 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁		県 道	市 町 村 道					
死 者		4	1		2	11	18	17	14	31	1			50
	構成率(%)	8.0	99.0	0.0	4.0	22.0	36.0	34.0	28.0	62.0	2.0	0.0		100.0
傷 者		80	70	16	49	201	416	398	621	1,019	26	102		1,563
	構成率(%)	5.1	4.5	1.0	3.1	12.9	26.6	25.5	39.7	65.2	1.7	6.5		100.0

ウ 時間別

死者は16～18時の13人が最も多く、高齢者死者の26.0パーセントを占め、次いで18～20時の12人、10～12時の8人の順となっている。

傷者は10～12時の365人が最も多く、高齢者傷者の23.4パーセントを占め、次いで12～14時の245人の順となっている。

(単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者が最も多く、27人と高齢死者の54.0パーセントを占め、次いで自転車の9人、四輪同乗の8人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで四輪同乗の順となっている。

(単位：人)

状態	年 65 ～ 69 歳		70 歳 代		80 歳 以上		合 計	
	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
歩 行 者	1	52	10	114	16	97	27	263
自 転 車	2	57	7	135		51	9	243
原 付		18		38	3	27	3	83
自 二		2		8		2	0	12
四 輪 運 転		257	3	298		54	3	609
四 輪 同 乗	3	88	3	177	2	85	8	350
そ の 他				1		2	0	3
合 計	6	474	23	771	21	318	50	1,563

オ 違反別

(7) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは20人で74.1パーセントを占め、特に横断に関する違反が11人と最も多い。

傷者のうち何らかの違反があったのは68人で25.9パーセントを占め、死者と同じく横断に関する違反が多い。

(単位：人)

違反 区分	違 反 あ り								違 反 な し	合 計	
	信号 無視	左 側 通 行	横 断				路 肩・ 徘徊	そ の 他			
			横 歩 道 外 断	斜 め	駐 車 停 車 両	走 行 車 両 断					横 止 断 場 禁 所
死 者	1	2	3	2	1	5		1	5	7	27
傷 者	9	4	28	3	6	8		4	6	195	263

(イ) 自転車

死者の違反については、交差点安全進行義務違反の3件、次いで安全不確認の2件の順となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは117人で48.1パーセントを占め、うち安全不確認が53人と最も多い。

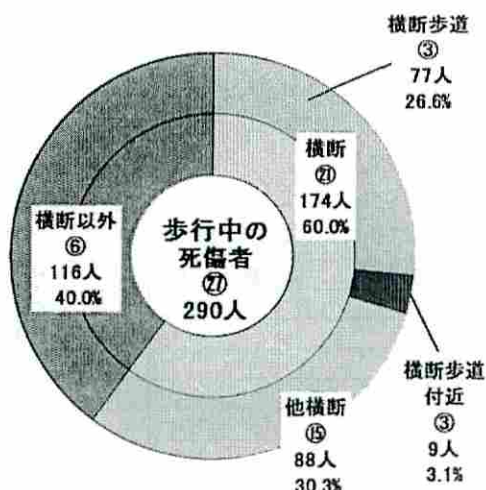
(単位:人)

違反 区分	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	右側通行	横断等禁止	優先通行害	交差点安全進行	一時不停止	酒酔い	安全不確認	その他		
死者	1			1	3			2		2	9
傷者	8	6			35	4		53	11	126	243

カ 事故類型別

(ア) 歩行者

横断中が174人と多く、歩行中死傷者の60.0パーセントを占めている。

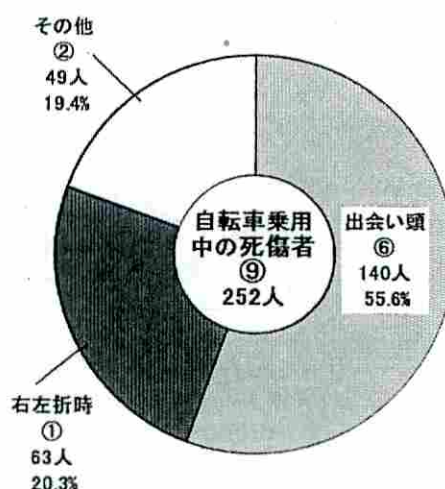


*1 ○は死者で内数

*2 人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

(イ) 自転車

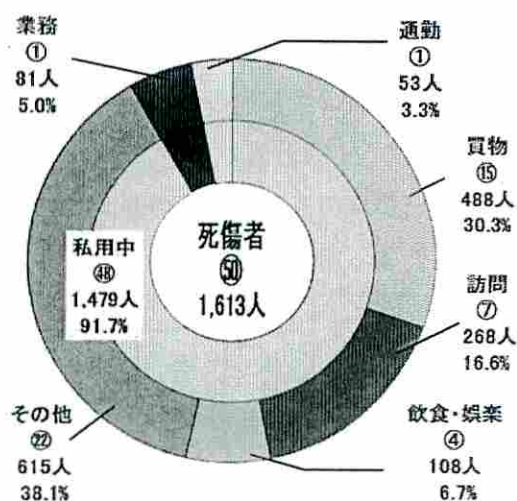
出会い頭事故が140人と多く、自転車事故死傷者の55.6パーセントを占めている。



* ○は死者で内数

キ 通行目的別

買物が488人と最も多く、高齢者死傷者全体の30.3パーセントを占め、次いで訪問、飲食・娯楽と続いている。



*1 ○は死者で内数

*2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く

9 初心運転者の事故

(1) 概 況

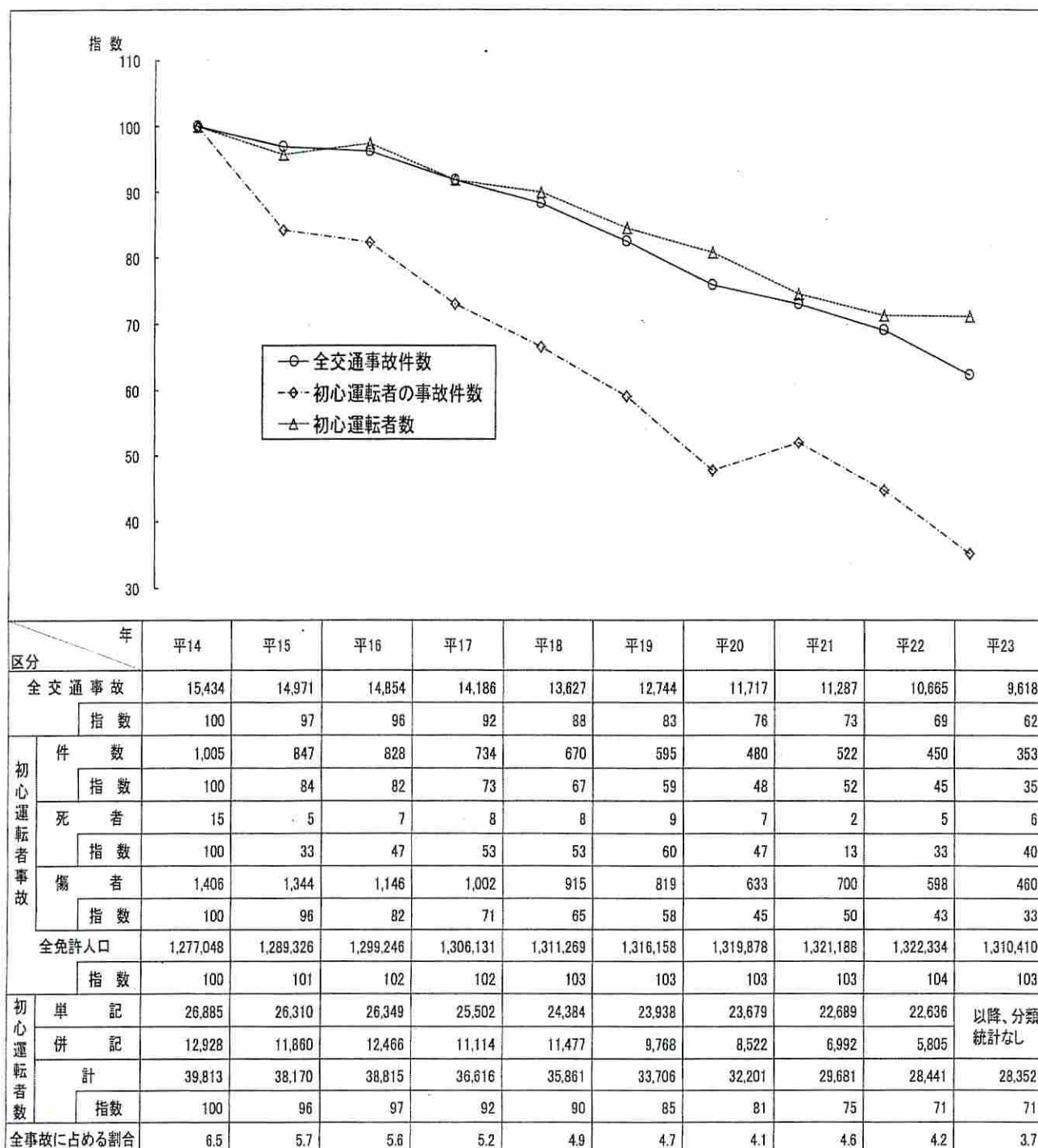
初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件	353 件	(前年比	-97 件	21.6%減)
死者数	6 人	(前年比	+1 人	20.0%増)
傷者数	460 人	(前年比	-138 人	23.1%減)

で、発生件数、傷者数とも減少したが、死者数は増加した。

過去 10 年間の推移をみると、総括的には、初心運転者数は減少し、全事故に占める初心運転者の事故割合も減少している。

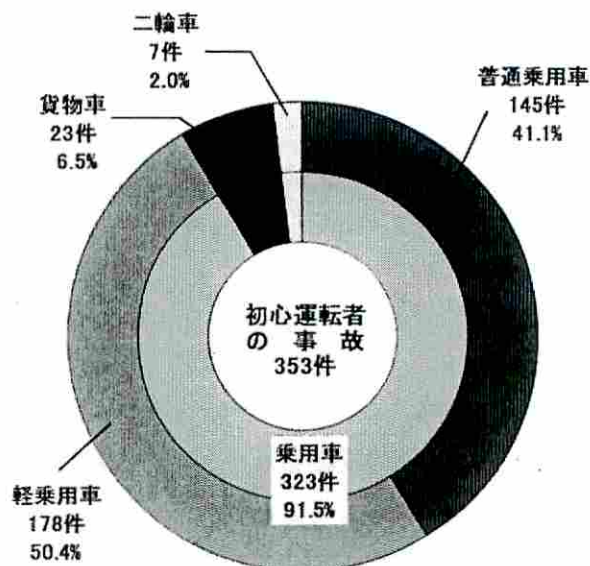
(単位：件・人・%)



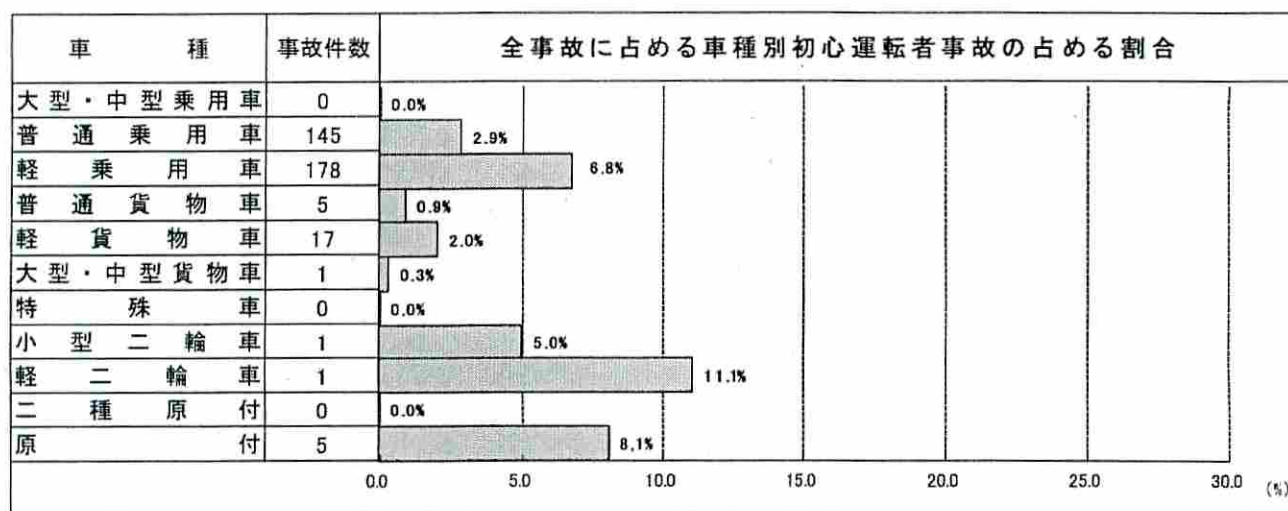
(2) 車種別

乗用車が323件で初心運転者事故の91.5パーセントを占め、特に軽乗用の占める割合が50.4パーセントと高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、軽二輪車が11.1パーセント、原付バイクが8.1パーセントと高くなっている。



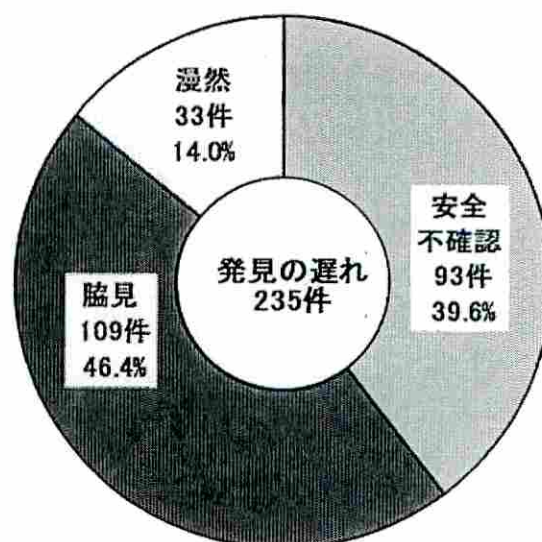
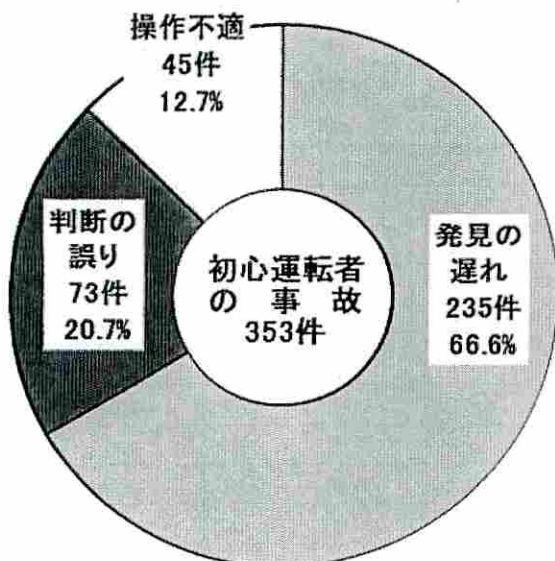
(単位：件・%)



(3) 人的原因

発見の遅れが235件で最も多く、初心運転者事故の66.6パーセントを占めている。

発見の遅れのうち、脇見が109件と最多で、安全不確認が93件で続いている。



(4) 違反別

前方不注意が 117 件で初心運転者事故の 33.1 パーセントを占め最も多く、次いで動静不注視が 41 件となっている。

悪質違反は 53 件で同事故の 15.0 パーセントを占め、うち信号無視が 21 件で最も多く、次いで一時不停止の 19 件となっている。

両違反を合わせると 40 件となり、悪質違反の 75.5 パーセントを占めている。

(単位：件・%)

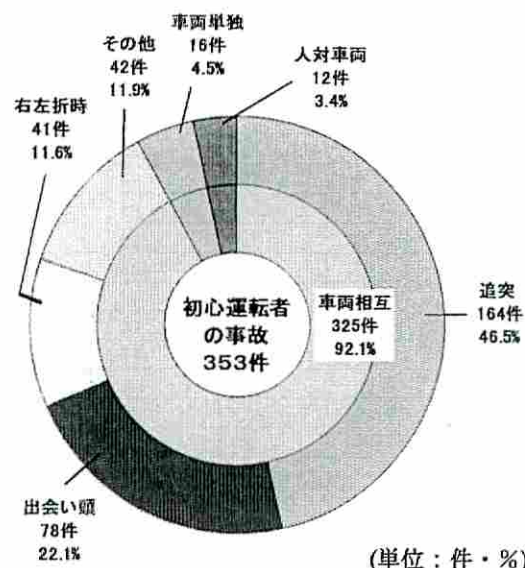
違反	区分	件 数	構成率(%)	違反	区分	件 数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	21	5.9	安全運転義務違反	徐行違反	3	0.8
	最高速度	3	0.8		過労運転		0.0
	通区・追越	4	1.1		ハンドル操作	7	2.0
	歩行者妨害等	5	1.4		ブレーキ操作	36	10.2
	一時不停止	19	5.4		前方不注意	117	33.1
	酒酔い運転	1	0.3		動静不注視	41	11.6
計		53	15.0		安全不確認	39	11.0
横断禁止等			0.0		安全速度	10	2.8
車間距離不保持		1	0.3		予測不適	2	0.6
進路変更禁止			0.0		その他	1	0.3
右・左折違反		1	0.3	計		253	71.7
優先通行妨害等		14	4.0	その他		4	1.1
交差点安全進行		24	6.8	合計		353	100.0

(5) 事故類型別

車両相互の事故が 325 件で初心運転者事故の 92.1 パーセントを占めている。その中でも追突が 164 件 (46.5%) と多く、次いで出会い頭が 78 件 (22.1%) と続いており両事故で 68.6 パーセントを占めている。

(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、私用中が最も多く 226 件で初心運転者事故の 64.0 パーセントを占め、年齢別では、25 歳未満の事故が 93.2 パーセントとなっている。



通行目的	区分	件 数	構成率(%)	年齢別	区分	件 数	構成率(%)
業務	職業運転	2	0.6	年齢別	青年 16 ~ 19 歳	276	78.2
	業務目的	12	3.4		20 ~ 24 歳	53	15.0
通勤等	出勤	55	15.6		計	329	93.2
	退社	35	9.9		25 ~ 29 歳	10	2.8
	通学	23	6.5		30 歳代	8	2.3
私用	観光・娯楽	16	4.5		40 歳代	3	0.8
	ドライブ	30	8.5		50 歳代	2	0.6
	散歩		0.0		60 ~ 64 歳		0.0
	飲食	9	2.5		計	23	6.5
	買物	71	20.1		高齢者 65 ~ 69 歳	1	0.3
	訪問	28	7.9		70 歳代		0.0
	帰省その他	3	0.8		80 歳以上		0.0
調査不能			0.0		計	1	0.3
合計		353	100	合計		353	100.0
				(内数) 高校生		5	1.4

10 飲酒運転の事故

(1) 概 況

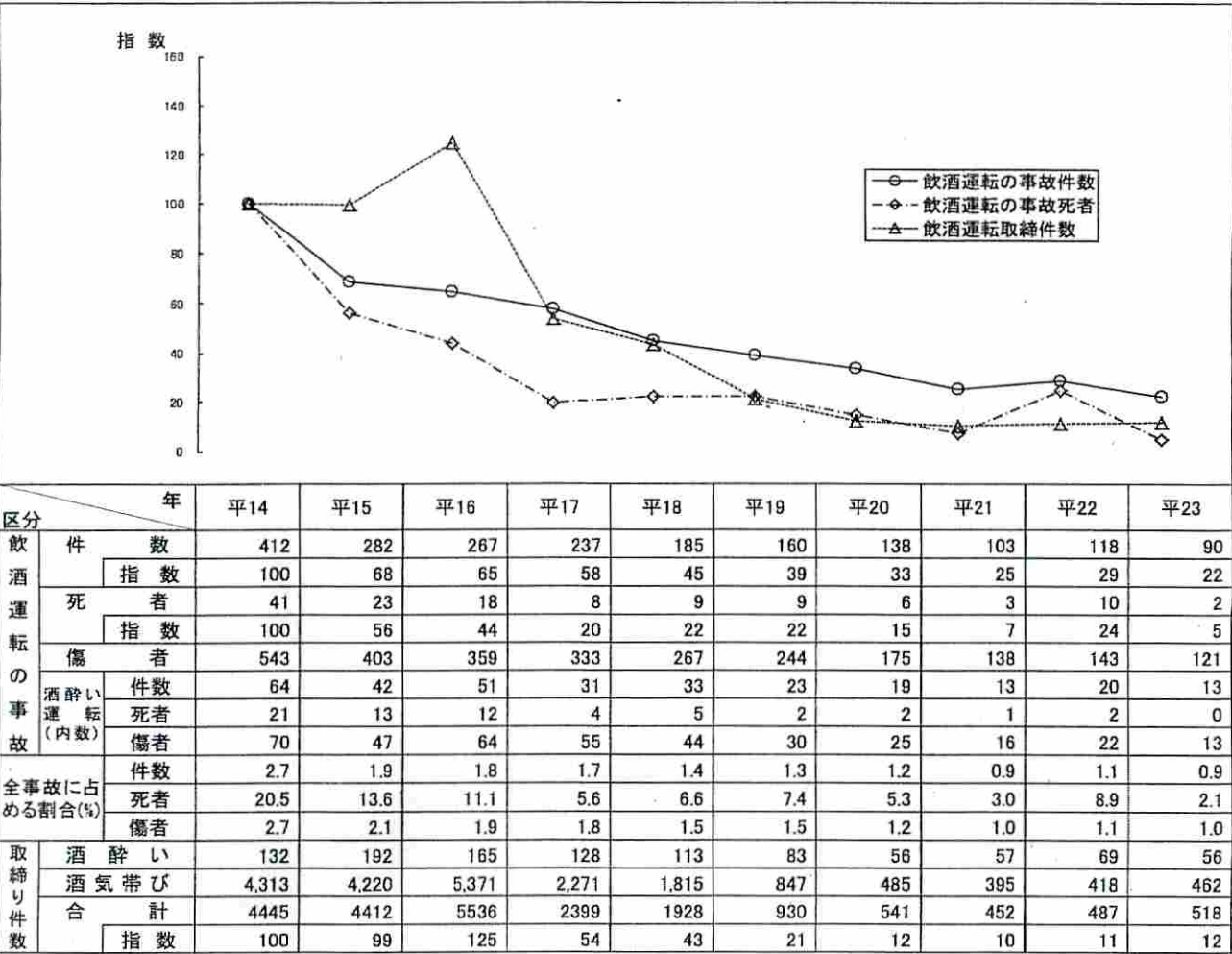
第1当事者が飲酒の状態で車両を運転して起こした事故は、

発生件数	90件（前年比	-28件	23.7%減）	うち酒酔い	13件	前年比-7件
死者数	2人（前年比	-8人	80.0%減）	うち酒酔い	0人	前年比-2人
傷者数	121人（前年比	-22人	15.4%減）	うち酒酔い	13人	前年比-9人

で、発生件数、死者数、傷者数とも減少した。

酒酔い運転についても発生件数、死者数、傷者数とも減少した。

(単位：件・人・%)



(2) 月別

飲酒運転が最も多いのは10月の13件、次いで12月の11件となっている。

うち、酒酔い運転は10月の3件が最も多い。

(単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計								
件数	①	9	7	5	②	5	②	7	①	7	③	13	7	①	11	⑬	90					
	全事故に占める割合	1.1	0.9	0.8	0.8	1.0	0.9	0.9	0.6	0.9	1.5	0.8	1.1		0.9							
死者					1		1										2					
傷者	①	11	8	9	②	4	②	12	①	7	13	①	9	②	10	③	16	8	①	14	⑬	121

(注)○は酒酔いで内数 (以下飲酒運転事故表中の○は同じ)

(3) 曜日・時間別

水曜日が17件と最も多く、次いで日曜日の16件の順となっている。

時間別では、18～20時の間が12件と最も多く、次いで0～2、22～24時の11件の順となっている。

(単位: 件・人)

時間	曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計	
									件数	構成率(%)
0～2		2	1	1	2		① 3	2	① 11	11.8
2～4		2	① 2	1	1				① 6	10.7
4～6		1		3	① 2			2	① 8	7.1
6～8						3		1	4	0.4
8～10				1	2	① 2	1		① 6	0.4
10～12			1				1		2	0.2
12～14				1	1		2	1	5	0.5
14～16	① 2	1	① 1	1	1		1		② 6	0.5
16～18	① 3	2			2	① 2	1		② 10	0.7
18～20	① 3				① 2		① 4	3	③ 12	1.0
20～22	2	① 2	2	2	1	1		1	① 9	2.0
22～24	1	1			3	1	1	① 4	① 11	4.8
合計	③ 16	② 10	① 10	② 17	② 9	② 14	① 14	③ 90	0.9	
構成率(%)	1.6	0.7	0.7	1.2	0.6	0.9	1.2	0.9		

(4) 発生地別

市部で74件発生し、飲酒運転の82.2パーセントを占めている。特にいわき市、福島市、郡山市が多く、三市の合計は53件で、市部の71.6パーセントを占めている。

(単位: 件・人)

発生地	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	③ 17		2		③ 13	3	3	① 3	5	1	⑤ 23	1	3	① 16	⑬ 90
死者											1			1	2
傷者	③ 20		3		③ 19	5	3	① 4	6	1	⑤ 33	3	5	① 19	⑬ 121

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、市町村道が35件で、飲酒運転の38.9パーセントを占めている。

死者は国道が2人、県道が7人、市町村道が4人となっている。

(単位: 件・人)

道路 区分	国 道						県 道				市 村 町 道	その他	合 計
	4号	6号	13号	49号	三 桁	計	主 要 道 地 方	一 般 県 道	計				
件 数	① 7	6		2	① 11	② 26	③ 13	④ 13	⑦ 26	④ 35	3	⑬ 90	
死 者						0			0	2		2	
傷 者	① 16	8		2	① 14	② 40	③ 19	④ 17	⑦ 36	④ 42	3	⑬ 121	

(6) 事故類型別

(単位: 件・人・%)

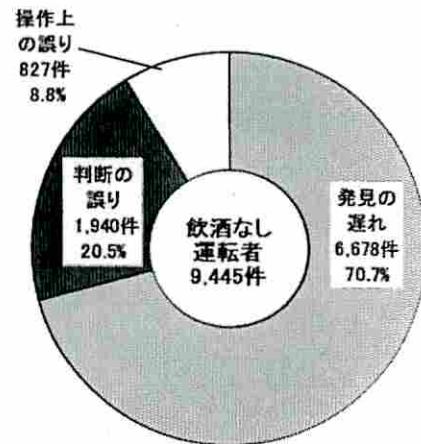
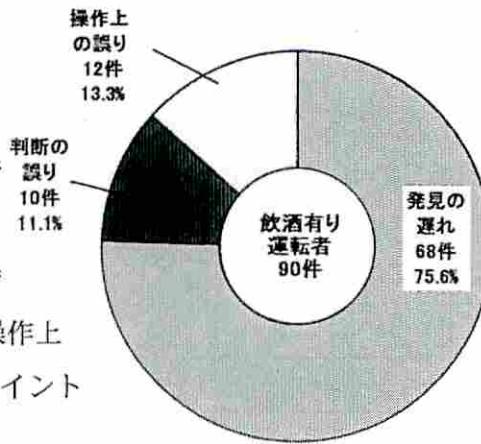
追突が最も多く、45件(50.0%)となっており、次いで工作物衝突と出会い頭が11件(12.2%)の順となっている。

全事故に占める割合をみると、工作物衝突が7.4パーセントと最も高い割合を占めている。

事故類型	件数	構成率(%)	死者	傷者	全事故に占める割合(%)
人対面・背面歩行中	2	2.2		3	1.6
横断中		0.0			0.0
その他	1	1.1	1		0.4
合計	3	3.3	1	3	0.4
正面衝突	② 7	7.8		② 11	2.3
追突	⑥ 45	50.0		⑥ 65	1.1
出会い頭	② 11	12.2		② 15	0.4
転回時		0.0			0.0
右・左折時	① 6	6.7		① 8	0.7
その他	4	4.4		4	0.5
合計	⑪ 73	81.1	0	⑪ 103	0.9
工作物衝突	② 11	12.2	1	② 12	7.4
路外逸脱	2	2.2		2	6.3
駐車車両衝突		0.0			0.0
転倒		0.0			0.0
その他	1	1.1		1	4.8
合計	② 14	15.6	1	② 15	5.5
列車		0.0			0.0
合計	⑬ 90	100.0	2	⑬ 121	0.9

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」で4.9ポイント、「操作上の誤り」で4.5ポイント高くなっている。



自転車、当事者不明を除く

* 第1当事者が歩行者、自転車、

不明、調査不能を除く

(8) 酒酔い運転、酒気帯び運転の運転動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「他に乗り物がなかった」が31件、次いで「深夜なので大丈夫と思った」が18件と多く、両項目で飲酒運転事故の54.4パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分	動機	他に乗り物がなかった	なにかの困る	翌日の出勤	少ないうち	飲まない	酔い	車を置いていく	の不安	運転代行があった	深夜なので大丈夫と思った	大丈夫と思った	交通量がなかった	その他不明	合計	飲酒運転のうち	
																酒酔い運転	酒気帯び運転
件数		31	9	7	6		3	18	7	9	90	13	65				
構成率(%)		34.4	10.0	7.8	6.7	0.0	3.3	20.0	7.8	10.0	100.0	14.4	72.2				
死者		1	1							2			1				
傷者		42	13	10	6		3	28	10	9	121	21	65				

酒理由は「酒好き晩酌等」が最も多く52件で57.8パーセントを占めている。

また、飲酒場所は「自宅」が38件で42.2パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

飲酒理由		忘 年 会	新 年 会	飲 送 迎 会 等	花 見 祭 典	冠 婚 葬 祭	等 の 行 事	各 種 会 合	他 家 訪 問	友 人 等 と	酒 好 き	晩 酌 等	そ の 他 不 明	合 計	件 数 の	構 成 率 (%)
飲酒場所																
自 宅	件数					2				2		31	3	38	42.2	
	死者										1		1			
知人・友人宅	傷者					2				5	39		3	49	11.1	
	件数							2	3	4		1	10			
取引・勤務先	死者											2	1	3	3.3	
	傷者								2	6	5		1	14		
料理店・キャバレー・バー・スナック	件数											2		3	16.7	
	死者											2	1	3		
その他の店	傷者													0	11.1	
	件数													0		
旅館・ホテル等の宿泊施設	死者											5		15	7.8	
	傷者										14	8		23		
ドライブイン・酒類販売店等	件数							2		3	1		1	10	11.1	
	死者									1				1		
自動販売機近	傷者							2		3		2	1	16	1.1	
	件数											1		1		
その他(不明)	死者											1		0	5.6	
	傷者												2	9		
合 計	件数											1		1	100.0	
	死者											1		0		
	傷者													2		
	件数													2		
	死者													0		
	傷者													2		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者													0		
	傷者													0		
	件数													0		
	死者															

件数の構成率	0.0	3.3	2.2	3.3	2.2	2.2	2.2	18.9	57.8	10.0	100.0
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	-------

1 1 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

(1) 概 況

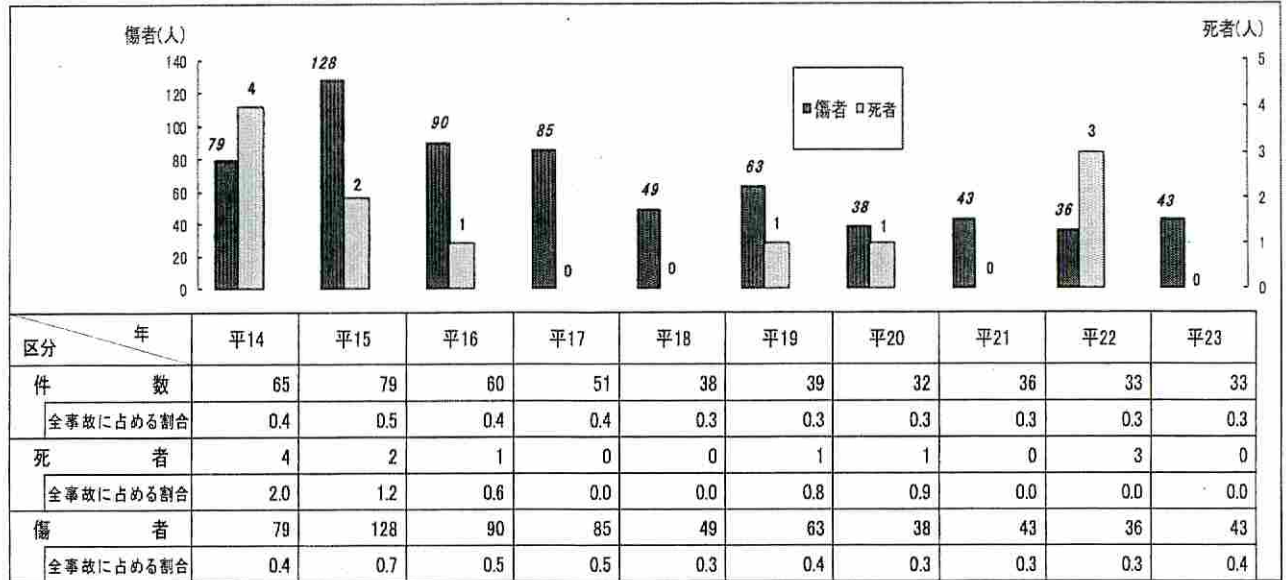
第1当事者が無免許運転であった事故は、

発生件数 33 件（前年比 ± 0 件 ± 0 ）

死者数 0 人（前年比 - 3 人 100.0%減）

傷者数 43 人（前年比 + 7 人 19.4%増）

で、発生件数は昨年と同数で、死者数は減少したが、傷者数は増加した。（単位：件・人・%）



(2) 月別

無免許運転が最も多いのは、4月、10月の5件、次いで7月の4件となっている。

（単位：件・人）

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件 数	2	2	2	5	3	3	4	0	3	5	1	3	33
死 者													0
傷 者	4	6	2	6	4	3	4	0	3	6	1	4	43

(3) 発生地別

無免許運転は市部での発生が多く、福島市、郡山市、いわき市の3市を合わせると22件で、無免許運転事故の66.7パーセントを占めている。

（単位：件・人）

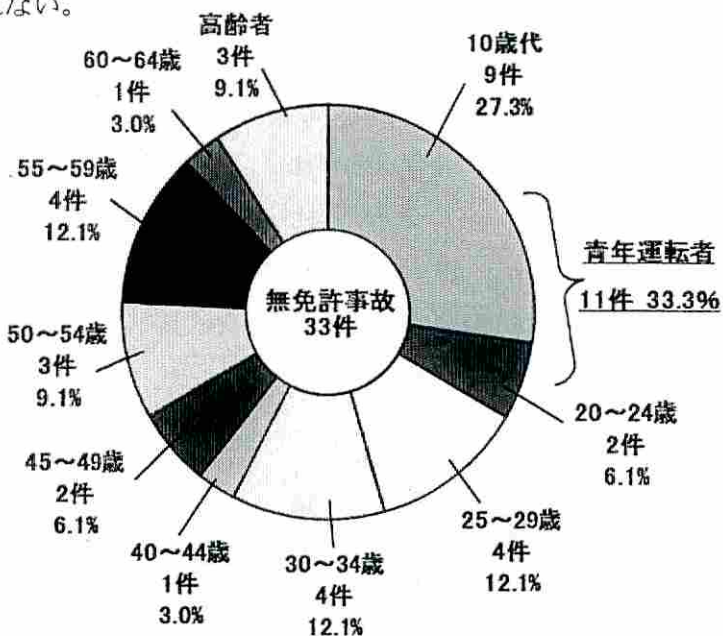
発生地	福 島 市	伊 達 市	二本松市	郡 山 市	本 宮 市	須 賀 川 市	白 河 市	田 村 市	会 津 若 松 市	喜 多 方 市	い わ き 市	南 相 馬 市	相 馬 市	各 町 村	合 計
件 数	4	1	2	9	0	3	1	1	1	0	9	1	0	1	33
死 者															0
傷 者	4	1	2	9	0	9	1	2	1	0	10	3	0	1	43

(4) 年齢別

青年運転者の事故が11件で33.3パーセントを占めており、うち10歳代が9件となっているが、その他の年代では大きな開きはみられない。

(単位：件)

年齢	区分	件数	年齢	区分	件数
10歳代	16歳未満	1	35～39歳		0
	16歳	1	40～44歳		1
	17歳	3	45～49歳		2
	18歳	0	50～54歳		3
	19歳	4	55～59歳		4
	計	9	60～64歳		1
20～24歳		2	高齢者		3
25～29歳		4	合計		33
30～34歳		4			

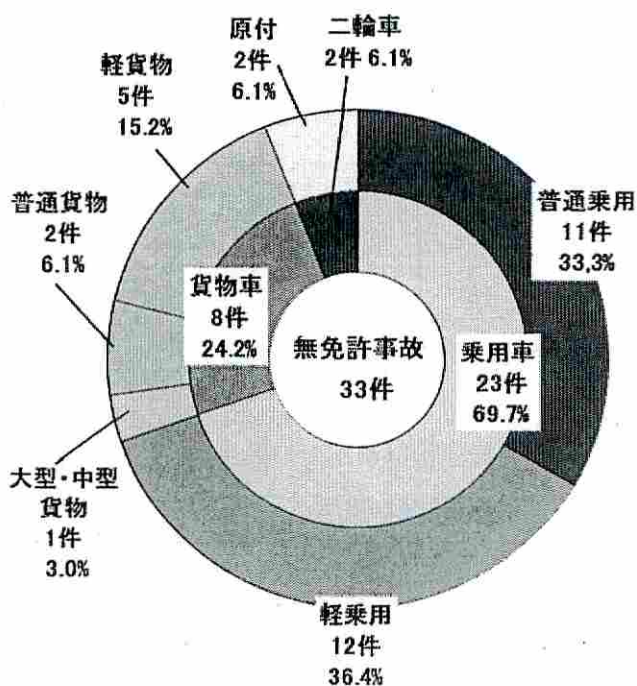


(5) 車種別

車種別では、軽乗用車の事故が12件、次いで普通乗用車の事故が11件の順となっており、両車種による事故の合計は23件となり、全体の69.7パーセントを占めている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
		構成率 (%)		無免許の割合	
乗用車	バス・マイクロバス	0	0.0	40	0.0
	普通	11	33.3	5,062	0.2
	軽(ミニカーを含む)	12	36.4	2,632	0.5
	計	23	69.7	7,734	0.3
貨物車	大型・中型	1	3.0	311	0.3
	普通	2	6.1	551	0.4
	軽	5	15.2	834	0.6
	計	8	24.2	1,696	0.5
特殊車(大型・小型)		0	0.0	5	0.0
二輪車	小型二輪	0	0.0	20	0.0
	軽二輪	0	0.0	9	0.0
	二種原付	0	0.0	11	0.0
	原付	2	6.1	62	3.2
	計	2	6.1	102	2.0
合計		33	100.0	9,537	0.3



(6) 職業別

建設業と無職がそれぞれ 10 件（各 30.3％）と最も多く、次いでサービス業が 9 件（27.3％）と続いている。

（単位：件・％）

職業 区分	職業 運転手	官 公 署	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	飲 食 業	サ ー ビ ス 業	農 林 漁 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
件数	0	0	10	1	0	0	9	0	0	10	3	33
構成率(%)	0.0	0.0	30.3	3.0	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	30.3	9.1	100

(7) 違反別・原因別

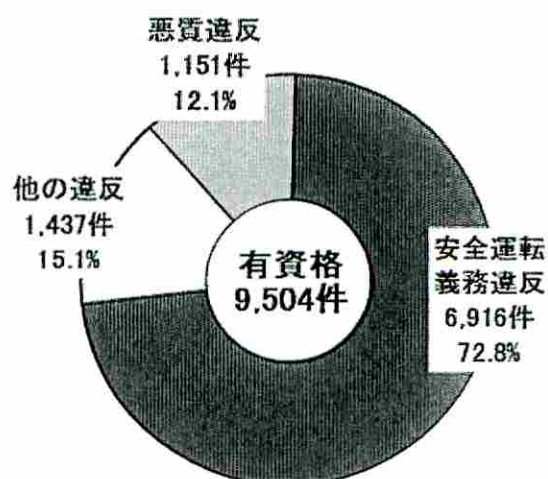
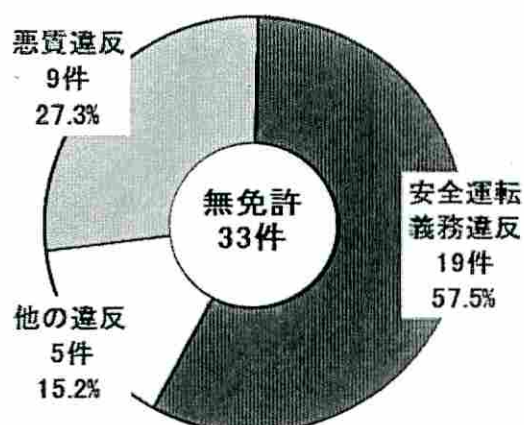
前方不注意が最も多く 10 件（30.3％）である。

悪質違反は 9 件（27.3％）であり、酒酔い運転が 2 件、一時不停止が 4 件、歩行者妨害等が 2 件などとなっている。

有資格者の悪質違反による事故（12.1％）と比較すると、無免許運転では 15.2 ポイント高くなっている。

（単位：件・％）

違反		件数		違反		件数	
		構成率(%)				構成率(%)	
悪 質 違 反	信 号 無 視	1	3.0	過 労 運 転		1	3.0
	最 高 速 度	0	0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	ハンドル・ブレーキ操作	1	3.0
	通 区 ・ 追 越	0	0.0		前 方 不 注 意	10	30.3
	歩 行 者 妨 害 等	2	6.1		動 静 不 注 視	1	3.0
	一 時 不 停 止	4	12.1		安 全 不 確 認	6	18.2
	酒 酔 い 運 転	2	6.1		安 全 速 度	1	3.0
	計	9	27.3		そ の 他	0	0.0
	車 間 距 離 不 保 持	0	0.0		計		19
優 先 通 行 妨 害 等		1	3.0	そ の 他		1	3.0
交 差 点 安 全 進 行		2	6.1	合 計		33	100.0
左 折 違 反		0	0.0	飲 酒 運 転（内 数）		4	12.1



* 自転車・歩行者・不明・無免許を除く

(8) 人的原因別

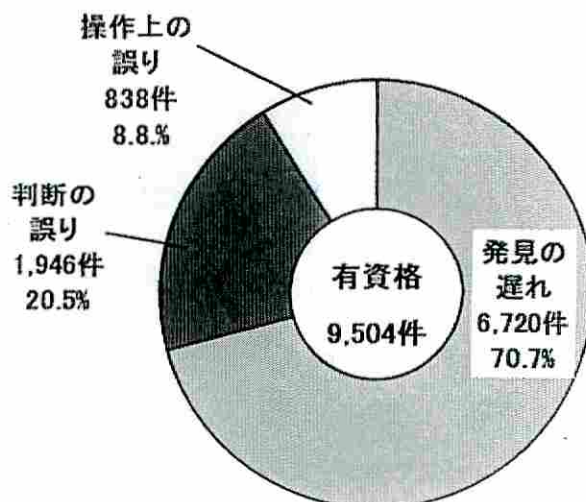
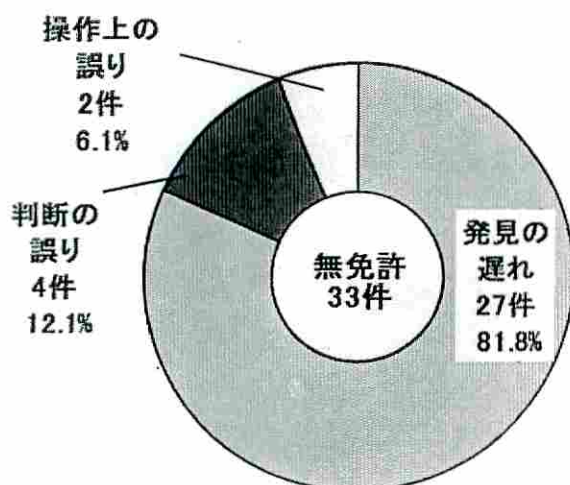
発見の遅れが 27 件で、無免許運転事故の 81.8 パーセントを占め最も多い。

なかでも安全不確認が 14 件と多く、発見の遅れ全体の 51.9 パーセントを占めている。

(単位：件)

人 的 原 因	件 数	人 的 原 因	件 数
合 計	33	予 測 不 適 計	1
発 見 の 遅 れ 計	27	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	1
前 方 不 注 意 計	13	相手がルールを守ろうと思った	
内 在 的 (漫 然 等) 計	7	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転	3	他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	
雑誌や携帯電話等で話していた	1	交 通 環 境 計	1
その他、考え事等の漫然運転	3	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	1
外 在 的 (脇 見 等) 計	6	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした	1	交通規制に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脇見		交通安全施設に対する認識を誤った	
カセットテープ、携帯電話等を操作していた	2	障害物等に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		操 作 上 の 誤 り (操 作 不 適) 計	2
道、案内標識等を探して脇見		ブレーキとアクセルの踏み違い	
風景、地物等に脇見	2	ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	
他の車、歩行者に脇見	1	急ブレーキをかけた	
バックミラーやドアミラーを見ていた		エンジン・ブレーキを使用しなかった	
その他脇見		ハンドルの操作不適	1
安 全 不 確 認 計	14	ギヤの入れ違い	
安全確認をしなかった	10	ブレーキをかけながらハンドル操作	
安全確認が不十分だった	4	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
判 断 の 誤 り 等 計	4	その他の操作不適	1
動 静 不 注 視 計	2	調 査 不 能	
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	1		
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	1		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では発見の遅れの構成率が 11.1 ポイント高くなっている。



* 有資格者でかつ人的原因の事故

1.2 二輪車の事故

(1) 二輪車による事故

ア 概 況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数 102件（前年比 -74件 42.0%減）

死者数 9人（前年比 +2人 28.6%増）

傷者数 105人（前年比 -84人 44.4%減）

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

車種別にみると、発生件数、死者数、傷者数とも原付が多く、二輪車事故総発生件数の60.8パーセントを占めている。

（単位：件・人・％）

区 分 車 種	本 年						増 減 数			増 減 率 (%)		
	件 数	構成率(%)	死 者	構成率(%)	傷 者	構成率(%)	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
小 型 二 輪	20	19.6	3	33.3	22	21.0	-13	2	-17	-39.4	200.0	-43.6
軽 二 輪	9	8.8	2	22.2	9	8.6	-11	1	-12	-55.0	100.0	-57.1
二 種 原 付	11	10.8	0	0.0	13	12.4	-1	0	-2	-8.3	-	-13.3
原 付	62	60.8	4	44.4	61	58.1	-49	-1	-53	-44.1	-20.0	-46.5
合 計	102	100.0	9	100.0	105	100.0	-74	2	-84	-42.0	28.6	-44.4

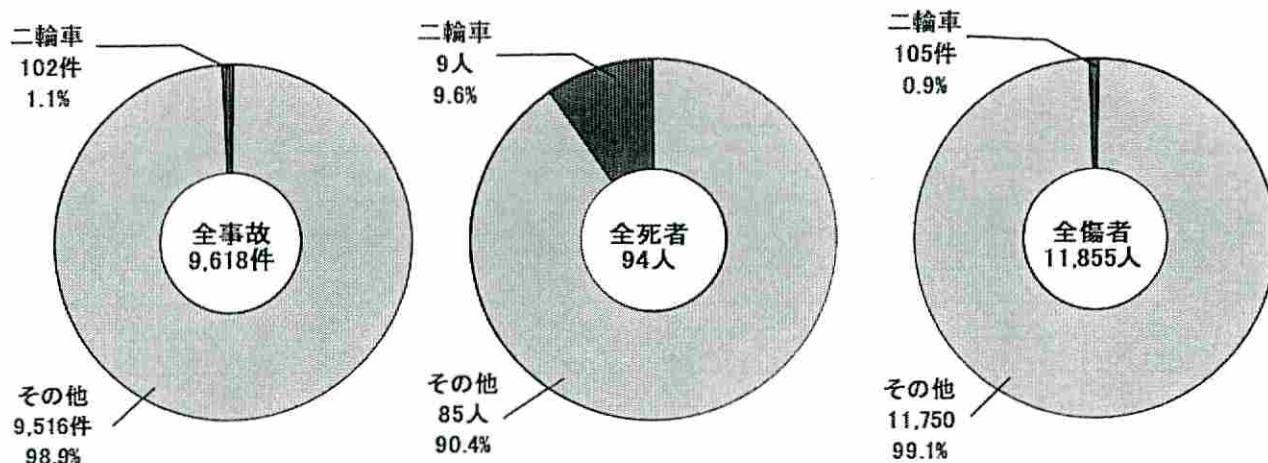
死亡事故率をみると軽二輪が高くなっている。

（単位：件・％）

区 分 車 種	普 通 乗 車						二 輪 車					合 計
	普 乗	軽 乗	大 貨 等	普 貨	軽 貨	四 輪 其 他	小 二 輪	型 輪	軽 二 輪	二 種 原 付	原 付	
車 種 別 事 故 件 数	5,062	2,632	311	551	834	45	20	9	11	62	102	9,537
死 亡 事 故 件 数	37	19	14	3	10	1	3	2	0	4	9	93
死 亡 事 故 率	0.7	0.7	4.5	0.5	1.2	2.2	15.0	22.2	0.0	6.5	8.8	1.0

$$(注) 死亡事故率 = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は1.1パーセントであるのに対し、死者の構成率は9.6パーセントと高くなっている。

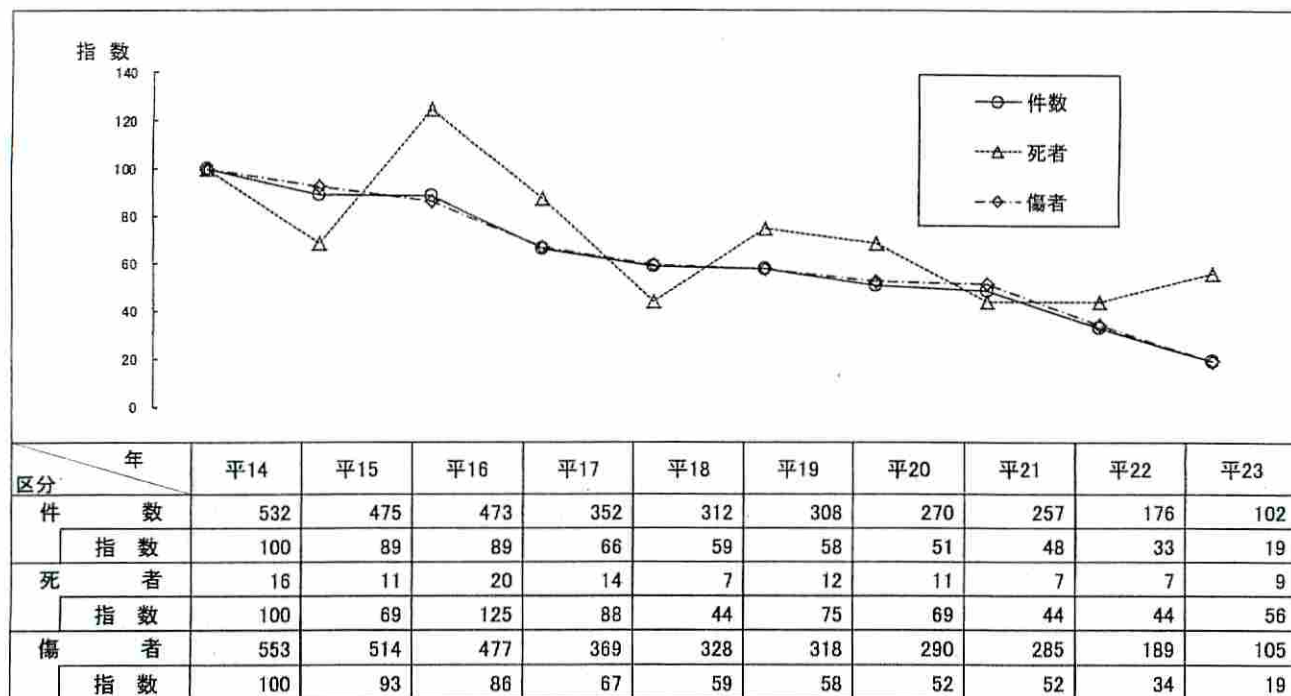


イ 年別推移

(7) 発生件数、死者数、傷者数

死者数は変動があるものの、発生件数、傷者数は全交通事故と同様に平成 14 年をピークに減少が続いている。

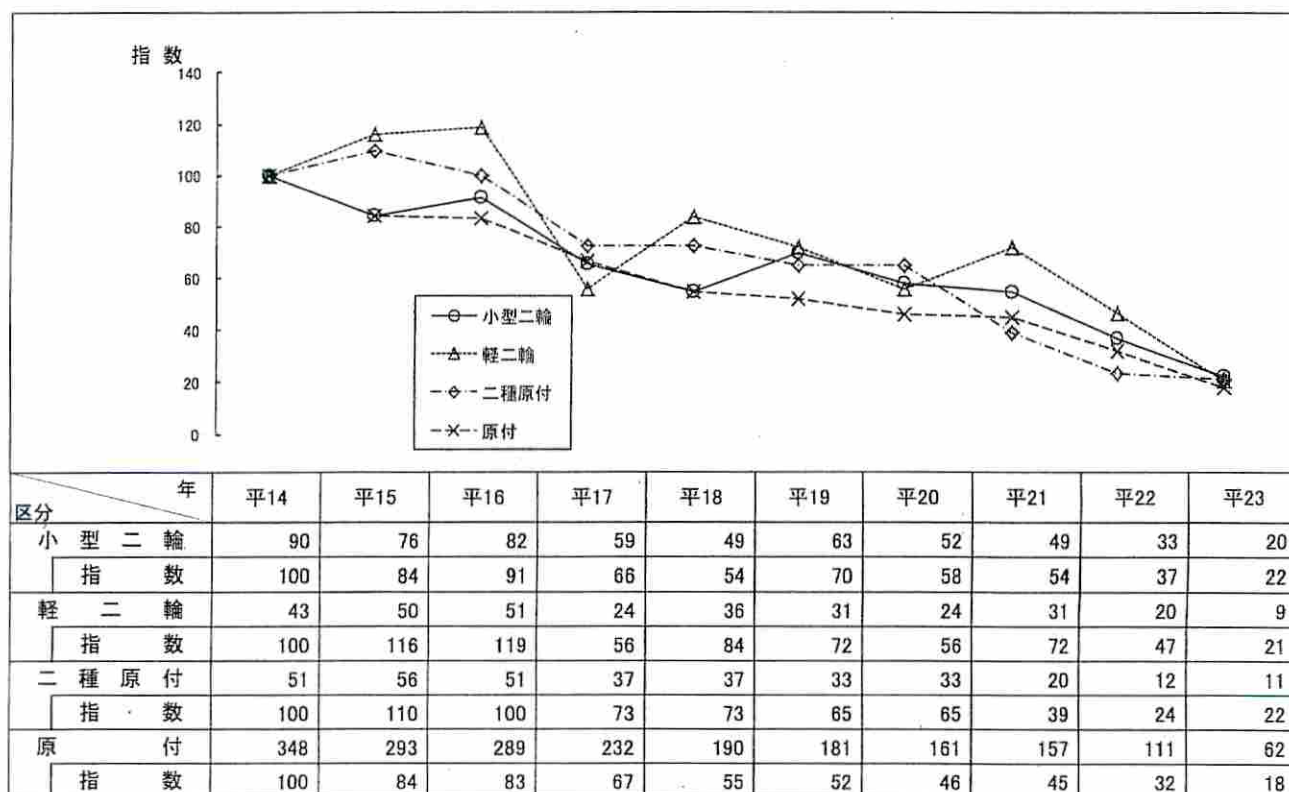
(単位：件・人)



(1) 車種別交通事故発生件数

事故件数の少ない小型二輪、軽二輪、二種原付にあっては増減があるものの、概ね減少傾向を示しており、事故件数の多い原付については平成 14 年をピークに漸減している。

(単位：件)



ウ 年齢別

二輪車の事故は、青年運転者が24件（23.5%）、高齢運転者が28件（27.5%）、30歳代が20件（19.6%）と多い。

また、年代別事故発生件数に対する二輪事故の占める割合をみると、高校生が20.0パーセントと高くなっている。

（単位：件・%）

区分	年齢					計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳									
全運転者の事故	1	5	378	1,062	1446	441	1,673	1,489	1,609	816	1,563		9,037
構成率(%)	0.0	0.1	4.2	11.8	16.0	4.9	18.5	16.5	17.8	9.0	17.3		100.0
二輪車事故	0	1	9	14	24	6	20	10	9	5	28		102
構成率(%)	0.0	1.0	8.8	13.7	23.5	5.9	19.6	9.8	8.8	4.9	27.5		100.0
全運転者事故に占める割合	0.0	20.0	2.4	1.3	1.7	1.4	1.2	0.7	0.6	0.6	1.8		1.1

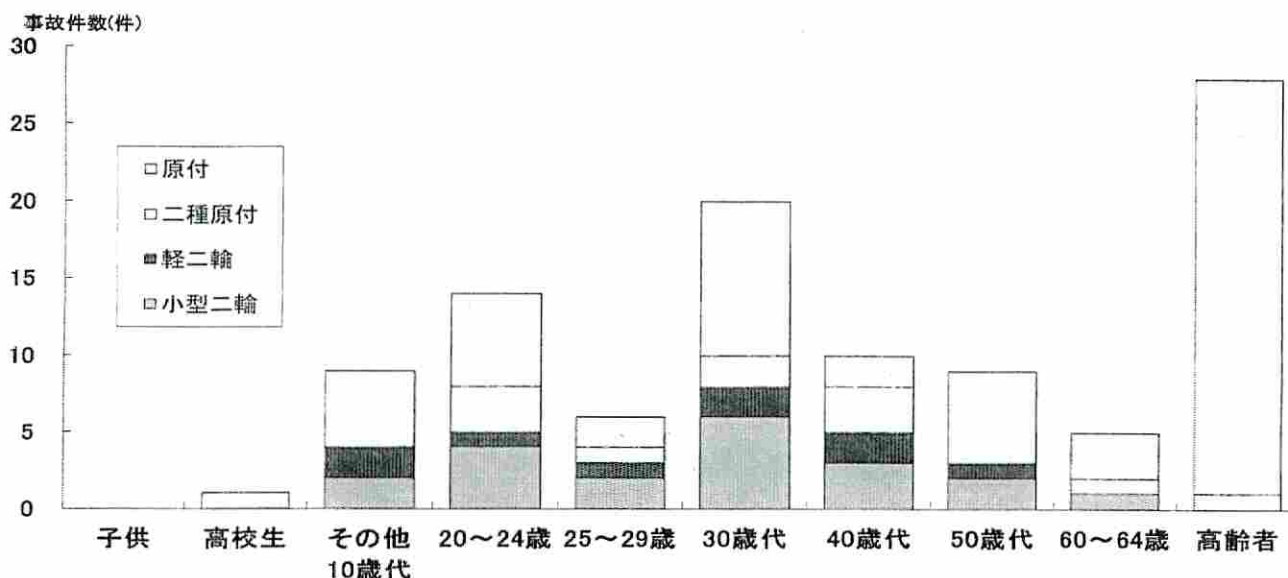
エ 年齢別・車種別

青年運転者による車種別構成率では、軽二輪が33.3パーセント、小型二輪が30.0パーセントであり、30歳代による車種別構成率では小型二輪が30.0パーセントを占めている。

これに対し高齢運転者は、原付が43.5パーセント、二種原付が9.1パーセントを占めている。

（単位：件・%）

区分	年齢					計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳									
小型二輪	0	0	2	4	6	2	6	3	2	1	0		20
構成率(%)	0.0	0.0	10.0	20.0	30.0	10.0	30.0	15.0	10.0	5.0	0.0		100
軽二輪	0	0	2	1	3	1	2	2	1	0	0		9
構成率(%)	0.0	0.0	22.2	11.1	33.3	11.1	22.2	22.2	11.1	0	0.0		100
二種原付	0	0	0	3	3	1	2	3	0	1	1		11
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	27.3	27.3	9.1	18.2	27.3	0.0	9.1	9.1		100
原付	0	1	5	6	12	2	10	2	6	3	27		62
構成率(%)	0.0	1.6	8.1	9.7	19.4	3.2	16.1	3.2	9.7	4.8	43.5		100



オ 車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、全二輪車種で10年以上の占める割合が高い。
 その他として、小型二輪では3～4年の占める割合が20.0パーセントと高くなっている。

(単位：件・%)

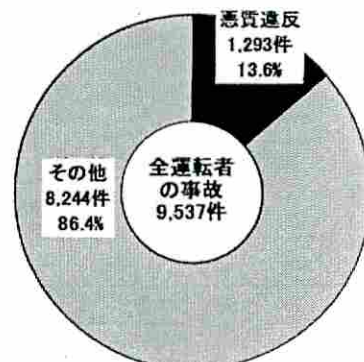
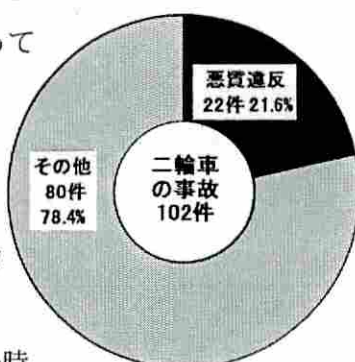
車 種 経験年数	小 型 二 輪		軽 二 輪		二 種 原 付		原 付		合 計	
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)
1 年 未 満	1	5.0	1	11.1		0.0	5	8.1	7	6.9
1 ～ 2 年	1	5.0		0.0		0.0	1	1.6	2	2.0
2 ～ 3 年	2	10.0		0.0	1	9.1	4	6.5	7	6.9
3 ～ 4 年	4	20.0	1	11.1	1	9.1	3	4.8	9	8.8
4 ～ 5 年	1	5.0	1	11.1	1	9.1	1	1.6	4	3.9
10 年 未 満	1	5.0	1	11.1		0.0	3	4.8	5	4.9
10 年 以 上	10	50.0	5	55.6	8	72.7	43	69.4	66	64.7
無 免 許		0.0		0.0		0.0	2	3.2	2	2.0
合 計	20	100.0	9	100.0	11	100.0	62	100.0	102	100.0

カ 車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は、21.6パーセントをとなっており、違反では信号無視、一時不停止の順に多い。

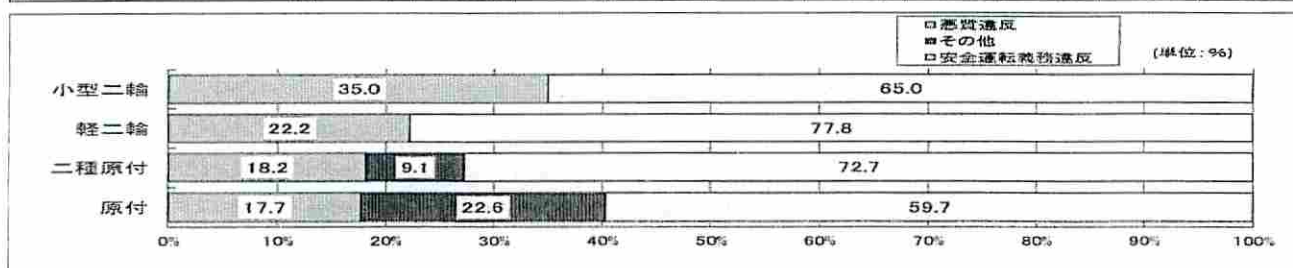
車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは、小型二輪で35.0パーセントとなっている。

原付の悪質違反については、一時不停止が6件で54.5パーセントとなっている。



(単位：件・%)

違反	車 種		小 型 二 輪		軽 二 輪		二 種 原 付		原 付		合 計	
			構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
悪 質 違 反	信 号 無 視		2	10.0	1	11.1	1	9.1	4	6.5	8	7.8
	最 高 速 度		2	10.0	1	11.1		0.0		0.0	3	2.9
	通 区 道 追 越		2	10.0		0.0	1	9.1		0.0	3	2.9
	歩 行 者 妨 害 等			0.0		0.0		0.0	1	1.6	1	1.0
	一 時 不 停 止		1	5.0		0.0		0.0	6	9.7	7	6.9
	酒 酔 い 運 転			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
計			7	35.0	2	22.2	2	18.2	11	17.7	22	21.6
横 断 禁 止 等				0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
右 ・ 左 折 違 反				0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
優 先 通 行 妨 害 等				0.0		0.0	1	9.1	2	3.2	3	2.9
交 差 点 安 全 進 行				0.0		0.0		0.0	12	19.4	12	11.8
徐 行 違 反				0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
安 全 運 転 義 務 違 反	ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ		3	15.0	1	11.1	2	18.2	10	16.1	16	15.7
	前 方 不 注 意		4	20.0	3	33.3	3	27.3	15	24.2	25	24.5
	動 静 不 注 視		2	10.0	1	11.1		0.0	3	4.8	6	5.9
	安 全 不 確 認			0.0		0.0	1	9.1	8	12.9	9	8.8
	安 全 速 度		3	15.0	2	22.2	2	18.2		0.0	7	6.9
	そ の 他		1	5.0		0.0		0.0	1	1.6	2	2.0
計			13	65.0	7	77.8	8	72.7	37	59.7	65	63.7
そ の 他				0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
合 計			20	100.0	9	100.0	11	100.0	62	100.0	102	100.0



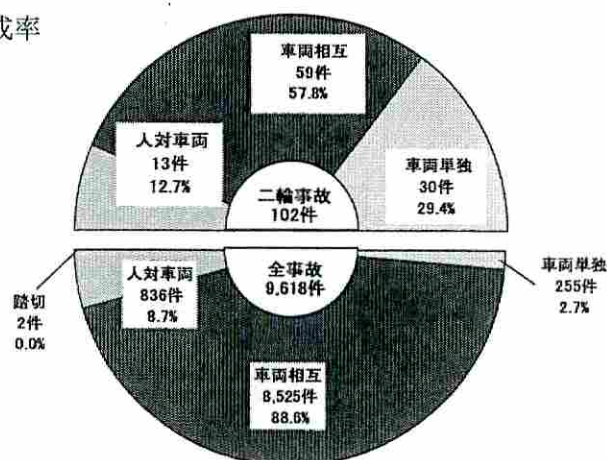
キ 車種別・事故類型別

(単位: 件・%)

類型	車種	全 事 故		二 輪 合 計		小 型 二 輪		軽 二 輪		二 種 原 付		原 付	
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
人対車両	横断中	468	4.9	6	5.9		0.0	1	11.1	1	9.1	4	6.5
	対面・背面	129	1.3	4	3.9		0.0		0.0		0.0	4	6.5
	その他	239	2.5	3	2.9		0.0		0.0		0.0	3	4.8
	計	836	8.7	13	12.7	0	0.0	1	11.1	1	9.1	11	17.7
車両相互	正面衝突	310	3.2		0.0	2	10.0		0.0	2	18.2		0.0
	追突	472	4.9		0.0	2	10.0	1	11.1	1	9.1	1	1.6
	駐・停止中	3,545	36.9		0.0	2	10.0	2	22.2		0.0	1	1.6
	出会い頭	2,507	26.1		0.0	3	15.0	2	22.2	3	27.3	28	45.2
	追越・追抜	98	1.0		0.0	1	5.0		0.0		0.0	1	1.6
	右折時	644	6.7		0.0		0.0		0.0		0.0	2	3.2
	左折時	239	2.5		0.0		0.0		0.0		0.0	1	1.6
	その他	710	7.4		0.0	1	5.0	1	11.1	1	9.1	1	1.6
	計	8,525	88.6	59	57.8	11	55.0	6	66.7	7	63.6	35	56.5
車両単独	工作物衝突	149	1.5	11	10.8	2	10.0	1	11.1	2	18.2	6	9.7
	路外逸脱	32	0.3	2	2.0		0.0		0.0	1	9.1	1	1.6
	転倒	25	0.3	16	15.7	6	30.0	1	11.1		0.0	9	14.5
	駐車車両衝突	28	0.3		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	その他	21	0.2	1	1.0	1	5.0		0.0		0.0		0.0
	計	255	2.7	30	29.4	9	45.0	2	22.2	3	27.3	16	25.8
	踏切	2	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	合 計	9,618	100.0	102	100.0	20	100.0	9	100.0	11	100.0	62	100.0

全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別構成率の対比では、

- ・人対車両・・・4.0 ポイント高い
- ・車両相互・・・30.8 ポイント低い
- ・車両単独・・・26.7 ポイント高く、特に転倒と工作物衝突が高い等の特徴がみられる。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故の 71.6 パーセント (73 件) が昼間に発生している。

道路別に対比すると、市町村道での発生が 46 件と最も多く 45.1 パーセントを占める。

夜間の発生についても市町村道での発生が 14 件 (48.3%) と多くなっている。

(単位: 件・%)

昼夜	国 道						県 道			市 町 村	高 速 道	合 計
	4 号	6 号	13 号	49 号	三 析	計	主 要	一 般	道			
昼 間	2	2		2	12	18	7	9	16	32	5	73
構成率(%)	2.7	2.7	0.0	2.7	16.4	24.7	9.6	12.3	21.9	43.8	6.8	100.0
夜 間	1	2	1		3	7	3	4	7	14		29
構成率(%)	3.4	6.9	3.4	0.0	10.3	24.1	10.3	13.8	24.1	48.3	0.0	100.0
薄暮(内数)			1		1	2	1	1	2	1		5
構成率(%)	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	100.0
合 計	3	4	1	2	15	25	10	13	23	46	5	102
構成率(%)	2.9	3.9	1.0	2.0	14.7	24.5	9.8	12.7	22.5	45.1	4.9	100.0

ケ 道路線形別

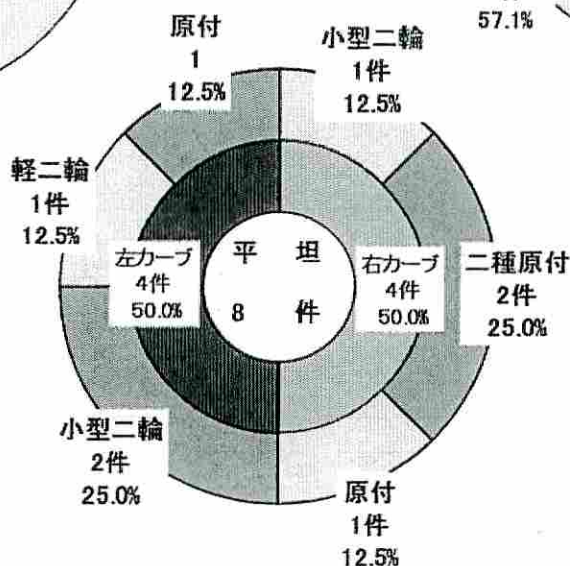
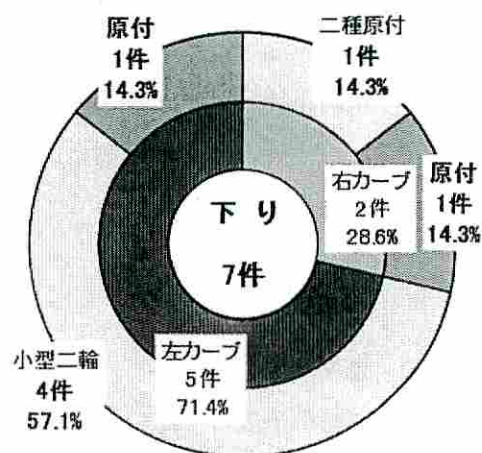
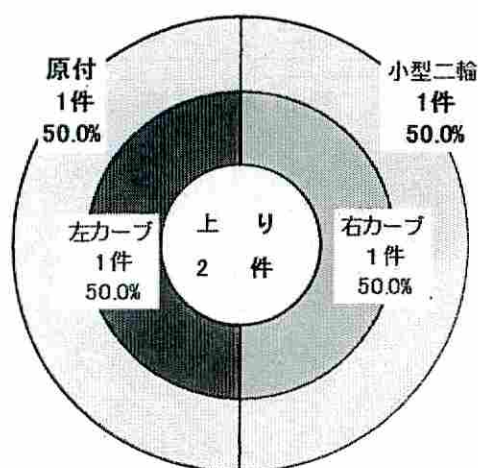
全事故と比較するとカーブでの事故の割合が高く、全二輪事故のうち右カーブが7.1パーセント、左カーブが10.1パーセントを占めている。

(単位：件・%)

線形	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
上り	右カーブ	39	0.4	1	1.0	1	5.3		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	49	0.5	1	1.0		0.0		0.0		0.0	1	1.7
下り	右カーブ	57	0.6	2	2.0		0.0		0.0	1	9.1	1	1.7
	左カーブ	81	0.9	5	5.1	4	21.1		0.0		0.0	1	1.7
平坦	右カーブ	135	1.5	4	4.0	1	5.3		0.0	2	18.2	1	1.7
	左カーブ	123	1.3	4	4.0	2	10.5	1	11.1		0.0	1	1.7
直線	上り	286	3.1	1	1.0		0.0		0.0		0.0	1	1.7
	下り	396	4.3	5	5.1	2	10.5		0.0	1	9.1	2	3.3
	平坦	7,963	87.2	76	76.8	9	47.4	8	88.9	7	63.6	52	86.7
合計	右カーブ	231	2.5	7	7.1	2	10.5		0.0	3	27.3	2	3.3
	左カーブ	253	2.8	10	10.1	6	31.6	1	11.1	0	0.0	3	5.0

全事故件数	9,129	100	99	100	19	100	9	100	11	100	60	100
-------	-------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	----	-----	----	-----

* 全事故のうち、その他の道路489件、二輪事故のうちその他の道路3件を除く。



(2) 二輪車の死傷者

ア 概 況

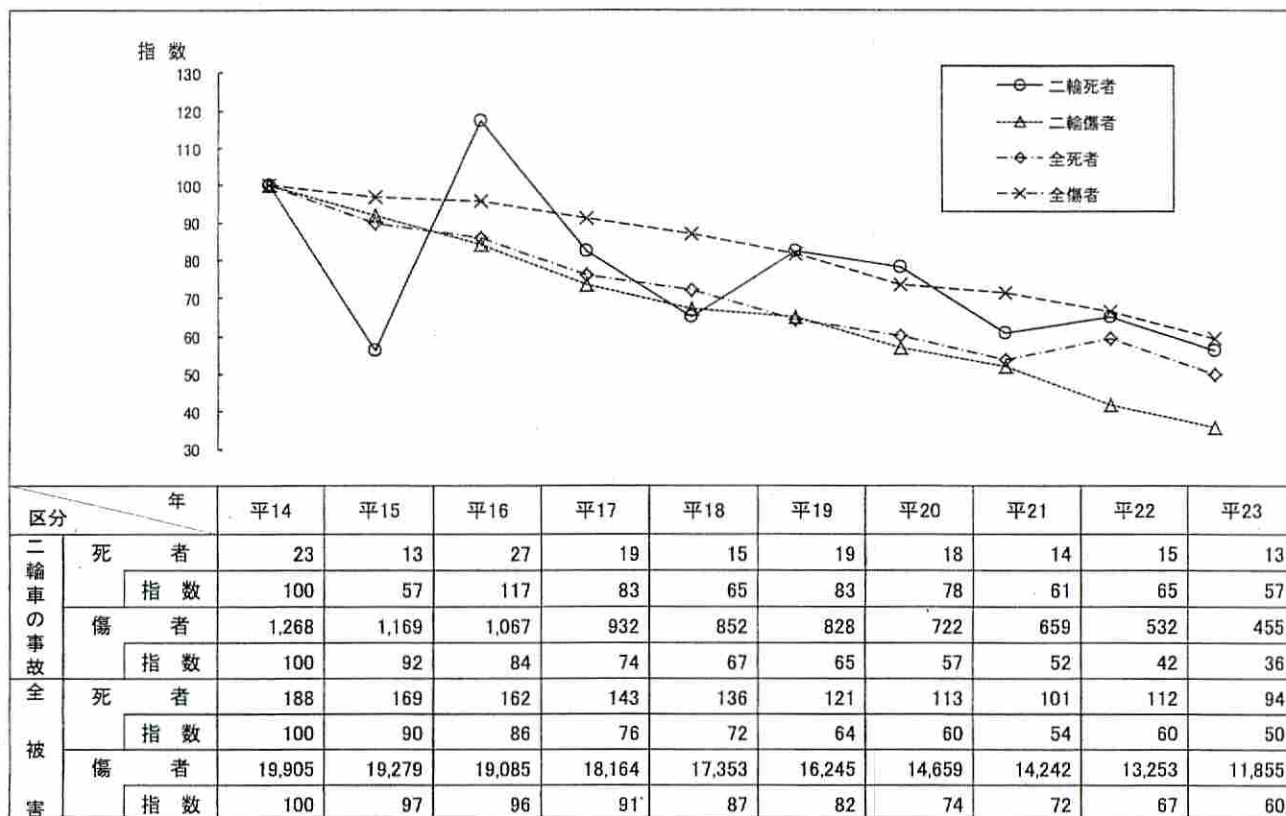
二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 13 人（前年比 -2 人 13.3%減）

傷者数 455 人（前年比 -77 人 14.5%減）

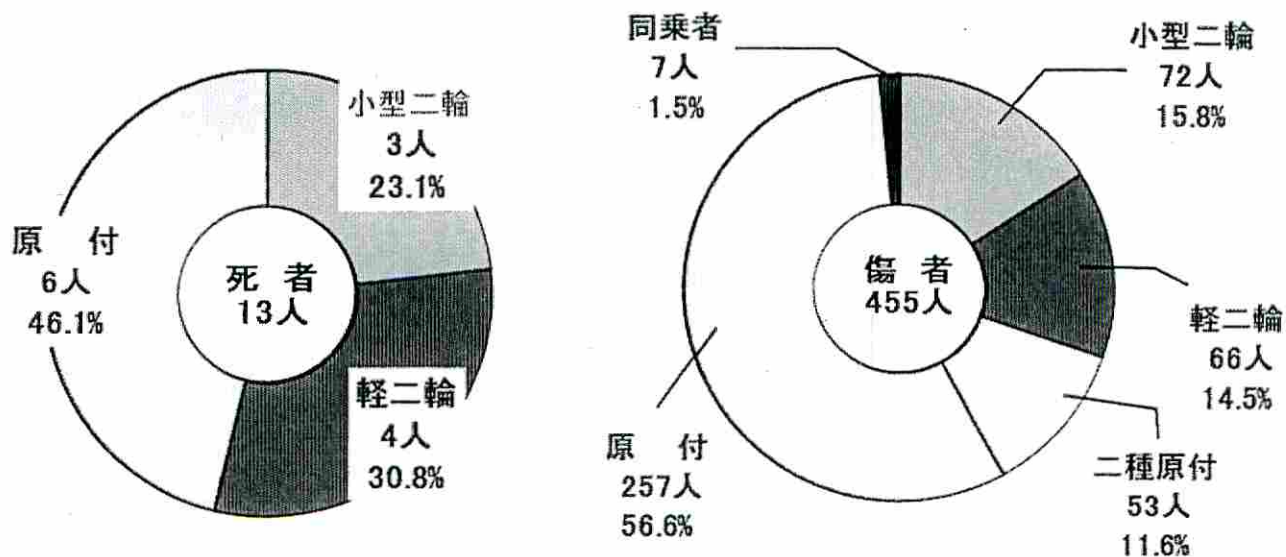
で、死者数、傷者数とも減少した。

（単位：人）



イ 車種別

車種別にみると、死者、傷者ともに原付が多く、死者は46.1パーセント、傷者は56.6パーセントを占めている。



ウ 年齢別

年齢別にみると、死者は30歳代が4人で30.8パーセントを占め、傷者は高齢者が95人で20.9パーセントを占めている。

(単位：人・%)

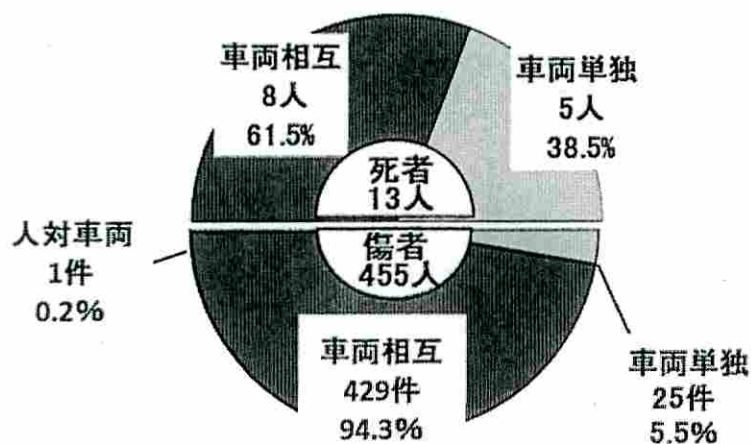
年 齢		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
車 種	死 者	1	1		4	3	1		3	13
	構成率(%)	7.7	7.7	0.0	30.8	23.1	7.7	0.0	23.1	100.0
計	傷 者	56	48	35	87	64	47	23	95	455
	構成率(%)	12.3	10.5	7.7	19.1	14.1	10.3	5.1	20.9	100.0
小型二輪車	死 者		1		1	1				3
	傷 者	9	10	9	20	14	6	3	1	72
軽二輪車	死 者				3	1				4
	傷 者	14	6	8	16	11	8	1	2	66
二種原付	死 者									0
	傷 者	1	4	3	14	12	7	4	8	53
原付	死 者	1				1	1		3	6
	傷 者	29	28	15	35	27	26	14	83	257
同乗者	死 者									0
	傷 者	3			2			1	1	7

エ 事故類型別・道路形状別

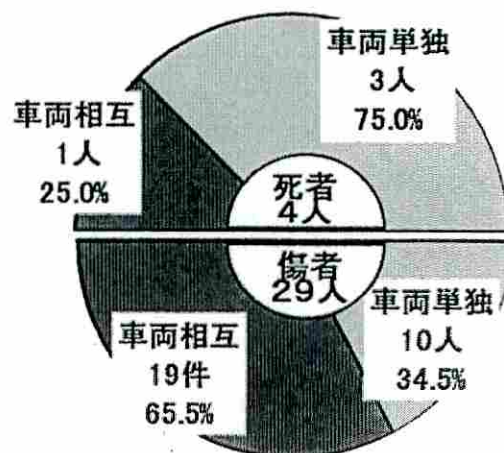
全二輪事故では、死者・傷者とも車両相互によるものが多い。

カーブ・屈折では、死者は車両単独によるものが多く、傷者は車両相互によるものが多い。

全 二 輪



カーブ・屈折



オ ヘルメット着用状況

原付の着用率は、自動二輪の着用率より1.1ポイント低くなっている。

(単位：人・%)

区分	死 者			傷 者			合 計		
	ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)	
自動二輪	7	7	100.0	198	198	100.0	205	205	100.0
原 付	6	6	100.0	257	254	98.8	263	260	98.9
合 計	13	13	100.0	455	452	99.3	468	465	99.4

13 タクシーの事故

(1) 概 況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 114件（前年比 -9人 7.3%減）

死者数 0人（前年比 ±0人 - ）

傷者数 133人（前年比 -8人 5.7%減）

で、発生件数、傷者数とも減少し、平成17年から死亡事故の発生はない。

タクシーが第2当事者になった事故は、

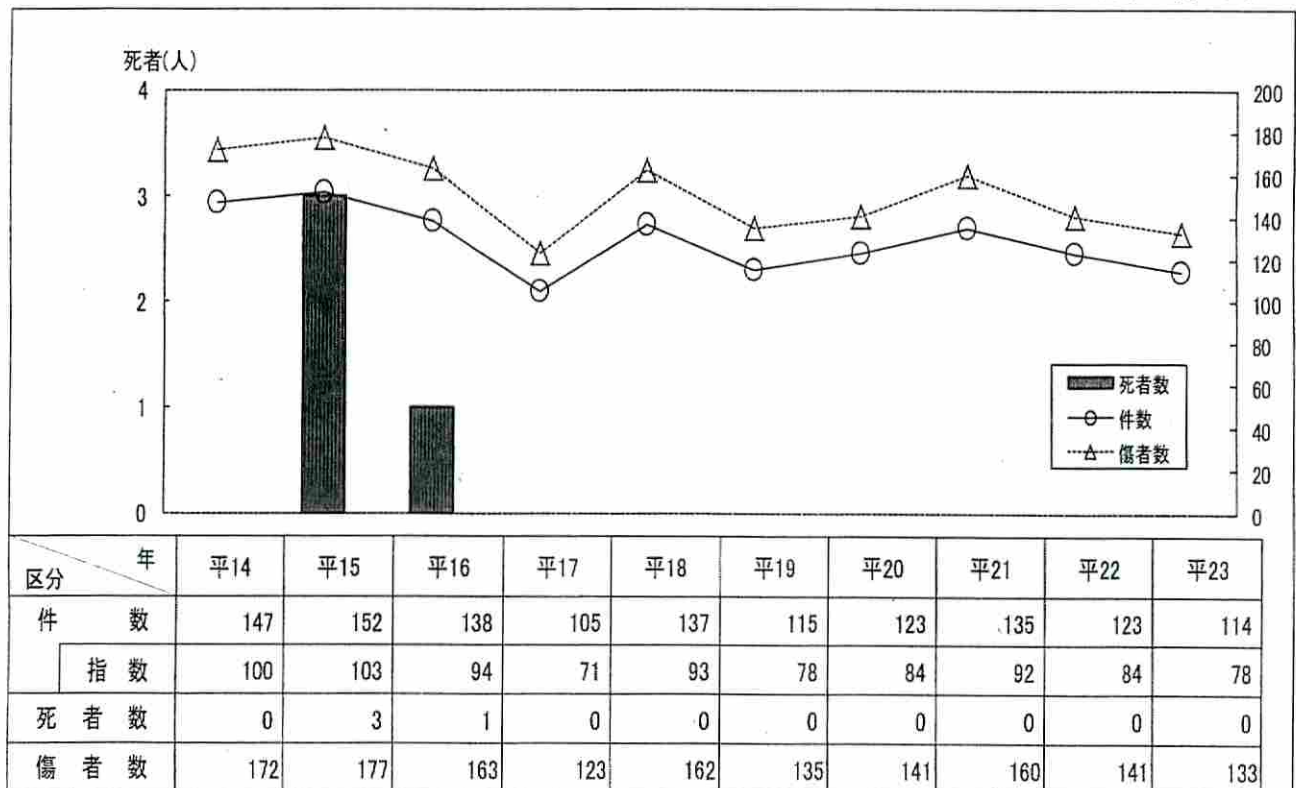
発生件数 61件（前年比 +4件 7.0%増）

死者数 0人（前年比 ±0人 - ）

傷者数 76人（前年比 +2人 2.6%増）

で、発生件数、傷者数は増加したが、死者はない。

（単位：件・人）



(2) 月別

12月が14件と最も多く、次いで8月、10月の13件、1月の12件の順となっている。

（単位：件・人）

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件 数	件 数	12	11	5	6	11	6	8	13	7	13	8	14	114
死 者 数	死 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
傷 者 数	傷 者 数	13	12	6	7	13	11	8	14	10	15	9	15	133

(3) 年齢別

50歳代が47件で最も多く、タクシー事故の41.2パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
件数			2	3	8	47	30	24	114
構成率(%)		0.0	1.8	2.6	7.0	41.2	26.3	21.1	100.0

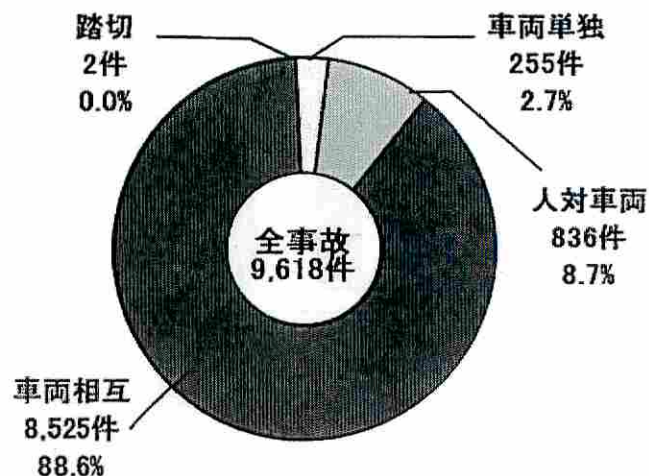
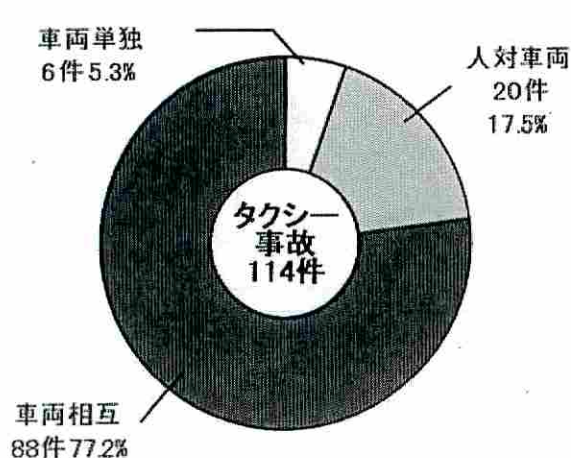
(4) 事故類型別

車両相互の事故が88件(77.2%)と最も多く、うち出会い頭が31.6パーセントと高い。

全事故と比較すると、人対車両事故や車両単独事故の占める割合が約2倍と高くなっている。

(単位：件・%)

区分	類型	人対車両				車両相互						車両単独				合計
		通行中	横断中	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱	その他	計
件数		2	12	6	20	2	25	36	7	13	5	88	3		3	6
構成率(%)		1.8	10.5	5.3	17.5	1.8	21.9	31.6	6.1	11.4	4.4	77.2	2.6	0.0	2.6	5.3



(5) 違反別

安全不確認の事故が31件で27.2パーセントを占め、次に動静不注視の順となっている。

悪質違反は15件で13.2パーセントを占めている。

(単位：件・%)

違反	悪質違反						横断禁止等	左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反					その他	合計
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転						ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他		
件数	2			5	8		15	1	2	16	3	9	15	18	31	1	74	3
構成率(%)	1.8	0.0	0.0	4.4	7.0	0.0	13.2	0.9	1.8	14.0	2.6	7.9	13.2	15.8	27.2	0.9	64.9	2.6

14 バスの事故

(1) 概 況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 25 件（前年比 +9 件 56.3%増）
 死者数 0 人（前年比 ±0 人 — ）
 傷者数 29 人（前年比 +12 人 70.6%増）

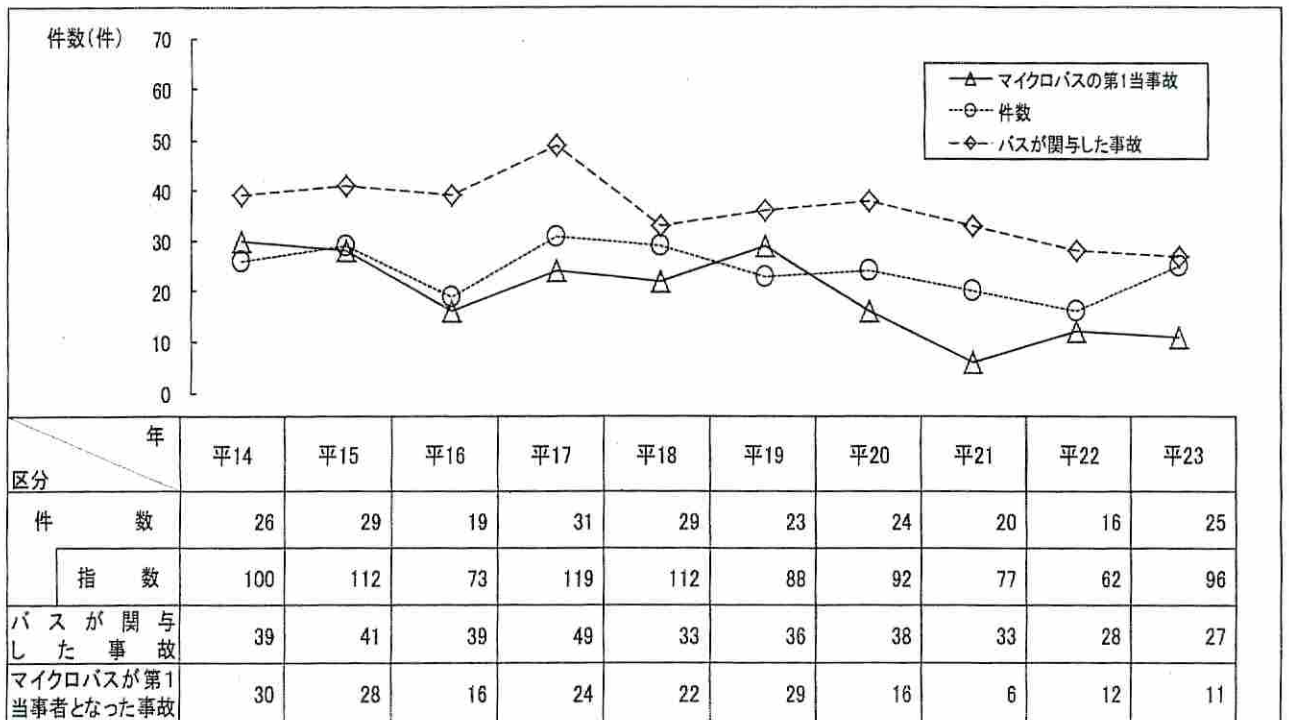
で、発生件数、傷者数とも増加したが、死者はなかった。

バスの関与した事故は、

発生件数 27 件（前年比 -1 件 3.6%減）
 死者数 0 人（前年比 -1 人 100.0%減）
 傷者数 33 人（前年比 -2 人 5.7%減）

で、発生件数、傷者数、死者とも減少した。

（単位：件）



〈参考〉

マイクロバス（乗車定員が11～29人）の事故

発生件数 11 件（前年比 -1 件 8.3%減）
 死者数 0 人（前年比 0 人 — ）
 傷者数 26 人（前年比 +6 人 30.0%増）

関連した事故

発生件数 14 件（前年比 -3 人 17.6%減）
 死者数 0 人（前年比 0 人 — ）
 傷者数 34 人（前年比 +4 人 13.3%増）

(2) 月別

バスの運転者が第1当事者となった事故は、7月が4件と最も多く発生し、関係事故も7月が4件と最も多く発生している。

(単位：件・人)

区 分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第1当事者	件 数		3	2	2	1	2	2	4	2	1	2	2	2	25
	死 者 数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	傷 者 数		3	2	2	1	2	2	6	3	1	2	3	2	29
関係事故	件 数		3	2	2	2	2	2	4	3	1	2	2	2	27
	死 者 数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	傷 者 数		3	2	2	2	2	2	6	6	1	2	3	2	33

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスが16件で最も多く、64.0パーセントを占めている。

関係事故についても路線バスが18件で最も多く、66.7パーセントを占めている。

(単位：件・人)

区 分	用途	第 1 当 事 者			計	関 係 事 故			計
		路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
件 数		16	5	4	25	18	5	4	27
死 者		0	0	0	0	0	0	0	0
傷 者		16	6	7	29	20	6	7	33

(4) 年齢別

40歳代の割合が高く、第1当事者となった事故は8件で32.0パーセント、関係事故も同様に8件で29.6パーセントを占めている。

(単位：件)

区 分	年 齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
第 1 当 事 者		0	0	3	8	7	7	0	25
関 係 事 故		1	0	3	8	7	7	1	27

(5) 道路別

第1当事者となった事故は国道が10件で40.0パーセントを占め、関係事故も国道が12件で44.4パーセントを占めている。

(単位：件)

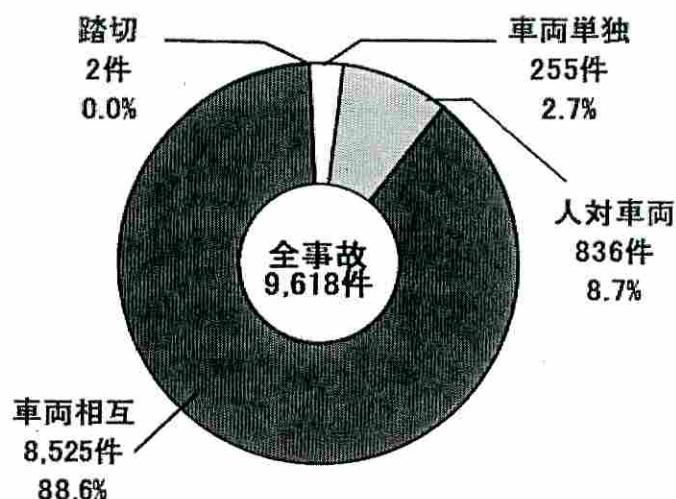
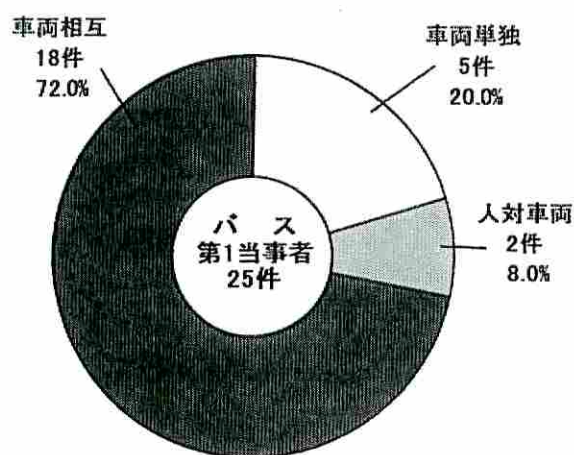
区 分	道路	国 道					計	県 道			計	市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三 桁		主 要 道	一 般 道	計					
第 1 当 事 者		6	1	0	1	2	10	5	1	6	7	2	0	0	25
関 係 事 故		8	1	0	1	2	12	5	1	6	7	2	0	0	27

(6) 事故類型別

全事故と比較すると、車両単独事故の割合が高く約7倍となっている。

(単位: 件・%)

類型 区分	人 対 車 両			計	車 両 相 互						計	車 両 単 独			計	合 計
	通 行 中	横 断 中	そ の 他		正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他		工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱	そ の 他		
件 数			2	2		10	3		4	1	18	1		4	5	25
構成率(%)	0.0	0.0	8.0	8.0	0.0	40.0	12.0	0.0	16.0	4.0	72.0	4.0	0.0	16.0	20.0	100



(7) 違反別

安全運転義務違反が22件で88.0パーセントを占めている。

特に、動静不注視が6件で最も多くなっている。

(単位: 件・%)

違反		区分		件数	構成率(%)	違反		件数	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視	1	4.0	安全 運 転 義 務 違 反	交 差 点 安 全 進 行	2	8.0		
	最 高 速 度		0.0		過 労 運 転		0.0		
	通 区 ・ 追 越		0.0		安 全 ハンドル・ブレーキ	4	16.0		
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		前 方 不 注 意	5	20.0		
	一 時 不 停 止		0.0		動 静 不 注 視	6	24.0		
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 不 確 認	4	16.0		
計		1	4.0	安 全 速 度	1	4.0			
横 断 禁 止 等			0.0	そ の 他	2	8.0			
車 間 距 離 不 保 持			0.0	計	22	88.0			
進 路 変 更 禁 止			0.0	そ の 他		0.0			
右 ・ 左 折			0.0	歩 行 者 の 違 反		0.0			
優 先 通 行 妨 害 等			0.0	合 計	25	100			

15 ダンプカーの事故

(1) 概 況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数 78 件（前年比 +23 件 41.8%増）

死者数 1 人（前年比 ±0 人 — ）

傷者数 97 人（前年比 +28 人 40.6%増）

で、死者数は昨年と同数だったが、発生件数、傷者数はともに増加した。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

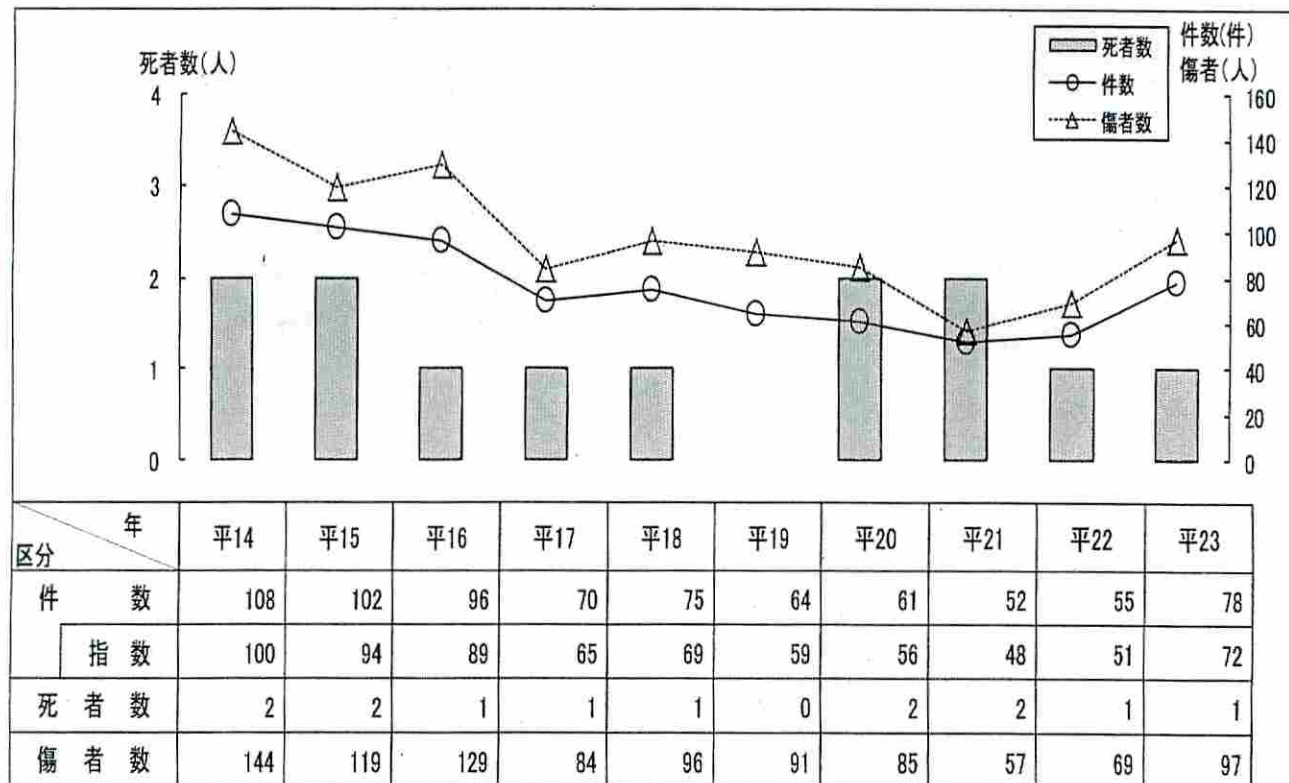
発生件数 27 件（前年比 -4 件 12.9%減）

死者数 1 人（前年比 ±0 人 — ）

傷者数 26 人（前年比 -25 人 49.0%減）

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は昨年と同数であった。

（単位：件・人）



(2) 月別

9月が12件で最も多く、次いで10月の10件の順となっている。

（単位：件・人）

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件 数	件 数	2	9	3	7	3	8	9	6	12	10	3	6	78
死 者 数	死 者 数									1				1
傷 者 数	傷 者 数	2	11	4	9	4	8	10	10	18	10	4	7	97

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、40歳代、50歳代が16件で最も多く、次いで30歳代、高齢者の各12件となっている。

また、免許経過年数では、10年以上が69件でダンプ事故の88.5パーセントを占めている。

(単位：件)

年 齢 区 分	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高 齢 者 (65歳以上)	合 計
1 年 未 満	1							1
1 ～ 2 年	2							2
2 ～ 3 年	1							1
3 ～ 4 年				1			1	2
4 ～ 5 年								0
10 年 未 満	1	2						3
10 年 以 上		4	12	15	16	11	11	69
無 免 許								0
合 計	5	6	12	16	16	11	12	78

(4) 違反別

安全不確認が17件でダンプ事故の21.8パーセントを占め最も多く、次いで前方不注意の16件となっている。

悪質違反は14件で、うち一時停止が8件と悪質違反の57.1パーセントを占めている。

(単位：件・％)

違反		件 数		違反		件 数	
区 分		構成率(%)		区 分		構成率(%)	
悪 質 違 反	信 号 無 視	2	2.6	安全運転義務違反	交 差 点 安 全 進 行	4	5.1
	最 高 速 度		0.0		徐 行 違 反	1	1.3
	通 区 ・ 追 越	2	2.6		ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	6	7.7
	歩 行 者 妨 害 等	1	1.3		前 方 不 注 意	16	20.5
	一 時 不 停 止	8	10.3		動 静 不 注 視	14	17.9
	酒 酔 い 運 転	1	1.3		安 全 不 確 認	17	21.8
計		14	17.9	そ の 他	安 全 速 度	1	1.3
横 断 禁 止 等			0.0		計	54	69.2
車 間 距 離 不 保 持			0.0		そ の 他	1	1.3
進 路 変 更 禁 止			0.0		歩 行 者 の 違 反		0.0
右 ・ 左 折		2	2.6		合 計	78	100.0
優 先 通 行 妨 害 等		2	2.6				

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では84.6パーセント、第2当事者では96.3パーセントを占めている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

用途	区分	件 数	死 者	傷 者
第 一 当 事 者	事 業 用	12	0	13
	自 家 用	66	1	84
	合 計	78	1	97

用途	区分	件 数	死 者	傷 者
第 二 当 事 者	事 業 用	1	0	1
	自 家 用	26	1	25
	合 計	27	1	26

16 安全運転管理者選任事業所の事故

(1) 概 況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

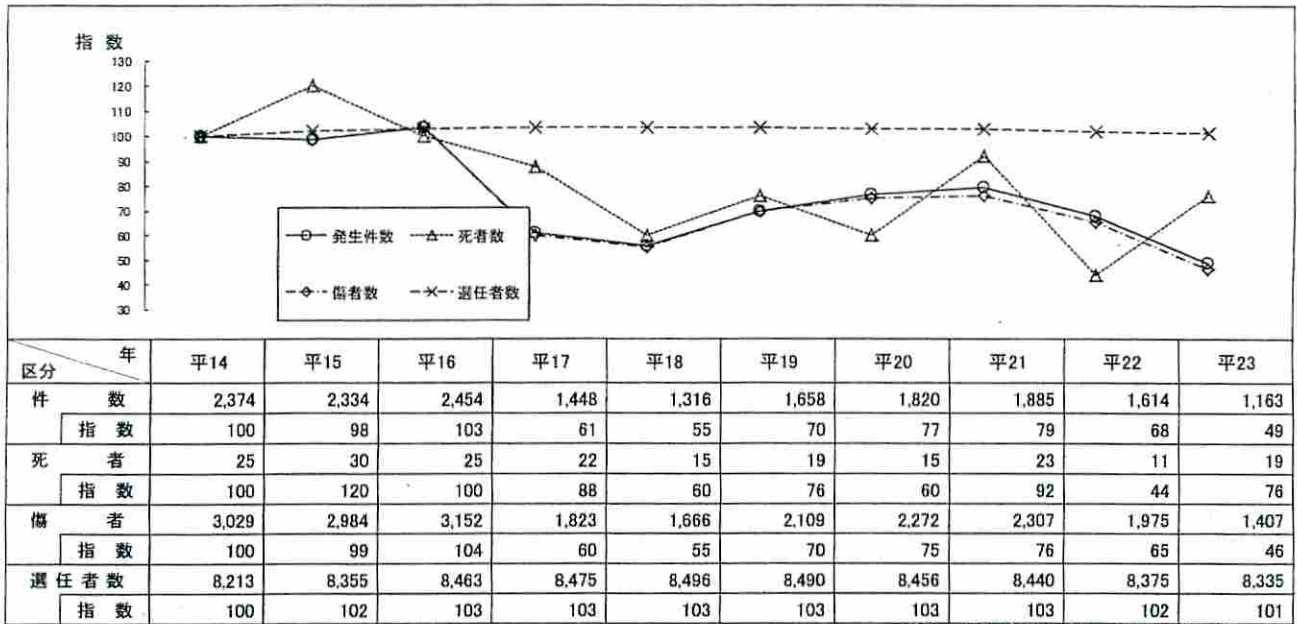
発生件数 1,163 件（前年比 -451 件 27.9%減）

死者数 19 人（前年比 +8 人 72.7%増）

傷者数 1,407 人（前年比 -568 人 28.8%減）

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は前年比+8人（72.7%増）と大幅に増加した。

（単位：件・人）



（注）選任数は各年3月末の数値

(2) 県内に所在する安管の事故

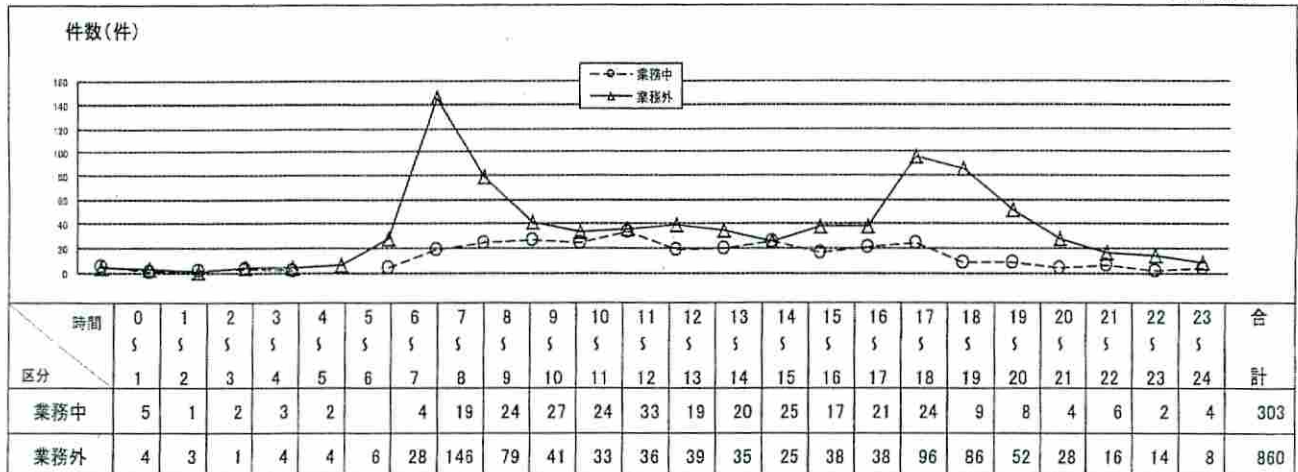
業務外の事故が安管事業所事故の73.9パーセントを占めている。

ア 時間別

業務中は11～12時の間、業務外では朝夕の通勤時間帯の発生が多い。

(単位: 件・人・%)					
区 分 通行目的	件 数		死者	傷者	
		割 合 (%)			
業 務 中	303	26.1	3	389	
業 務 外	860	73.9	16	1,018	
通 勤	397	34.1	10	451	
私 用 中	463	39.8	6	567	
調 査 不 能	0	0.0	0	0	

（単位：件）



イ 車種別・用途別

(ア) 車種別

業務中では、普通乗用車が 113 件 37.3 パーセント、次いで普通貨物車が 85 件で 28.1 パーセントを占めている。

業務外では、普通乗用車が 587 件と最も多く 68.3 パーセントを占めている。

(単位：件・％)

区分	車種	乗 用 車				貨 物 車				特殊車	二 輪 車					合計
		マイク ロバス	普 通	軽	計	大 型 中 型	普 通	軽	計		小 型 二 輪	軽 二 輪	二 種 原 付	原 付	計	
業 務 中		6	113	31	150	29	85	36	150				3		3	303
	構成率(%)	2.0	37.3	10.2	49.5	9.6	28.1	11.9	49.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	100
業 務 外			587	210	797		25	34	59		1	1		2	4	860
	構成率(%)	0.0	68.3	24.4	92.7	0.0	2.9	4.0	6.9	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	0.5	100

(イ) 用途別

用途別に業務中の事故をみると、自家用・その他が 262 件で最も多く、業務中事故の 86.5 パーセントを占めている。

代行運転の事故は 16 件で、うち 15 件は随伴車（代行会社の車両）となっている。

(単位：件・％)

区分	車種	事業用	自 家 用					計	その他	合 計
			レンタカー	スクールバス	代 行 運 転		その他			
					代 行	随 伴				
業 務 中		16	8	1	1	15	262	287		303
	構成率(%)	5.3	2.6	0.3	0.3	5.0	86.5	94.7	0.0	100
業 務 外		1	2				857	859		860
	構成率(%)	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	99.7	99.9	0.0	100

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で 40.3 パーセント、業務外で 45.7 パーセントを占めている。

(単位：件・％)

区 分	類 型	人 対 車 両			車 両 相 互						車 両 単 独			列	合
		横	そ	計	正	追	出	後	右	そ	工	路	そ		
		断	の		面	突	会	退	・	の	作	外	の		
		中	他		衝	突	頭	・	左	他	物	逸	他		
					突			転	折		衝	脱			
								回	時		突				
業 務 中		14	12	26	8	122	76	15	26	14	8	7	1	16	303
	構成率(%)	4.6	4.0	8.6	2.6	40.3	25.1	5.0	8.6	4.6	2.6	2.3	0.3	5.3	100
業 務 外		43	38	81	41	393	193	29	84	27	8	1	3	12	860
	構成率(%)	5.0	4.4	9.4	4.8	45.7	22.4	3.4	9.8	3.1	0.9	0.1	0.3	1.4	100

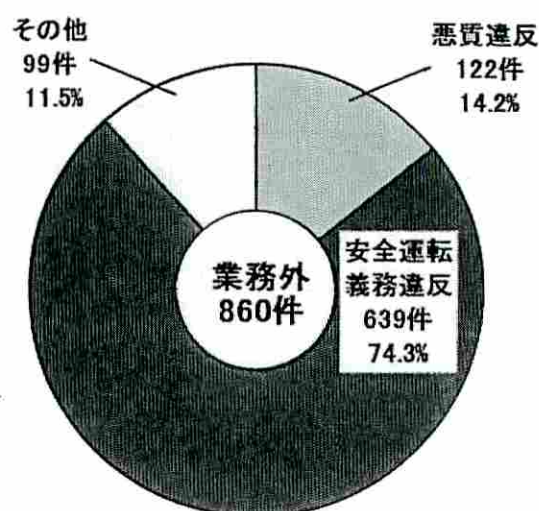
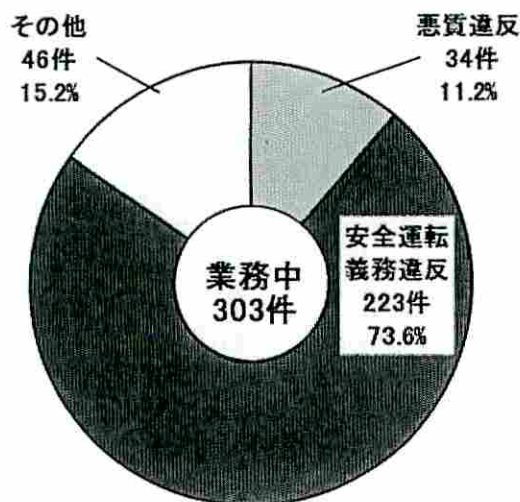
エ 違反別

業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、業務中で 73.6 パーセント、業務外で 74.3 パーセントを占めている。

悪質違反では、信号無視、横断歩行者妨害、一時不停止の占める割合が高くなっている。

(単位：件・％)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外	
		構成率(%)		構成率(%)				構成率(%)		構成率(%)	
悪質違反	信号無視	10	3.3	34	4.0	安全運転義務違反	徐行違反	3	1.0	5	0.6
	最高速度		0.0	1	0.1		過労運転		0.0	1	0.1
	通区・追越	2	0.7	11	1.3		ハンドル・ブレーキ	23	7.6	84	9.8
	歩行者妨害等	7	2.3	33	3.8		前方不注意	86	28.4	251	29.2
	一時不停止	15	5.0	43	5.0		動静不注意	51	16.8	126	14.7
	酒酔い運転		0.0		0.0		安全不確認	55	18.2	143	16.6
	計	34	11.2	122	14.2		安全速度	6	2.0	29	3.4
	横断禁止等	1	0.3	2	0.2		予測不適	1	0.3	4	0.5
	車間距離不保持	2	0.7	3	0.3		その他	1	0.3	2	0.2
	進路変更禁止		0.0	1	0.1		計	223	73.6	639	74.3
	右・左折	2	0.7	3	0.3	安全不確認ドア開放			0.0		0.0
	優先通行妨害等	8	2.6	24	2.8	その他		1	0.3		0.0
	交差点安全進行	29	9.6	60	7.0	合計		303	100.0	860	100



オ 原因別

業務中、業務外とも、発見の遅れが 68 パーセント以上の高い割合を占めている。

(単位：件・％)

原因	区分	業務中		業務外	
		構成率(%)		構成率(%)	
発見の遅れ		208	68.6	588	68.4
判断の誤り等		69	22.8	181	21.0
操作上の誤り		26	8.6	91	10.6
調査不能			0.0		0.0
合計		303	100	860	100

17 県外居住者の事故

(1) 概 況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

発生件数 574 件（前年比 -108 件 15.8%減）

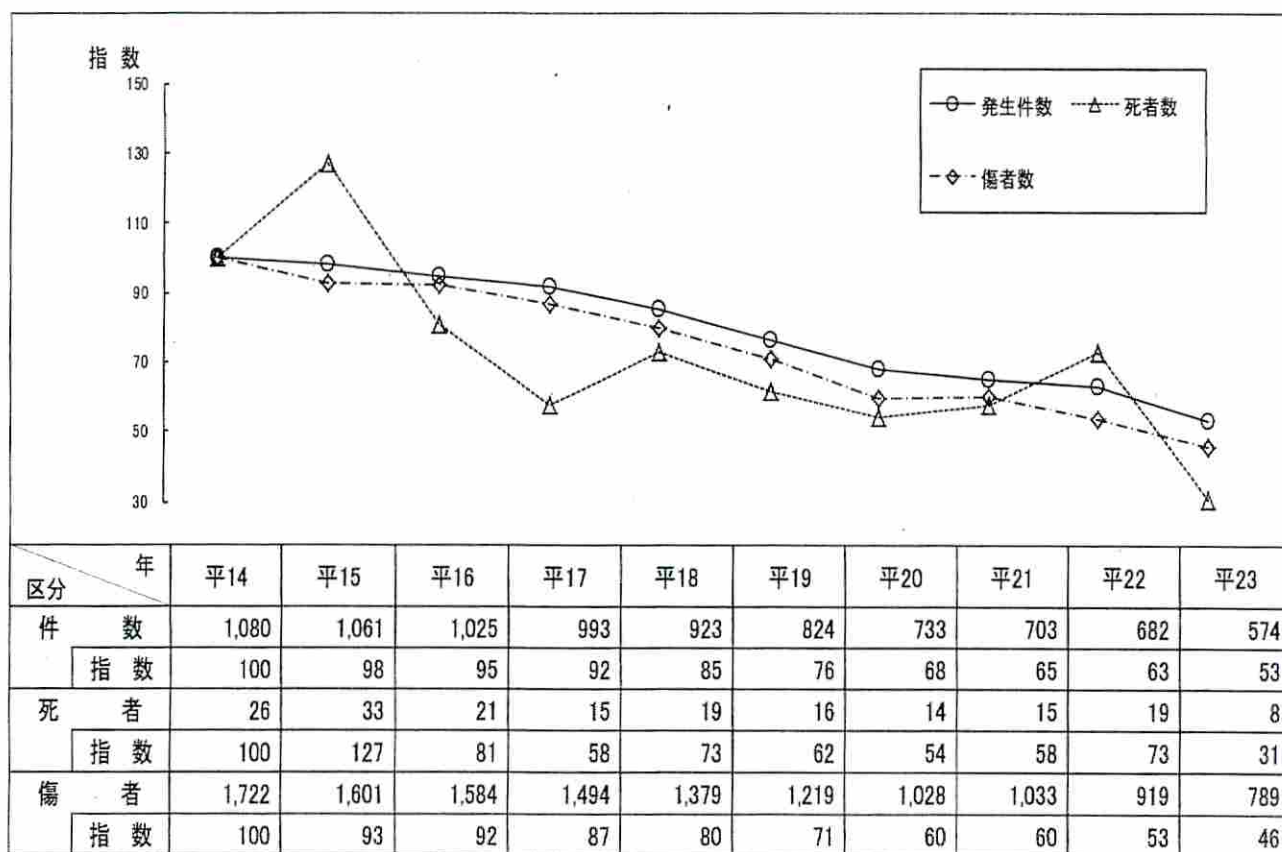
死者数 8 人（前年比 -11 人 57.9%減）

傷者数 789 人（前年比 -130 人 14.1%減）

で、発生件数、死者数、傷者数とも減少した。

過去10年間の推移を見ると、発生件数・傷者数は平成14年をピークに漸減し、死者数は増減があるものの平成15年の33人をピークに減少している。

（単位：件・人）



(2) 月別

8月が73件で最も多く、次いで1月の57件となっている。

全事故に占める割合でみると、8月が8.3パーセントで最も高く、最も低い3月と比較すると3.5ポイントの差となっている。

（単位：件・人・%）

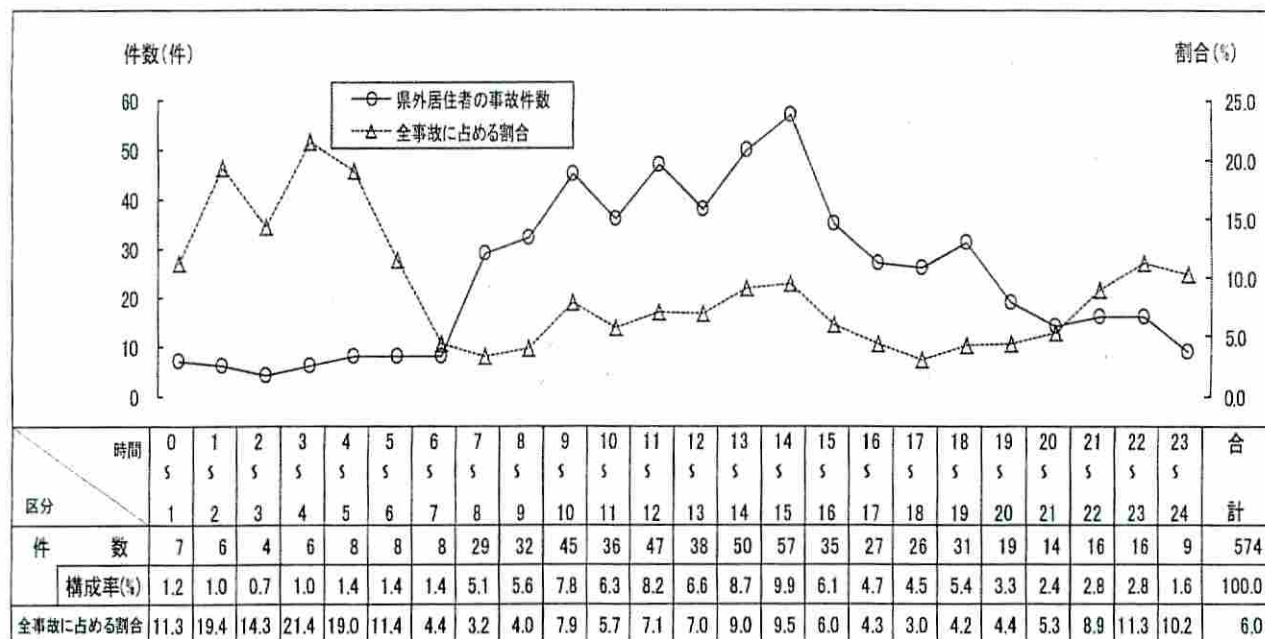
月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
区 分														
全 事 故		830	823	626	609	723	746	821	876	779	875	893	1,017	9,618
県外居住者	件 数	57	43	30	40	46	32	46	73	48	55	56	48	574
	全事故に占める割合	6.9	5.2	4.8	6.6	6.4	4.3	5.6	8.3	6.2	6.3	6.3	4.7	6.0
	死 者	1					3			1	1	2		8
	傷 者	79	53	42	56	66	34	62	119	59	78	69	72	789

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、14～15時の57件、次いで13～14時の50件、11～12時の47件、の順となっている。

また、全事故に占める割合でみると、3～4時の21.4パーセントが最も高く、次いで1～2時の19.4パーセントとなっている。

(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が260件で、県外居住者事故の45.3パーセントを占めている。

特に、国道4号は93件と国道事故の35.8パーセントを占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が63.4パーセントと最も高く、次いで幹線国道の4号、6号の順となっている。

(単位：件・%)

道路 区分		国 道						計	県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
		幹 線 国 道					三 析 国 道						
		4 号	6 号	13 号	49 号	計							
件 数		93	52	15	20	180	80	260	96	88	111	19	574
構成率(%)		16.2	9.1	2.6	3.5	31.4	13.9	45.3	16.7	15.3	19.3	3.3	100.0
全事故に占める割合(%)		11.1	10.3	8.5	4.9	9.3	8.6	9.1	4.4	2.3	63.4	3.8	6.0

(5) 当事者別

普通乗用車が305件で最も多く、県外居住者事故の53.1パーセントを占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が51.5パーセントと高い割合となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗 用 車				貨 物 車					二 輪 車			特殊車	自転車	歩行者	合 計	
		バス・マイクロ	普 通	軽	計	大 型	中 型	普 通	軽	計	自 二	動 輪	原 付					計
件 数		6	305	61	372	68	50	50	23	191	10	1	11				574	
	構成率(%)	1.0	53.1	10.6	64.8	11.8	8.7	8.7	4.0	33.3	1.7	0.2	1.9	0.0	0.0	0.0	100.0	
全体に占める割合		15.0	6.0	2.3	4.8	51.5	27.9	9.1	2.8	11.3	25.0	1.6	10.8	0.0	0.0	0.0	6.0	

(6) 年齢別

35～39歳が71件で最も多く、次いで40～44歳が70件、25～29歳が66件となっている。

全事故に占める割合については、40～44歳が8.8パーセントと最も高くなっている。

(単位：件・％)

区分	年齢	子ども	高校生	その他 10歳代	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60～ 64歳	高齢者	合 計
件 数				11	58	66	55	71	70	50	50	50	45	48	574
構成率(%)		0.0	0.0	1.9	10.1	11.5	9.6	12.4	12.2	8.7	8.7	8.7	7.8	8.4	100.0
全体に占める割合		0.0	0.0	2.9	5.5	7.0	6.6	8.5	8.8	7.2	6.6	5.8	5.5	3.1	6.0

(7) 通行目的別

(単位：件・人・％)

私用中が306件で県外居住者事故の53.3パーセントを占めており、特に、観光が68件で最も多い。

業務中の事故は233件発生し、40.6パーセントを占め、死者数は4人となっている。

区分	件 数	死 者	傷 者
通行目的	構成率(%)		
業 務	233 40.6	4	299
通 勤	33 5.7	1	44
通 学	1 0.2		1
私 用			
観 光	68 11.8		104
ド ラ イ ブ	24 4.2		33
散 歩		0.0	
飲 食	6 1.0		14
買 物	41 7.1		54
訪 問	52 9.1		65
帰 省	44 7.7		80
そ の 他	71 12.4	2	95
計	306 53.3	2	445
不 明	1 0.2	1	
合 計	574 100.0	8	789

(8) 違反別

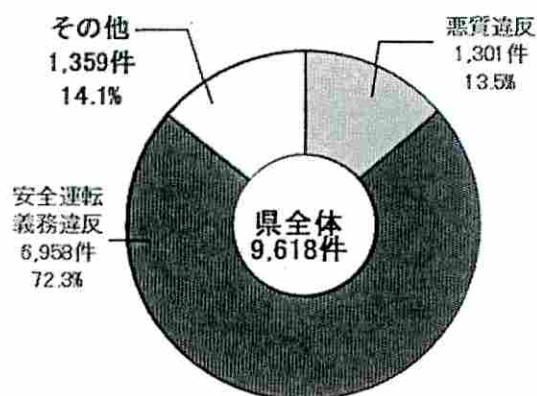
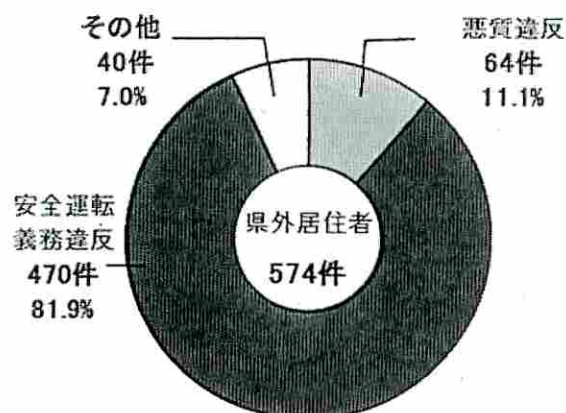
安全運転義務違反の占める割合が81.9パーセントと高く、なかでも前方不注意が220件と最も多い。

また、悪質違反のなかでは信号無視が26件と最も多く、次いで一時不停止17件、通区・追越10件となっている。

全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合9.6ポイント高くなっている。

(単位：件・％)

違反	区分	件 数	構成率(%)	違反	区分	件 数	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視	26	4.5	交 差 点 安 全 進 行		19	3.3
	最 高 速 度	4	0.7	徐 行		2	0.3
	通 区 ・ 追 越	10	1.7	安 全 ハンドル・ブレーキ		60	10.5
	歩 行 者 妨 害 等	6	1.0	前 方 不 注 意		220	38.3
	一 時 不 停 止	17	3.0	動 静 不 注 視		94	16.4
	酒 酔 い 運 転	1	0.2	安 全 不 確 認		76	13.2
	計	64	11.1	安 全 速 度		15	2.6
過 労 運 転			0.0	そ の 他		5	0.9
横 断 禁 止		1	0.2	計		470	81.9
進 路 変 更 禁 止			0.0	そ の 他		6	1.0
右 ・ 左 折		2	0.3	歩 行 者 の 違 反			0.0
優 先 通 行 妨 害 等		10	1.7	合 計		574	100.0



(9) 市町村別

(単位: 件・%)

順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合	順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合
1	いわき市	95	2233	4.3	27	会津美里町	2	41	4.9
2	福島市	76	1548	4.9	27	楢葉町	2	9	22.2
3	郡山市	49	1988	2.5	27	天栄村	2	24	8.3
4	会津若松市	27	620	4.4	27	平田村	2	15	13.3
5	白河市	18	286	6.3	35	国見町	1	16	6.3
5	相馬市	18	196	9.2	35	石川町	1	17	5.9
7	南相馬市	13	196	6.6	35	古殿町	1	7	14.3
8	須賀川市	12	388	3.1	35	矢祭町	1	14	7.1
8	喜多方市	12	176	6.8	35	会津坂下町	1	84	1.2
10	猪苗代町	11	92	12.0	35	柳津町	1	13	7.7
10	西郷村	11	61	18.0	35	金山町	1	5	20.0
12	伊達市	10	238	4.2	35	双葉町	1	9	11.1
12	二本松市	10	185	5.4	35	大玉村	1	28	3.6
14	本宮市	9	134	6.7	35	昭和村	1	3	33.3
14	南会津町	9	36	25.0	35	飯館村	1	8	12.5
16	矢吹町	8	69	11.6	46	田村市	0	118	0.0
16	新地町	8	37	21.6	46	三春町	0	55	0.0
16	泉崎村	8	26	30.8	46	磐梯町	0	8	0.0
19	桑折町	5	36	13.9	46	三島町	0	2	0.0
19	塙町	5	24	20.8	46	只見町	0	3	0.0
19	北塩原村	5	8	62.5	46	大熊町	0	13	0.0
22	川俣町	4	58	6.9	46	浪江町	0	17	0.0
22	下郷町	4	25	16.0	46	中島村	0	8	0.0
24	小野町	3	19	15.8	46	玉川村	0	13	0.0
24	広野町	3	9	33.3	46	鮫川村	0	6	0.0
24	富岡町	3	21	14.3	46	湯川村	0	16	0.0
27	鏡石町	2	70	2.9	46	檜枝岐村	0	1	0.0
27	浅川町	2	19	10.5	46	川内村	0	0	—
27	棚倉町	2	60	3.3	46	葛尾村	0	0	—
27	西会津町	2	12	16.7					

(注) 高速道路での事故175件を除く。

(注) 三島町、湯川村、平田村、小野町、昭和村、中島村、古殿町、川内村、葛尾村、飯館村については県外運転者による事故はなかった。

(10) 居住県別

(単位: 件・人・%)

区分	本年				前年			
	件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道	7	1.2	1	7	5	0.7		7
青森	12	2.1		16	10	1.5	1	9
岩手	11	1.9		19	23	3.4	1	29
宮城	133	23.2	1	179	161	23.6	1	210
秋田	5	0.9		6	9	1.3		11
山形	41	7.1	1	63	50	7.3	1	67
東北	55	9.6		73	48	7.0		69
茨城	97	16.9	2	136	115	16.9	1	161
栃木	50	8.7	1	69	64	9.4	4	89
群馬	9	1.6		10	12	1.8	1	19
埼玉	39	6.8	1	53	51	7.5	2	75
千葉	35	6.1	1	46	45	6.6	5	57
神奈川	25	4.4		31	29	4.3		34
新潟	25	4.4		29	26	3.8		39
山梨		0.0			2	0.3		2
長野	3	0.5		5	3	0.4		7
静岡	1	0.2		2	5	0.7		7
富山	1	0.2		2	1	0.1		1
石川	2	0.3		4		0.0		
福井		0.0			1	0.1		1
岐阜		0.0				0.0		
愛知	4	0.7		4	5	0.7	1	5
滋賀	2	0.3		6		0.0		
三重		0.0			1	0.1		1
京都	3	0.5		8	1	0.1		1
大阪	2	0.3		3	4	0.6	1	4
兵庫	5	0.9		7	4	0.6		6
奈良	2	0.3		2		0.0		
和歌山		0.0				0.0		
鳥取		0.0				0.0		
島根		0.0				0.0		
岡山		0.0				0.0		
広島	2	0.3		2	1	0.1		1
山口		0.0				0.0		
香川		0.0				0.0		
愛媛		0.0			2	0.3		2
徳島		0.0				0.0		
高知		0.0			1	0.1		1
福岡	1	0.2		3	1	0.1		1
佐賀	1	0.2		2	1	0.1		2
長崎	1	0.2		2		0.0		
熊本		0.0			1	0.1		1
大分		0.0						
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島		0.0				0.0		
沖縄		0.0				0.0		
合 計	574	100	8	789	682	100	19	919

18 道路環境等

(1) 道路形状別

交差点での事故(付近も含む)は、4,936 件で全事故の 51.3 パーセントを占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が1,908 件で最も多く、交差点事故の 53.6 パーセントを占め、次いで第1進路「小」が1,168 件となっている。

(単位：件・人・%)

区分		件 数		死者	傷者
道路形状			構成率(%)		
交 差 点	大	481	5.0	6	586
	中	1,908	19.8	10	2,275
	小	1,168	12.1	11	1,388
	付近	1,379	14.3	11	1,673
	計	4,936	51.3	38	5,922
単 路	ト ン ネ ル	43	0.4	1	60
	橋	119	1.2	2	162
	カーブ・屈折	367	3.8	18	485
	直 線	3,661	38.1	33	4,675
	計	4,190	43.6	54	5,382
踏 み 切 り		3	0.0		3
一般交通の場所		489	5.1	2	548
合 計		9,618	100	94	11,855

(単位：件・人・%)

区分		件 数		死者	傷者
交差点第1進入路			構成率(%)		
大 (13m以上)	交差路 小	50	1.4	2	56
	交差路 中	287	8.1	2	354
	交差路 大	144	4.0	2	176
	計	481	13.5	6	586
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	300	8.4	2	341
	交差路 中	1,347	37.9	6	1,638
	交差路 大	261	7.3	2	296
	計	1,908	53.6	10	2,275
小 (5.5m未満)	交差路 小	399	11.2	2	514
	交差路 中	646	18.2	8	739
	交差路 大	123	3.5	1	135
	計	1,168	33	11	1,388
合 計		3,557	100	27	4,249

(単位：件・人・%)

(2) 道路線形別

直線での事故は 8,645 件で全体の 89.9 パーセントを占めている。

一方、カーブ・屈曲での事故は 484 件で全事故の 5.0 パーセントとなっている。

勾配でみると、上り坂は 374 件（全事故の 3.9%）、下り坂は 534 件（全事故の 5.6%）、平坦は 8,221 件（全事故の 85.5%）となっている。

区分 道路形状			件数 構成率(%)	死者	傷者
カーブ・屈折	右	上り	390.4	2	48
		下り	570.6		78
		平坦	1351.4	5	173
	左	上り	490.5		62
		下り	810.8	5	112
		平坦	1231.3	8	158
	計		4845.0	20	631
直線	上り	2863.0	4	365	
	下り	3964.1	5	501	
	平坦	7,96382.8	63	9,810	
	計	8,64589.9	72	10,676	
一般交通の場所			4895.1	2	548
合計			9,618100.0	94	11,855

(3) 地形別

(単位：件・人・%)

市街地での事故が 5,936 件で、全事故の 61.7 パーセントを占めている。

なお、市街地の事故では、人口集中地区以外での事故が多い。

区分		件	数	死	者	傷	者
地形			構成率(%)				
市街地	人口集中地区	2,884	30.0	10		3,411	
	その他	3,052	31.7	18		3,713	
	計	5,936	61.7	28		7,124	
非市街地		3,682	38.3	66		4,731	
合 計		9,618	100	94		11,855	

(注) 市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

(4) 道路幅員別

幅員「5.5m以上 9.0m未満」の道路での事故が 2,717 件で最も多く、全事故の 28.2 パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分 幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.5m以上	交 差 点			その他	合計
							小	中	大		
件数	141	368	2,717	1,276	918	152	1,168	1,908	481	489	9,618
構成率(%)	1.5	3.8	28.2	13.3	9.5	1.6	12.1	19.8	5.0	5.1	100
死者		4	41	14	5	1	11	10	6	2	94
傷者	166	434	3,398	1,706	1,174	180	1,388	2,275	586	548	11,855

(5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が 7,723 件で最も多く、全事故の 80.3 パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

路面状態 地形		舗 装					計	非 舗 装	合 計
		乾 燥	湿 潤	凍 結	積 雪				
件 数		7,723	1,395	380	103	9,601	17	9,618	
構成率(%)		80.3	14.5	4.0	1.1	99.8	0.2	100.0	
死 者		75	16	1	2	94		94	
傷 者		9,438	1,777	480	141	11,836	19	11,855	

(6) 中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が 5,388 件で最も多く、全事故の 56.0 パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

施設 地形	中央 分離帯	中 央 線			計	中央 分離 なし	その他	合 計
		高輝度 標 示	チャッター バー等	ペイント				
件 数	1,525	62	221	5,388	5,671	1,933	489	9,618
構成率(%)	15.9	0.6	2.3	56.0	59.0	20.1	5.1	100.0
死 者	12			63	63	17	2	94
傷 者	1,973	76	260	6,714	7,050	2,284	548	11,855

19 その他

(1) 特殊事故

特殊事故は1,237件で、全事故の12.9パーセントを占め、約7.8件に1件の割合で発生している。

なかでも件数が多いのは次のとおりで

- ・多重事故 1,064件

全事故の9.0件に1件

- ・ひき逃げ 84件

全事故の114.5件に1件

- ・無申告 32件

全事故の300.6件に1件

- ・左折巻き込み 24件

全事故の400.8件に1件

- ・ドア開放 18件

全事故の534.3件に1件

の割合で発生している。

(単位：件・人・%)

区分 特殊事故	件数	構成率(%)	死 者	傷 者
共同危険行為		0.0		
暴走行為		0.0		
ひき逃げ	84	0.9	2	103
無申告	32	0.3		33
多重衝突	1,064	11.1	15	1,826
左折巻き込み	24	0.2		24
荷崩れ	4	0.0		4
自然発車	5	0.1		5
ドア開閉	18	0.2		18
車両火災		0.0		
薬物影響	1	0.0		1
発作・急病	てんかん	0.0		
	心臓マヒ	0.0		
	脳血管	1	0.0	2
	その他	1	0.0	1
身障者	3	0.0		5
緊急用務自動車		0.0		
合 計	1,237	12.9	17	2,022

(注) 1 表中の割合は全事故に占める割合

2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

(2) 天候別

晴天時（雲量が80パーセント未満）の事故が、5,306件で全事故の55.2パーセントを占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80パーセント以上）の事故が3,043件となっており、合わせると全事故の86.8パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分 天候	晴	曇	雨	霧	雪	合 計
件 数	5,306	3,043	924	7	338	9,618
構成率(%)	55.2	31.6	9.6	0.1	3.5	100.0
死 者	52	30	9		3	94
傷 者	6,493	3,748	1,182	10	422	11,855

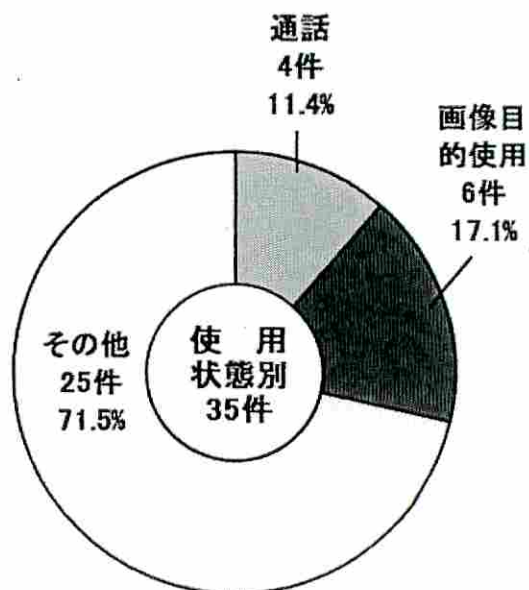
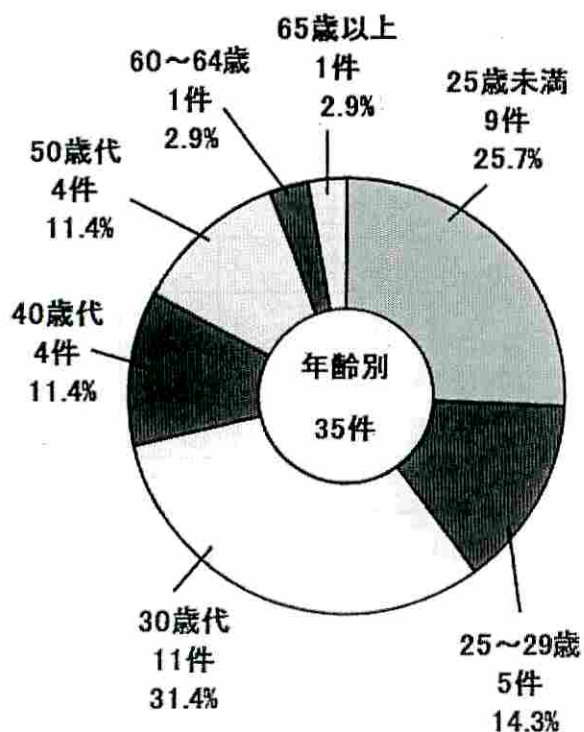
(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は 35 件発生し、死者は 0 人、傷者は 46 人となっている。

事故類型別にみると、追突が 28 件で最も多く、80.0 パーセントを占め、全事故に占める追突事故の割合の約 1.9 倍となっている。

(単位：件・%)

態様		携帯電話使用中事故		全 事 故	
区分			構成率(%)		構成率(%)
人 対 車 両		2	5.7	836	8.7
車 両 相 互	追 突	28	80.0	4,017	41.8
	出 会 い 頭	1	2.9	2,507	26.1
	正 面 衝 突	3	8.6	310	3.2
	そ の 他	1	2.9	1,691	17.6
車 両 単 独			0.0	255	2.7
踏 切			0.0	2	0.0
合 計		35	100.0	9,618	100.0



年齢別にみると、30 歳代が 11 件で 31.4 パーセントを占め最も多く、次いで 25 歳未満が 9 件、25～29 歳が 5 件となっている。

事故直前の使用状況は、画像目的使用 6 件、通話が 4 件、その他の動作 25 件となっている。